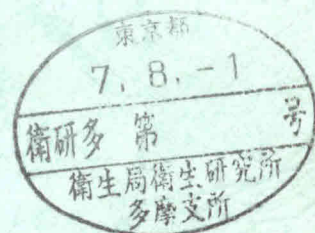


感染症サーベイランス事業報告書

(平成6年)

東京都結核・感染症サーベイランス委員会



本所

序

東京都における感染症サーベイランス事業は、昭和62年1月にコンピューター・オンラインを導入して以来、8年が経過いたしました。この間、東京都医師会、地区医師会の先生方及び関係各位のご協力により円滑に事業を実施することができました。ここに厚くお礼申し上げます。

昨年6月に、厚生省が感染症サーベイランス事業における「病原体検査指針」を改正したことに伴い、東京都においても、「東京都感染症サーベイランス事業の手引」を策定し、各関係機関に配布いたしました。今後とも当事業へのご協力をお願い申し上げます。また、より有意義な事業となるよう努力してまいりますので、皆様のご意見、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この報告書は、東京都医師会感染症予防検討委員会に情報の解析・評価を依頼し、その結果をまとめたものです。

各疾病の動向については、小児科・内科疾患及び病院定点における疾患は木村三生夫委員長に、眼科疾患は濱崎陞委員に、性感染症は植村一郎委員に執筆をお願いしました。なお、病原体検索成績については、太田建爾委員に執筆をお願いしました。

本書を感染症の予防や治療にご活用いただければ幸いです。

平成7年3月

東京都結核・感染症サーベイランス委員会

会 長 吉 川 泉

目 次

第1章 東京都感染症サーベイランス事業報告	9
1 定点医療機関	10
第1表 東京都感染症サーベイランス事業定点数	10
第2表 東京都感染症サーベイランス事業 ブロック別患者定点数	11
2 対象疾病	12
3 運営方法	12
(1) 週報、月報	12
(2) 小児感染症入院状況	12
(3) 解析及び解説発表	12
4 本年の概況	12
(1) 小児科・内科疾患	12
(2) 眼科疾患	13
(3) 病院定点における疾患	13
第3表 東京都感染症サーベイランス年別報告数	14
第1図 疾病別定点当たり年間報告数	16
5 各疾病の動向	18
(1) 小児科・内科疾患	18
ア 麻疹様疾患	18
イ 風疹	19
ウ 水痘	21
エ 流行性耳下腺炎	22
オ 百日咳様疾患	23
カ 溶連菌感染症	25
第4表 溶連菌感染症発疹の有無別患者数	27
キ 異型肺炎	27
ク 感染性胃腸炎	29
ケ 乳児嘔吐下痢症	30
コ 手足口病	31
サ 伝染性紅斑	33
シ 突発性発疹	34
ス ヘルパンギーナ	35
セ インフルエンザ様疾患	37
ソ MCLS（川崎病）	38
タ 不明発疹症	40
(2) 眼科疾患	41
ア 咽頭結膜熱	41
イ 流行性角結膜炎	44

ウ 急性出血性結膜炎	45
第5表-1 週別患者数	47
第5表-2 週別定点当たり患者数	48
第6表-1 保健所別患者数	49
第6表-2 保健所別定点当たり患者数	50
第7表-1 ブロック別患者数	51
第7表-2 ブロック別定点当たり患者数	51
第7表-3 ブロック別患者発生状況 水痘に対する比率	52
第7表-4 ブロック別患者発生状況 突発性発疹に対する比率	53
第8表 年齢階級別患者数	54
(3) 小児感染症入院状況	55
第9表 小児感染症入院状況	55
(4) 予防接種歴有無の調査	56
第10表 予防接種有無別患者数	56
(5) 病院定点における疾患	57
ア ウイルス肝炎	57
a A型肝炎	57
b B型肝炎	57
c C型肝炎、その他のウイルス肝炎	57
イ 感染性髄膜炎	60
a 細菌性髄膜炎	60
b 無菌性髄膜炎	60
ウ 脳・脊髄炎	62
第11表-1 月別患者数	66
第11表-2 月別定点当たり患者数	66
第11表-3 月別患者数(男)	66
第11表-4 月別定点当たり患者数(男)	67
第11表-5 月別患者数(女)	67
第11表-6 月別定点当たり患者数(女)	67
第12表-1 ブロック別患者数	68
第12表-2 ブロック別定点当たり患者数	68
第13表-1 保健所別患者数	69
第13表-2 保健所別定点当たり患者数	70
第14表 年齢階級別患者数	71
6 性感染症(STD)	72
(1) 調査方法	72
(2) 疾患情報の概要	72
図1 STDの概要・平成6年	72
表1 月別患者数	73
(3) 各疾患の動向	74

① 淋病様疾患	74
② 陰部クラミジア症	74
③ 陰部ヘルペス	75
④ 尖圭コンジローム	76
⑤ トリコモナス症	76
⑥ 梅毒様疾患	77
表2 東京都STD推移（平成2年～平成6年）	78
(4) STD6疾患の年次推移	79
① 淋病様疾患	79
② 陰部クラミジア症	79
③ 陰部ヘルペス	79
④ 尖圭コンジローム	79
⑤ トリコモナス症	79
⑥ 梅毒様疾患	79
⑦ 全国集計から見たSTDの推移	79
図2 STD年次推移	80
(5) STDの男女別年次推移	81
図3 STD男女別年次推移（東京都）	82
(6) 各疾患の男女比率	83
(7) STDの男女別年齢層別年次推移	84
① 淋病様疾患	84
② 陰部クラミジア症	84
③ 陰部ヘルペス	85
④ 尖圭コンジローム	85
⑤ トリコモナス症	86
⑥ 梅毒様疾患	86
表3 年齢階級別患者数	87
(8) 保健所別累計表から見た東京都の地域別STDの状況	88
表4 保健所別患者数	89
表5 保健所別定点当たり患者数	90
(9) 東京都届出性病及び全国届出性病	91
図4 性病届出件数推移（東京都）	91
図5 性病届出件数推移（全国）	91
(10) まとめ	92
7 東京都感染症サーベイランス事業における病原体検索成績	93
(1) 小児科・内科及び病院定点の感染症サーベイランス事業（ウイルス）	93
表1 小児科・内科及び病院定点における感染症サーベイランス事業 ウイルス検出成績	93
(2) 小児科・内科及び病院定点の感染症サーベイランス事業（腸管系病原 菌）	93

(3) 多摩地区の感染症サーベイランス事業	94
表 2 多摩地区における感染症サーベイランス事業腸管系病原体検査 成績	95
表 3 多摩地区における感染症サーベイランス事業腸管系病原菌検査 成績	95
第 2 章 資料	97
1 東京都感染症サーベイランス事業定点名簿	99
2 東京都結核・感染症サーベイランス委員会委員名簿	103
3 東京都医師会感染症予防検討委員会委員名簿	104
4 東京都感染症サーベイランスシステムの概要	105
5 東京都結核・感染症サーベイランス事業実施要綱	107
6 東京都結核・感染症サーベイランス委員会運営要綱	121

第 1 章

東京都感染症サーベイランス事業報告

東京都感染症サーベイランス事業報告

(平成6年1月2日～平成6年12月31日)

平成6年の東京都感染症サーベイランスのまとめを報告します。

平成6年は特に目立った流行はなく、インフルエンザもごく小規模の流行に留まっています。

平成6年10月、予防接種法、結核予防法が改正されました。接種年齢の変更など、新しい接種方式になるのは平成7年4月からになります。前回の予防接種法の改正は昭和51年でしたので、18年ぶりの大改正ということになります。今回の改正の最大のポイントは個別接種への移行と思います。長い間、集団接種で行われて参りましたが、もうそういう時代ではないと国としても認めて、個別接種の推進に切り替えたことに大きな意義があると考えます。個別接種への変更によって、接種率がどうなるか、患者発生状況はどうなるか、感染症サーベイランスにとっても注意しなければならない点であります。風疹ワクチンが幼児期からの接種になり、DPTも、乳児期の接種が標準になります。水痘は法律の対象疾病ではありませんが、ワクチン接種は伸びていますし、米国やヨーロッパの一部では健康小児を中心とする接種が考えられています。このような疾病の発生状況の変化も見守りたいところです。

東京都の感染症サーベイランスは、諸先生のご努力により、すばらしい成果をあげて参りました。今後とも、よろしくご協力の程をお願い申し上げます。

東京都医師会感染症予防検討委員会

委員長 木村 三生夫

1 定点医療機関（第1表、第2表）

本年の定点数は昨年と変りはない。患者定点数は、小児科・内科定点138、眼科定点14、病院定点18、STD（性感染症）定点40、計210、このうちの28定点が検査定点を兼ねている。

全国の患者定点数は、総計3878で、都は、そのうちの5.4%を占めている。小児科・内科定点は全国2425定点に対して都は5.7%、眼科定点314に対し都は4.5%、病院定点は540に対して3.3%、STD定点は599に対して6.7%である。

第1表 東京都感染症サーベイランス事業定点数

定点種別	疾 病 数	患者定点数	検査定点数	合 計
小児科・内科定点	17	138	13	151
眼 科 定 点	3	14	2	16
病 院 定 点	4	18	12	30
S T D 定 点	6	40	1	41
合 計	※ 28	210	28	238

※実数28、延べ数30

（参考）全国定点数（平成6年1月現在：厚生省エイズ結核感染症課）

定点種別	患 者 定 点	検 査 定 点
小児科・内科定点	2,425	患者定点の約30%位
眼 科 定 点	314	患者定点と同程度
病 院 定 点	540	
S T D 定 点	599	
合 計	3,878	未集計

第2表 東京都感染症サーベイランス事業ブロック別患者定点数

ブロック	小児科・内科定点	眼科定点	病院定点	STD定点
中央	18 千代田区4、中央3、港5 文京3、台東3	2 港1 文京1	4 千代田2 港1 文京1	9 中央2 文京1 台東5 港1
江東	20 墨田3、江東3、荒川2 足立4、葛飾4、江戸川4	2 江東1 荒川1	1 墨田1	5 墨田1 江東2 荒川1 足立1
城西	33 新宿6、目黒3、世田谷8 渋谷4、中野6、杉並6	3 新宿2 渋谷1	8 新宿2 世田谷2 渋谷2 中野1 杉並1	9 新宿5 渋谷3 中野1
城南	14 品川6、大田8	1 大田1		4 品川1 大田3
城北	18 北4、豊島5、板橋4 練馬5	1 豊島1	2 豊島1 板橋1	6 北1 豊島3 板橋2
区部計	103	9	15	33
西多摩	5 青梅市1、羽村市1、五日市町1 秋川市1、福生市1			
南多摩	12 八王子市2、日野市1、多摩市1 稲城市1、町田市2、府中市2 調布市2、狛江市1	2 八王子市1 町田市1	1 府中市1	4 八王子市3 町田市1
北多摩	17 立川市1、小平市1、国分寺市1 東村山市1、国立市1 武蔵村山市1、東大和市1 小金井市1、武蔵野市2 三鷹市2、東久留米市1 田無市1、保谷市1 清瀬市1、昭島市1	3 三鷹市2 東大和市1	2 清瀬市2	3 立川市2 武蔵野市1
島しょ	1 大島町1			
計	138	14	18	40

2 対象疾病

厚生省の全国集計の対象疾病の他に、都独自に不明発疹症、梅毒様疾患及びC型肝炎を加えている。

3 運営方法

(1) 週報、月報

小児科・内科定点及び眼科定点からの報告は週報で、病院定点及びSTD定点からの報告は月報としてまとめられる。

咽頭結膜熱は小児科・内科定点及び眼科定点から週報で、MCLSは、小児科・内科定点からの週報と、病院定点からの月報との二本立てで報告される。

週報では、定点が、毎週日曜日から土曜日までの対象疾病患者数を年齢別に所定の調査表に記入し、都衛生局結核感染症課に郵送する。結核感染症課では、これをコンピューターに入力する。情報の還元は、結核感染症課及び保健所が、コンピューターにより出力し、必要とするところに送付する。

月報では、前月分が翌月の3日までに都衛生局結核感染症課に郵送され、コンピューターに入力され、同様に還元される。

(2) 小児感染症入院状況

今年は、5病院における小児感染症の入院状況の集計を行った。

(3) 解析及び解説発表

感染症予防検討委員会は、毎月1回、定例（第3木曜日）に開催され、前月分の内容を討議している。情報のまとめは、浦野副委員長、南谷委員に交替で、「感染症便り」としてまとめていただいている。

また、毎月、特定の感染症をとりあげ、「感染症トピックス」としてまとめ、東京都医師会ニュースに掲載している。

都のサーベイランス情報は、浦野副委員長、南谷委員により、東京都小児科地方会に毎月発表されている。

4 本年の概況（第3表、第1図）

本年の年間報告数を、これまでの年別報告数と合わせて表、図にまとめた。

(1) 小児科・内科疾患

全国レベルでは、1993年末から94年夏まで続いた溶連菌感染症の著明な増加と、流行性耳下腺炎の本年の山が目立ったが、東京都の発生はそれほどの大きなレベルには達しなかった。インフルエンザは1993-94年シーズンは活動性は低く、2月から3月にかけて、ごく小さな山を作っただけであった。

麻疹様疾患は少なく、昨年の約2分の1の発生であった。

風疹は平成4年の大きな流行から下がり平成6年は谷間になった。

水痘は最近は少な目で、昨年なみの発生であった。

流行性耳下腺炎は平成3年の谷から毎年増加しているが、増加の勢いは弱く、以前のような大きな流行には至らない。

百日咳様疾患は毎年、多少の増減をしながら次第に下っている。本年の発生は少ない。

溶連菌感染症は、全国レベルと同様に増加傾向は認められ、本年1-3月には明らかな増加がみられ

たが、その後は大きな変化はみられなくなった。

異型肺炎は、平成3年、4年にやや増加したが、その後低下している。

感染性胃腸炎、乳児嘔吐下痢症は毎年同様のパターンを示している。平成6年も特に大きな変化はみられない。

手足口病の7月のピークは低かったが、その後、年末まで少数の患者発生が続いた。

伝染性紅斑は、平成3年、4年の流行の後低下し、現在谷間にある。

突発性発疹は特に変わりなく、コンスタントな発生である。

ヘルパンギーナは年によりピークの高さは多少異なる。平成6年は、前年よりも多いが、平均的な発生である。

インフルエンザ様疾患は、ごく小規模の発生に留まった。

不明発疹症は特別の変わりはない。

MCLS（川崎病）は、小児科内科定点からの報告、病院定点からの報告共に、特別の変わりはない。

(2) 眼科疾患

咽頭結膜熱、流行性角結膜炎共に、昨年は少なかったが、アデノウイルスの活発化によって、本年は両者共、例年なみの流行がみられた。急性出血性結膜炎は、ほとんど患者がみられない。ちなみに、沖縄では平成6年10月に急性出血性結膜炎の8年ぶりの大流行があった。

(3) 病院定点における疾患

MCLS（川崎病）は本年は昨年よりもやや増加したが、発生数は少ない。

ウイルス肝炎では、A型肝炎は昨年よりも低下し、最低の発生となった。B型肝炎は昭和63年頃の発生に比べると約3分の2に減少したが、この数年は横ばいの状態である。その他のウイルス肝炎は、C型肝炎の検査が可能となってから急増したが、平成5年7月からC型肝炎は別途に報告することになった。また、急性肝炎だけを報告するようという指導によって、次第に落ち着きを見せている。

感染性髄膜炎では、細菌性髄膜炎は少ないが、昨年よりもさらに減少した。

無菌性髄膜炎は、平成3年の流行の後、発生は少なく、同程度のレベルの発生が続いている。

脳脊髄炎の発生は少なく、昨年よりもさらに報告数は少なかった。

第3表 東京都感染症サーベイランス年別報告数

小児科・内科疾患

上段 年間報告数
下段 定点当たり

年	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6
定 点 数	52.4	55.0	128	129	129	129	137	138	138	138
麻 疹 様 疾 患	68 1.3	130 2.4	1,217 9.5	1,662 12.9	481 3.7	817 6.3	2,712 20.9	738 5.5	1,344 9.7	663 4.80
風 疹	585 11.2	2,303 41.9	31,036 242.5	998 7.8	623 4.8	419 3.3	3,391 26.1	15,218 111.3	1,322 9.6	507 3.67
水 痘	4,516 86.2	4,592 83.5	11,753 91.8	8,675 67.4	8,499 65.9	6,505 50.4	8,931 68.7	8,799 64.3	7,028 50.9	6,970 50.51
流行性耳下腺炎	4,791 91.4	911 16.6	1,453 11.4	5,950 46.2	8,581 66.5	1,768 13.7	670 5.2	1,683 12.3	3,534 25.6	3,749 27.17
百日咳様疾患	105 2.0	57 1.0	204 1.6	212 1.6	151 1.2	204 1.6	178 1.5	147 1.1	67 0.5	101 0.73
溶連菌感染症	679 13.0	766 13.9	1,786 14.0	1,996 15.7	1,970 15.3	2,121 16.4	2,288 17.7	2,919 21.1	2,917 21.1	3,177 23.02
異 型 肺 炎	346 6.6	269 4.9	797 6.2	2,447 19.0	1,092 8.5	659 5.1	1,106 8.6	1,223 8.7	699 5.1	660 4.78
感染性胃腸炎	9,619 183.6	12,669 230.3	18,520 144.7	32,842 255.1	28,346 219.8	26,740 207.3	32,498 250.0	27,320 200.0	31,777 230.3	29,637 214.76
乳児嘔吐下痢症	3,256 62.1	4,269 77.6	6,199 48.4	8,330 64.7	7,301 56.6	6,045 46.9	7,078 54.5	5,233 38.3	6,251 45.3	5,462 39.58
手 足 口 病	2,931 55.9	937 17.0	4,437 34.7	2,942 22.9	2,152 16.7	7,513 58.2	666 5.2	1,338 9.8	6,326 45.8	1,365 9.89
伝 染 性 紅 斑	503 9.6	2,715 49.4	4,017 31.4	372 2.9	510 4.0	1,698 13.2	4,359 33.5	3,672 26.9	861 6.2	906 6.57
突 発 性 発 疹	2,374 45.3	2,509 45.6	5,543 43.3	5,237 40.8	5,166 40.1	4,698 36.4	4,730 36.5	4,592 33.5	4,316 31.3	4,519 32.75
ヘルパンギーナ	1,627 31.0	2,261 41.1	7,190 56.2	5,470 42.5	4,716 36.6	5,521 42.8	6,679 51.2	4,196 30.7	3,524 25.5	5,200 37.68
M C L S	50 0.95	60 1.1	94 0.7	66 0.5	77 0.6	59 0.5	78 0.9	49 0.3	43 0.3	71 0.51
咽 頭 結 膜 熱	42 0.8	100 1.8	541 4.2	279 2.2	516 4.0	595 4.6	294 2.1	397 2.6	142 0.9	739 4.86
インフルエンザ様疾患	17,195 328.1	1,984 36.1	11,618 90.8	31,296 243.1	9,099 70.5	28,800 223.3	14,235 109.6	21,065 154.8	32,224 233.5	8,778 63.61
不 明 発 疹 症	279 5.3	337 6.1	839 6.6	968 7.5	838 6.5	615 4.8	672 5.2	671 4.9	575 4.2	631 4.57

眼科疾患

年	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6
定 点 数	5.94	5.85	10	10	10	10	14	14	14	14
咽 頭 結 膜 熱	15 2.5	9 1.5	47 4.7	18 1.8	40 4.0	22 2.2	10 0.71	32 2.29	6 0.4	8 0.57
流行性角結膜炎	437 73.6	390 66.7	535 53.5	613 61.3	661 66.1	735 73.5	950 70.29	817 59.14	597 42.6	980 70.0
急性出血性結膜炎	262 44.1	42 7.2	31 3.1	58 5.8	34 3.4	36 3.6	22 1.71	61 4.36	32 2.3	21 1.50

病院定点における疾患

年	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6
定 点 数	6	6	9	8	8	7.5	10	*1 10~18	18	18
M C L S	101 16.8	103 17.2	86 8.6	63 7.6	70 8.8	66 8.8	90 9.0	96 6.2	121 6.7	129 7.17
ウ イ ル ス 肺 炎			103 11.4	134 16.2	92 11.5	85 11.3	82 8.2	247 15.9	390 21.7	278 15.44
A 型 肝 炎			31 3.4	56 6.8	38 4.8	50 6.7	34 3.4	49 3.2	75 4.2	55 3.06
B 型 肝 炎			31 3.4	30 3.6	24 3.0	21 2.8	17 1.7	31 2.0	41 2.3	39 2.17
※ ² C 型 肝 炎									115 6.4	171 9.50
そ の 他 の 肝 炎			41 4.6	48 5.8	30 3.8	14 1.9	31 3.1	167 10.8	159 8.8	13 0.72
感 染 性 髄 膜 炎	90 15.0	107 17.8	58 6.4	76 9.2	88 11.0	52 6.9	205 20.5	94 6.1	95 5.3	91 5.06
細 菌 性 髄 膜 炎	6 1.0	9 1.5	14 1.6	13 1.6	22 2.8	11 1.5	25 2.5	23 1.5	19 1.1	14 0.78
無 菌 性 髄 膜 炎	84 14.0	98 16.3	44 4.9	63 7.6	66 8.3	41 5.5	180 18.0	71 4.6	76 4.2	77 4.28
脳 ・ 脊 髄 炎	4 0.7	9 1.5	27 3.0	14 1.7	16 2.0	9 1.2	20 2.0	31 2.0	22 1.2	13 0.72
脳 炎			19 2.1	12 1.5	10 1.3	7 0.9	17 1.7	20 1.3	12 0.7	6 0.33
脳 症			5 0.6	1 0.1	4 0.5	0 0	1 0.1	6 0.4	10 0.6	3 0.17
ラ イ 症 候 群			2 0.2	0 0	2 0.3	2 0.3	0 0	2 0.1	0 0	3 0.17
脊 髄 炎			1 0.1	1 0.1	0 0	0 0	2 0.2	3 0.2	0 0	1 0.06

STD（性感染症）

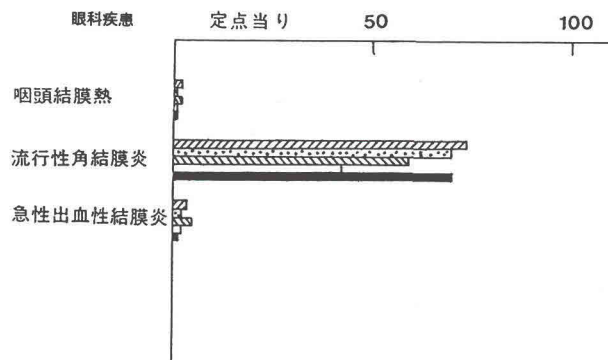
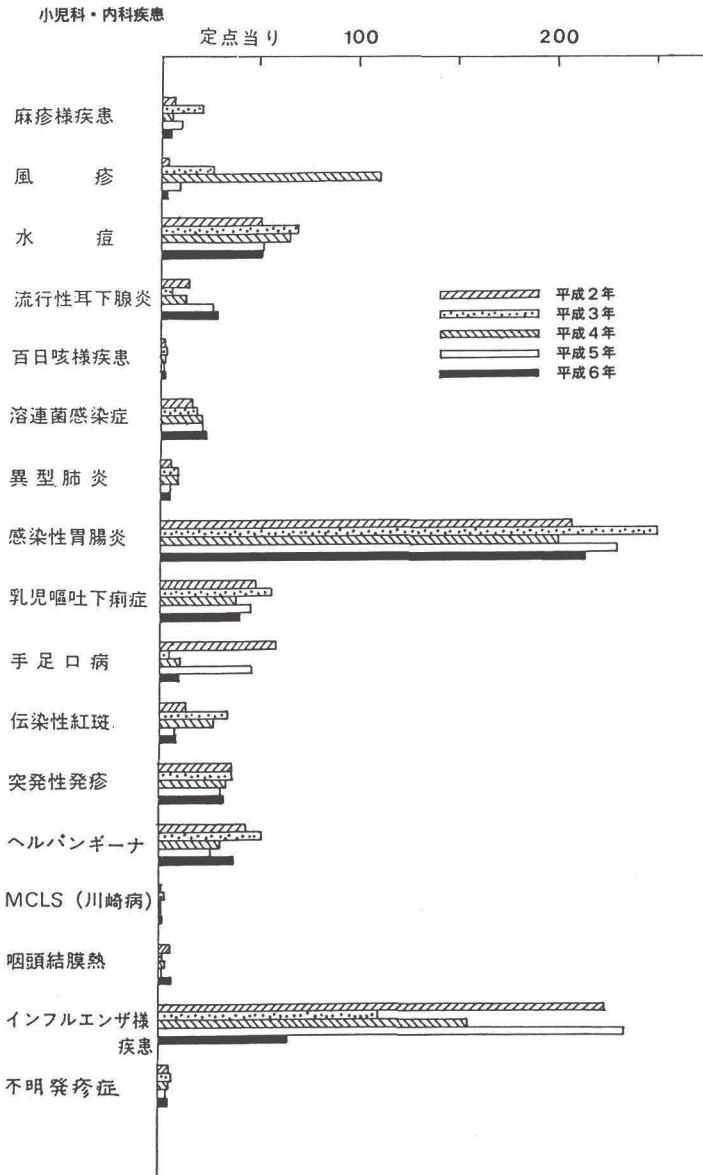
年	62	63	元	2	3	4	5	6
定 点 数	28	30	30	30	30	40	40	40
*2 梅 毒 様 疾 患							90 2.3	111 2.78
淋 病 様 疾 患	1,653 59.0	1,740 59.0	1,782 59.4	1,913 63.8	2,122 70.7	1,856 46.4	1,430 35.8	1,141 28.53
陰部クラミジア症	1,068 38.1	1,156 39.2	1,354 45.1	1,276 42.5	1,472 49.1	1,725 43.1	1,425 35.6	1,291 32.28
陰 部 ヘ ル ペ ス	741 26.5	812 27.5	820 27.3	731 24.4	712 23.7	968 24.2	1,006 25.2	1,078 26.95
尖圭コンジローム	928 33.1	646 21.9	581 19.4	593 19.8	502 16.7	655 16.4	566 14.2	470 11.75
トリコモナス症	783 28.0	658 22.3	626 20.9	570 19.0	511 17.0	549 13.7	457 11.4	398 9.95

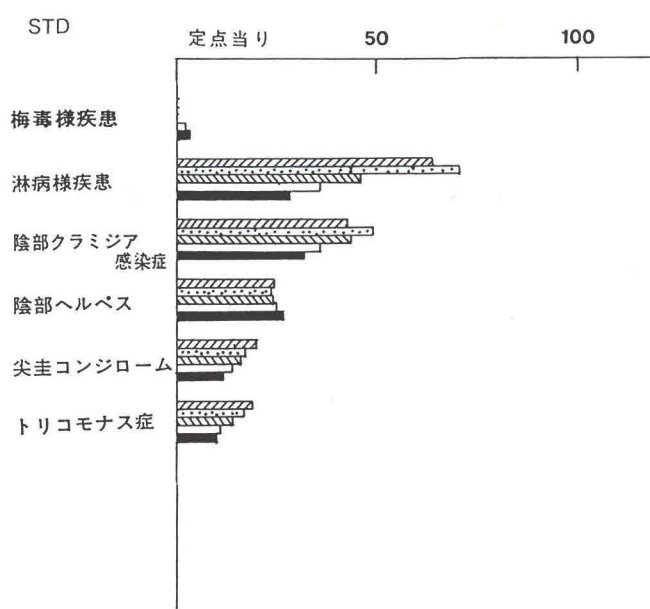
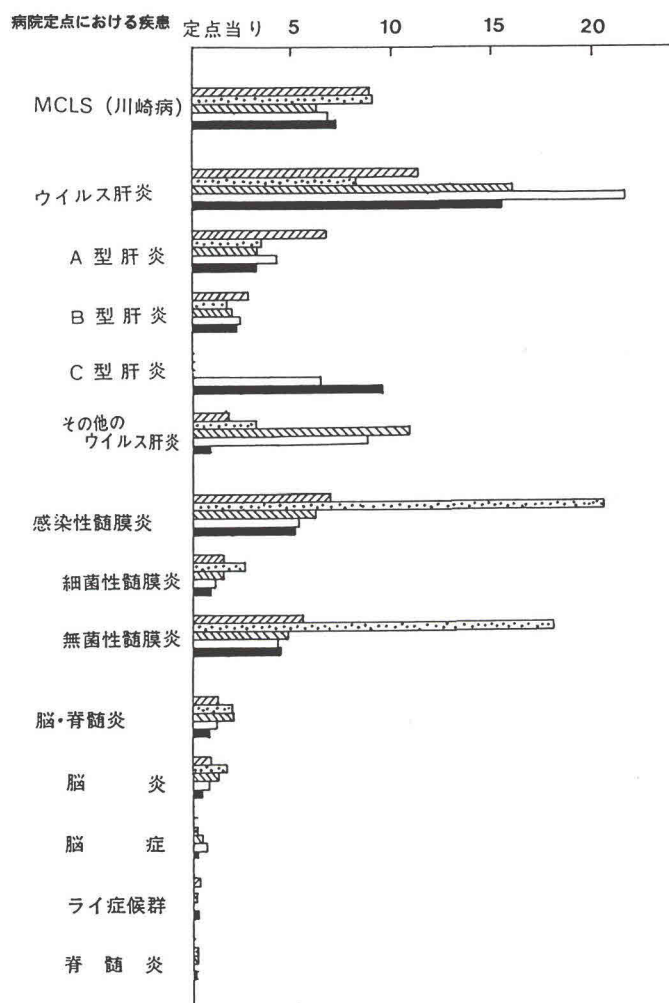
*1 病院定点数は
1月～3月 10定点
4月～5月 15 "
6月～12月 18 "

*2
C型肝炎と梅毒様疾
患は平成5年7月か
ら。

第1図 疾病別定点当たり年間報告数

平成2年～平成6年





5 各疾病の動向

(1) 小児科・内科疾患

第4表 溶連菌感染症発疹の有無別患者数

第5表-1 週別患者数

〃 -2 週別定点当たり患者数

第6表-1 保健所別患者数

〃 -2 保健所別定点当たり患者数

第7表-1 ブロック別患者数

〃 -2 ブロック別定点当たり患者数

〃 -3 ブロック別患者発生状況 水痘に対する比率

〃 -4 ブロック別患者発生状況 突発性発疹に対する比率

第8表 年齢階級別患者数

第9表 小児感染症入院状況

第10表 予防接種有無別患者数

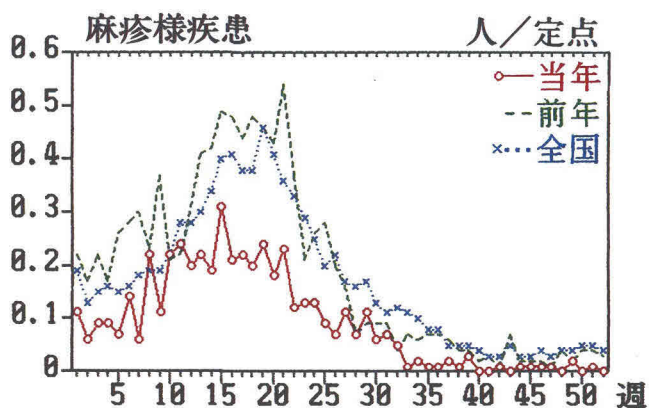
ア 麻疹様疾患

最近では平成3年に比較的大きな流行があり、年間報告数は定点当たり20.91人であったが、その後は平成4年は5.45人、平成5年は9.74人と下がり、平成6年は4.80人となっている。

全国レベルでは、平成3年に大きな流行があった後、報告は減少し、平成6年はこれまでの最低となった。

都の発生は、ブロック別には西多摩、北多摩が多かった。保健所別では、青梅、五日市、立川が定点当たり年間報告数20人以上であった。

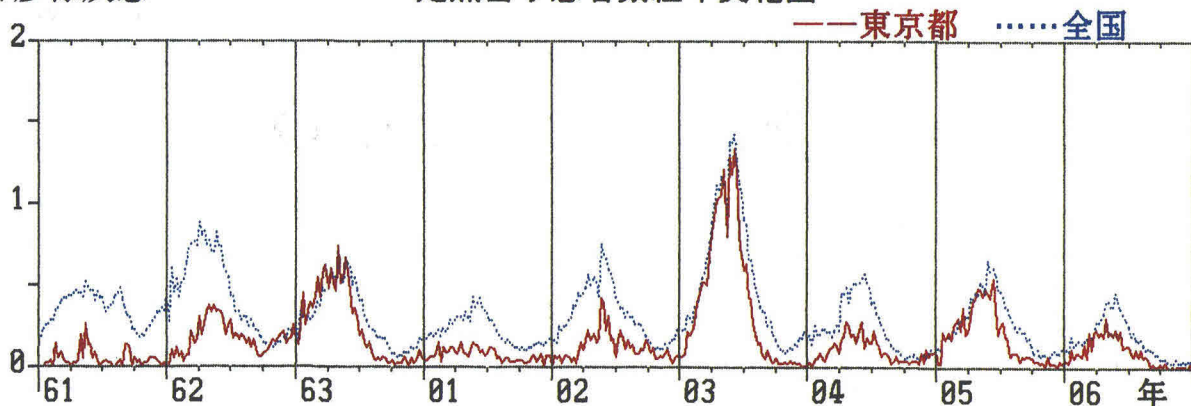
全国的な流行の平成3年頃から、年長児の罹患が増加し、ワクチン歴のあるものの罹患が目立つようになったといわれている。10歳以上の患者は、昭和62、63年頃は5%弱であったのが、10%以上に増加し、平成6年には12.4%になっている。ワクチン歴のあるものは平成6年報告例中2.8%で、この率はあまり増加していない。



麻疹様疾患

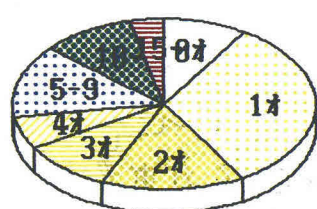
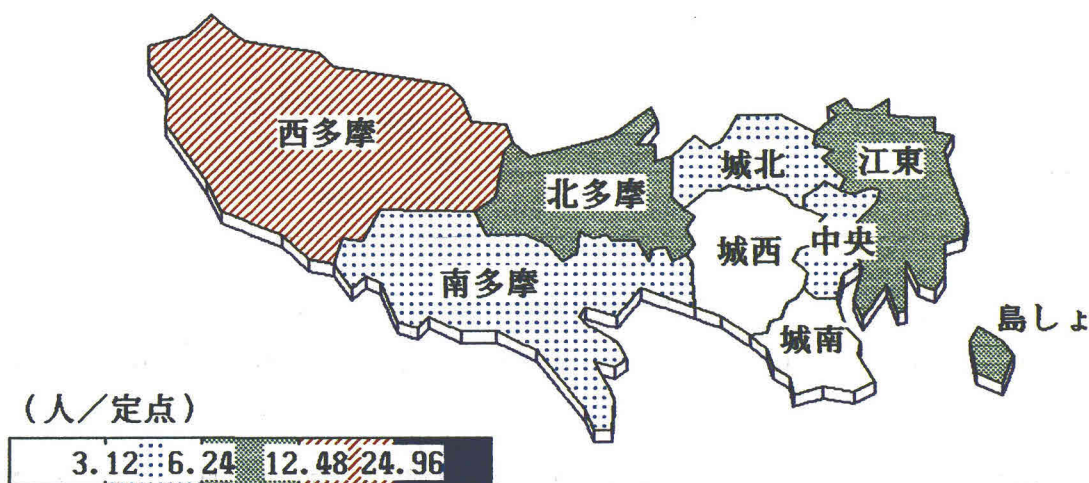
定点当たり患者数経年変化図

定点当たり患者数



麻疹様疾患

累計図 (平成6年1週～6年52週)



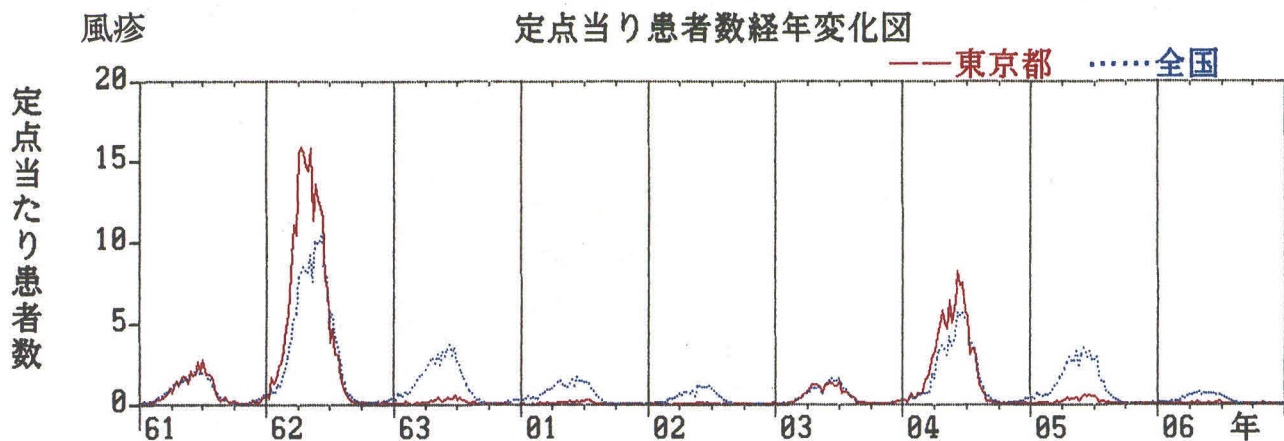
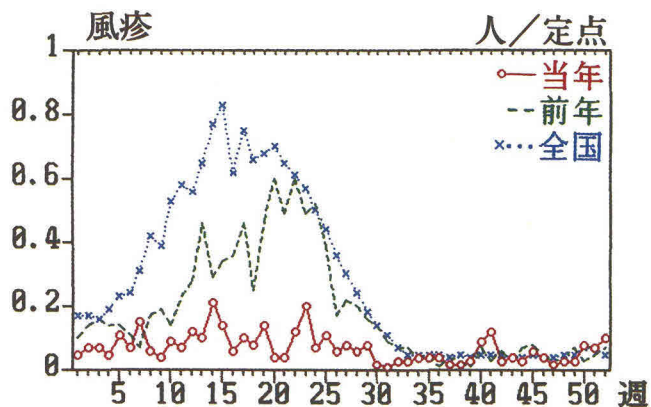
5-9	93	14.0%		
4歳	41	6.2%		
3歳	64	9.7%		
2歳	102	15.4%		
1歳	215	32.4%		
0歳	59	8.9%		
合計	663	人		
15-	24	3.6%		
10-	65	9.8%		

イ 風 疹

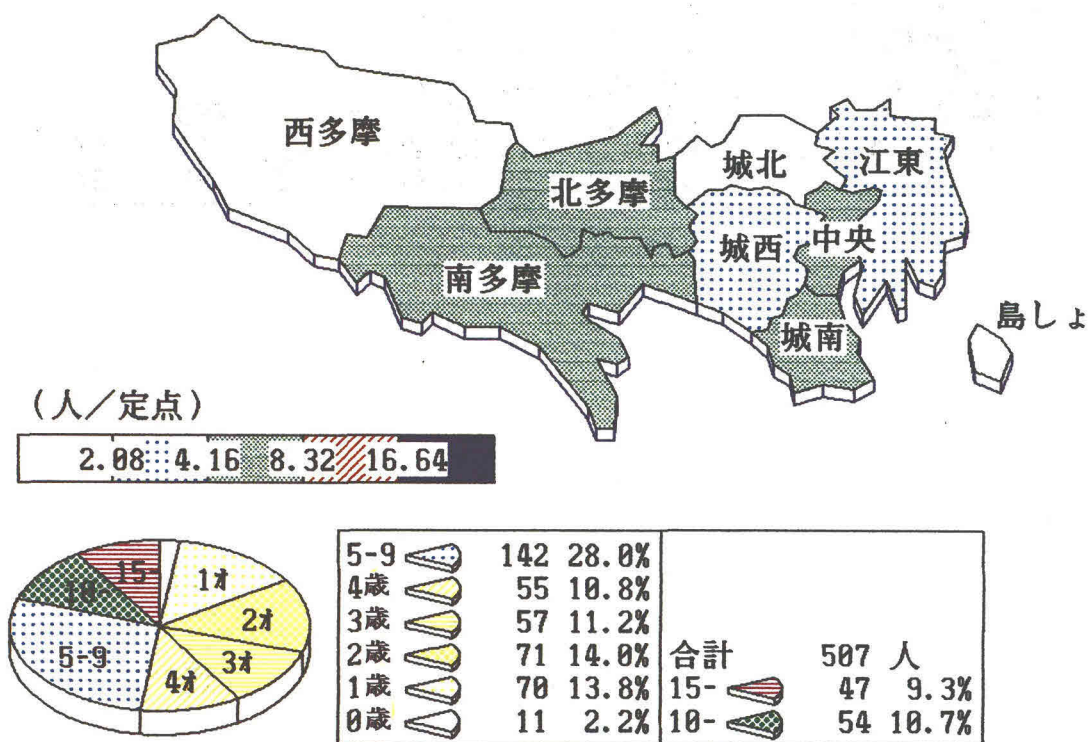
東京都では平成3年に流行がはじまり、平成4年に大きなピークを作ったが、平成5年には少数の発生に留まった。平成6年は流行の谷間となった。全国レベルでみると、平成4年に東日本優位、平成5年には西日本優位の流行で、平成6年は流行は治まっている。流行の谷間でも、県によっては大きな発生を認めることがあり、高知県では大流行であった。

都の発生状況をブロック別にみると、中央、南多摩、北多摩に多く、西多摩が少ない傾向であった。保健所別では小石川、玉川、小岩、八王子、田無の報告が多かった。

罹患年齢は、流行時には5-9歳を中心とする増加がみられるが、本年は非流行時のため5-9歳の比率は、平成4年52.3%、5年38.8%から28.0%に低下した。



風疹 累計図 (平成6年1週～6年52週)

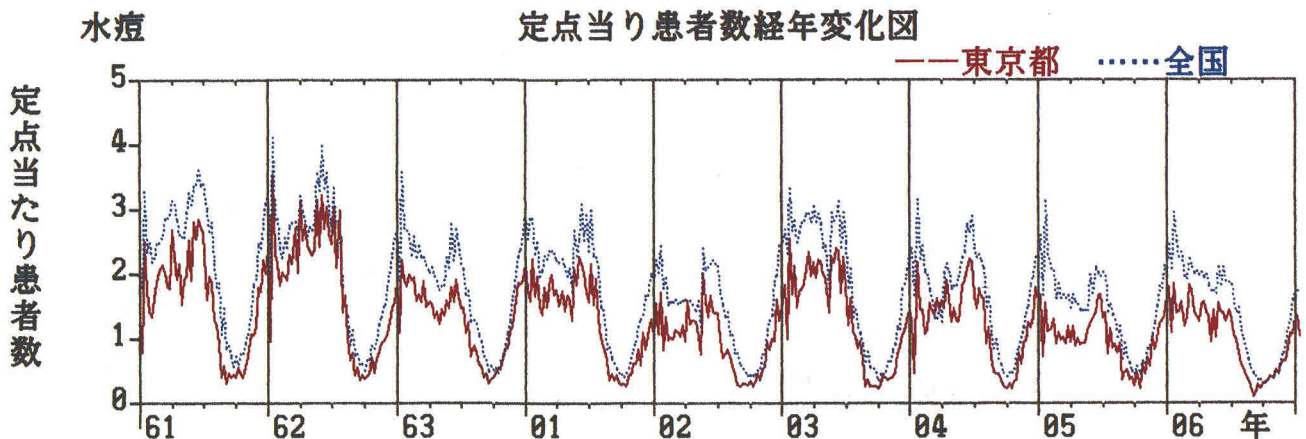
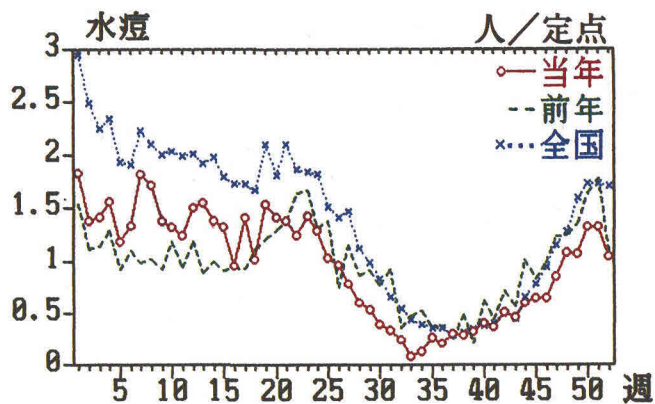


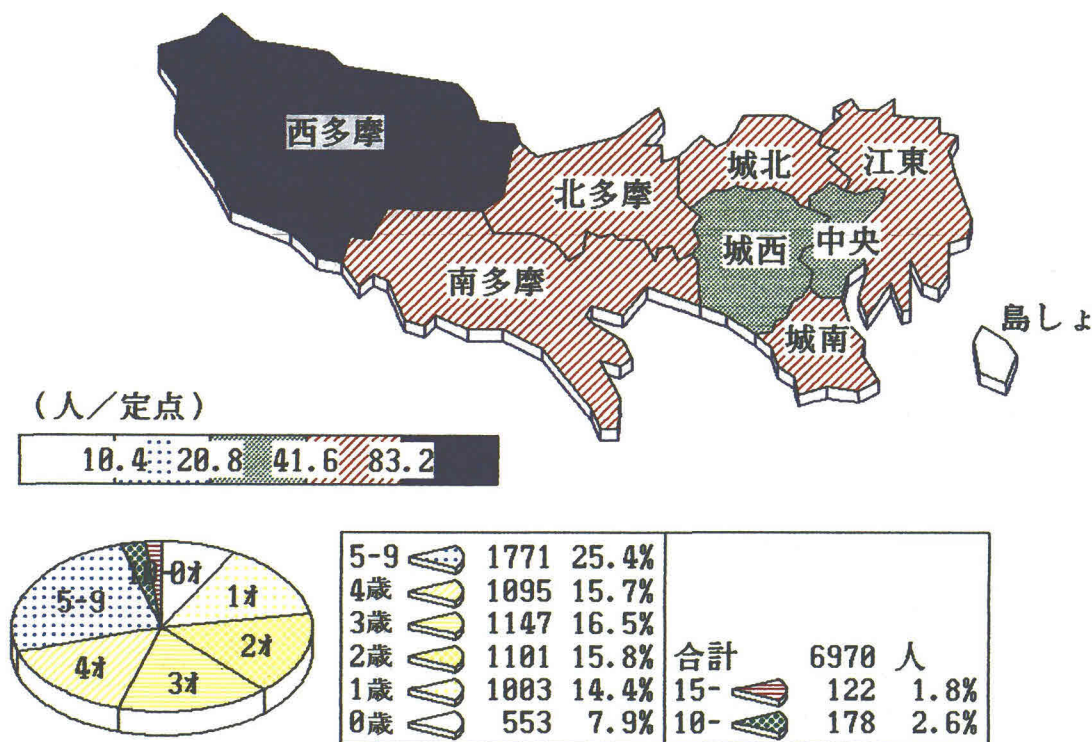
ウ 水 痘

水痘報告数は減少傾向である。以前は定点当たり年間報告数が80ないし90人であったのが、最近では50ないし60人となっている。これには、出生数の減少と水痘ワクチンの普及が関係しているのであろう。これまでの最低は平成2年の年間報告数定点当たり50.4人であった。これは平成3年、4年には60人台に持ち直したが、平成5年は50.9人、6年は50.5人と減少している。全国レベルでも、全く同様の傾向がみられる。

都のブロック別の発生状況は、西多摩、北多摩、江東が多い。これは、それぞれのブロックの背景小児人口を反映しているものと思われる。平成6年の保健所別報告数では、浅草、梅丘、長崎、青梅、五日市、町田、東久留米、福生が多かった。

年齢別の発生状況は例年と特に変りはない。





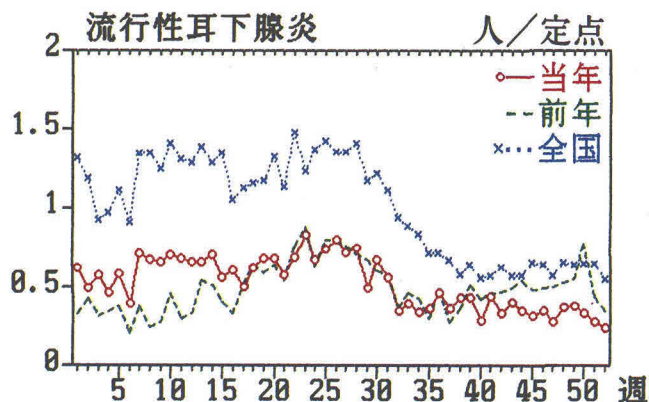
エ 流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎の発生状況は、MMRワクチンによってかなり影響を受けている。MMRワクチンは平成元年4月から開始され、平成5年4月に中止されたが、この間に東京都では約19万人の接種が行われている。これは都の年間出生数の2倍近い数字である。

流行性耳下腺炎は数年の経過で増減している。前回の流行のピークは平成元年で、定点当たり年間報告数66.5人であった。その後急速に減少し、平成3年には定点当たり5.2人と最低になったが、以後の増加は緩やかで、平成5年25.6人、平成6年27.2人に達しただけであった。

年齢別発生状況をみると、MMRワクチンの接種を受けた0-4歳の比率の低下が、平成6年でもまだ続いている。0-4歳の比率は、平成元年では47.3%であったが、毎年低下し、平成5年には36.3%まで下がり、平成6年でも36.5%となっている。

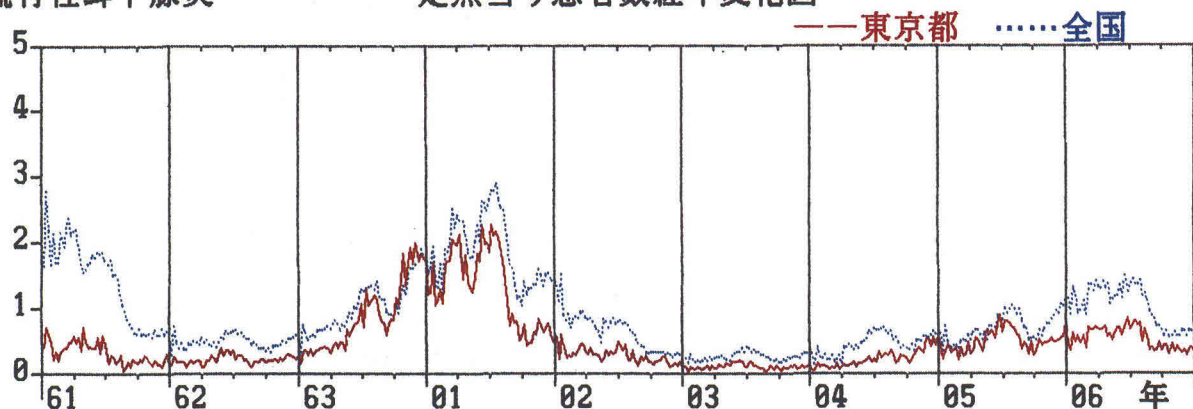
都の発生状況は、ブロック別では昨年は西多摩が多かったが、本年は江東、南多摩、北多摩が多かった。保健所別では浅草、千住、葛飾、五日市、八王子、府中、東久留米、島しょの報告が比較的多かった。



流行性耳下腺炎

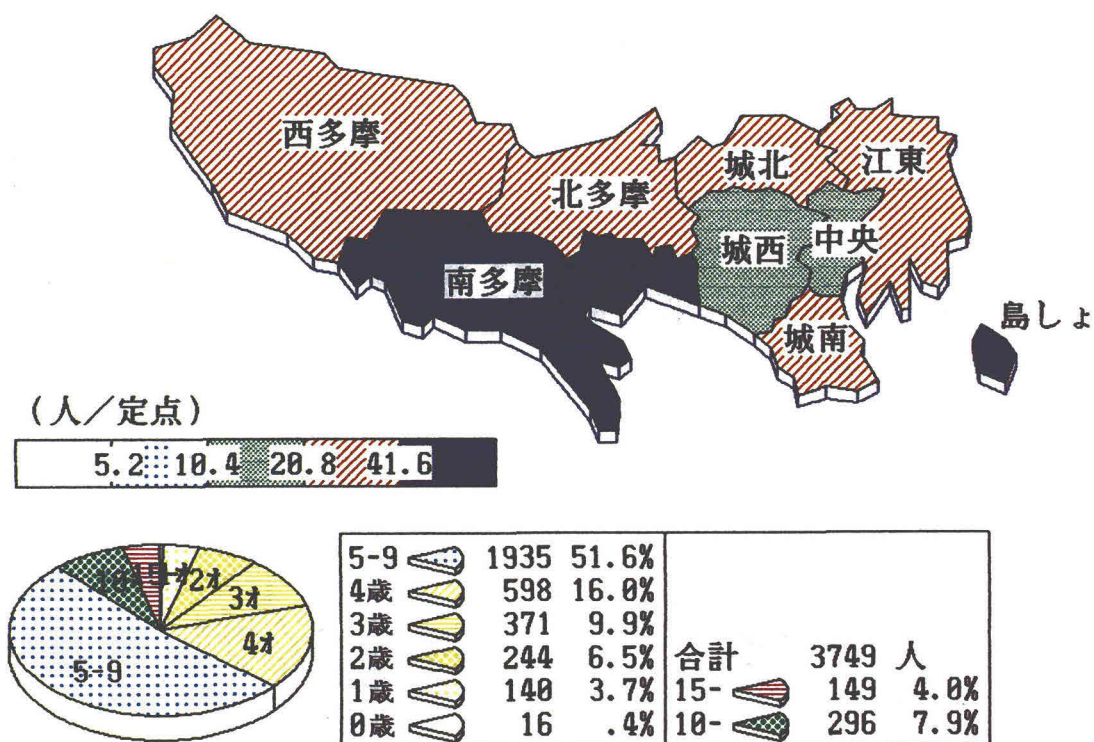
定点当り患者数経年変化図

定点当り患者数



流行性耳下腺炎

累計図 (平成6年1週～6年52週)



オ 百日咳様疾患

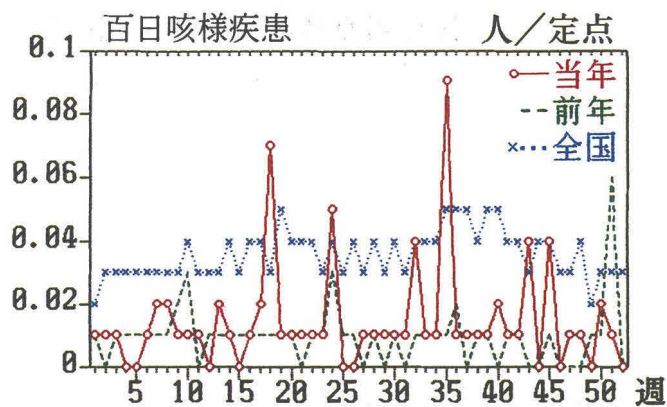
百日咳疾患は、少ないが着実に減少している。都の発生は全国平均の約3分の1である。都の報告は、昭和61年から定点当り年間報告数が1人台を続けていたが、昨年は0.5人、本年は0.73人に下がっている。

報告数が、平成6年は101例だけなので、地域的な発生状況の差異を見出すことはできない。

年齢分布は、0歳26.7%、1歳15.8%であった。昨年は0歳23.9%、1歳28.4%であったので、本年は1歳の比率が下がったようである。

また、本年は5-9歳が25.7%と昨年よりも増加している点は注意を要しよう。

ワクチン既往のある患者は98例中1例のみで、患者のほとんどは未接種のものである。

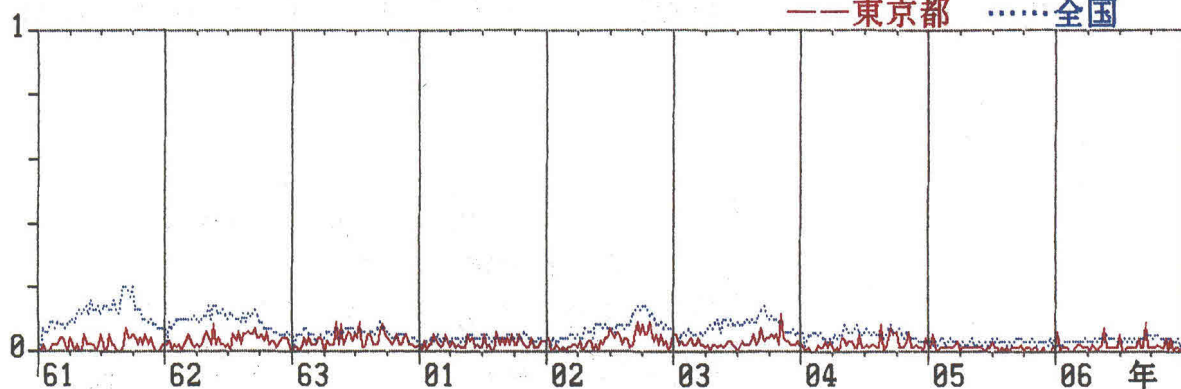


百日咳様疾患

定点当り患者数経年変化図

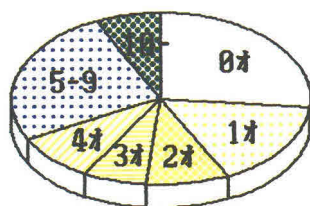
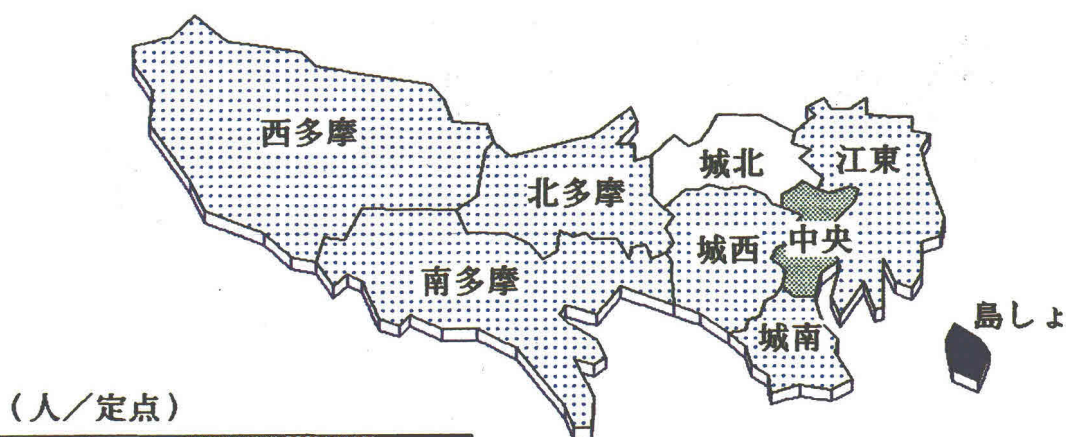
— 東京都 全国

定点当たり患者数



百日咳様疾患

累計図 (平成6年1週～6年52週)



5-9	26	25.7%
4歳	9	8.9%
3歳	7	6.9%
2歳	9	8.9%
1歳	16	15.8%
0歳	27	26.7%
合計	101	人
15-	7	6.9%
10-		

カ 溶連菌感染症

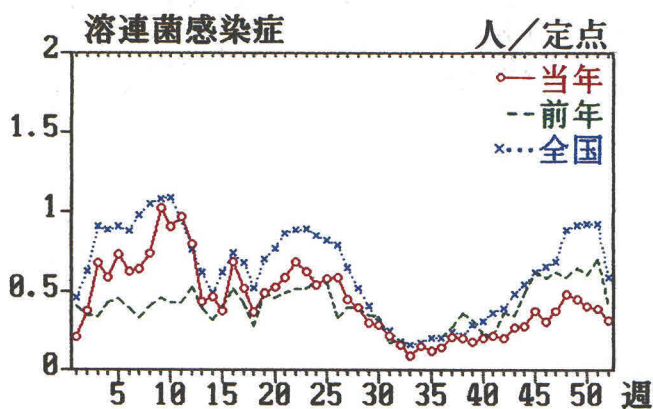
溶連菌感染症は毎年増加傾向がみられていたが、平成4年12月に急増してピークを作り、平成5年末から増加しはじめ、平成6年2月から3月にかけて増加の山を作った。年間報告数の推移をみると、平成3年は定点当たり17.7人であったが、平成4年21.1人、平成5年21.1人となり、平成6年は23.0人とさらに増加した。

全国レベルでは、平成5年12月から急増し、平成6年夏まで高い発生が続き、秋以降は例年なみに戻っている。この増加は、北海道、東北ブロックが著明であった。

都内の発生は、江東ブロックが多く、保健所別では深川が特に多く、その他、青梅、五日市、町田、東久留米が多かった。

年齢別発生状況は大きな変わりはない。

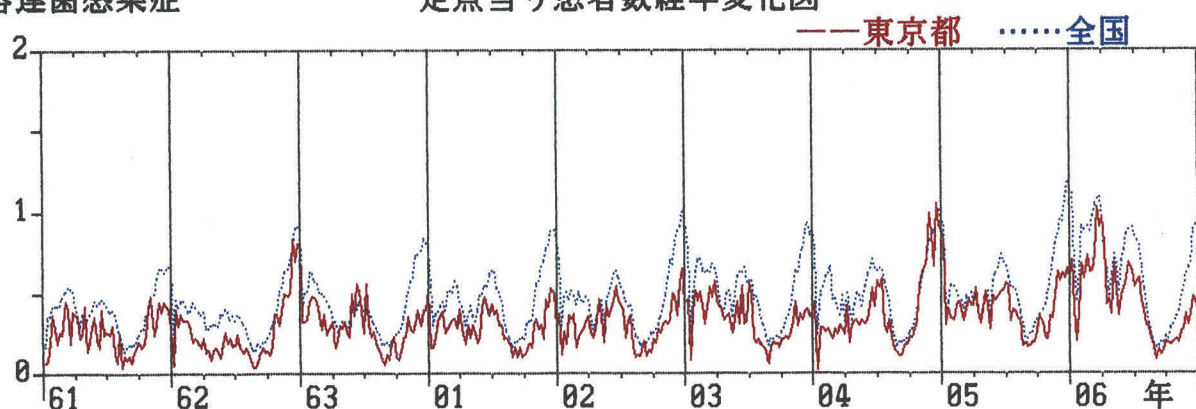
溶連菌感染症の報告例中、発疹ありは50.7%であった（第4表）。

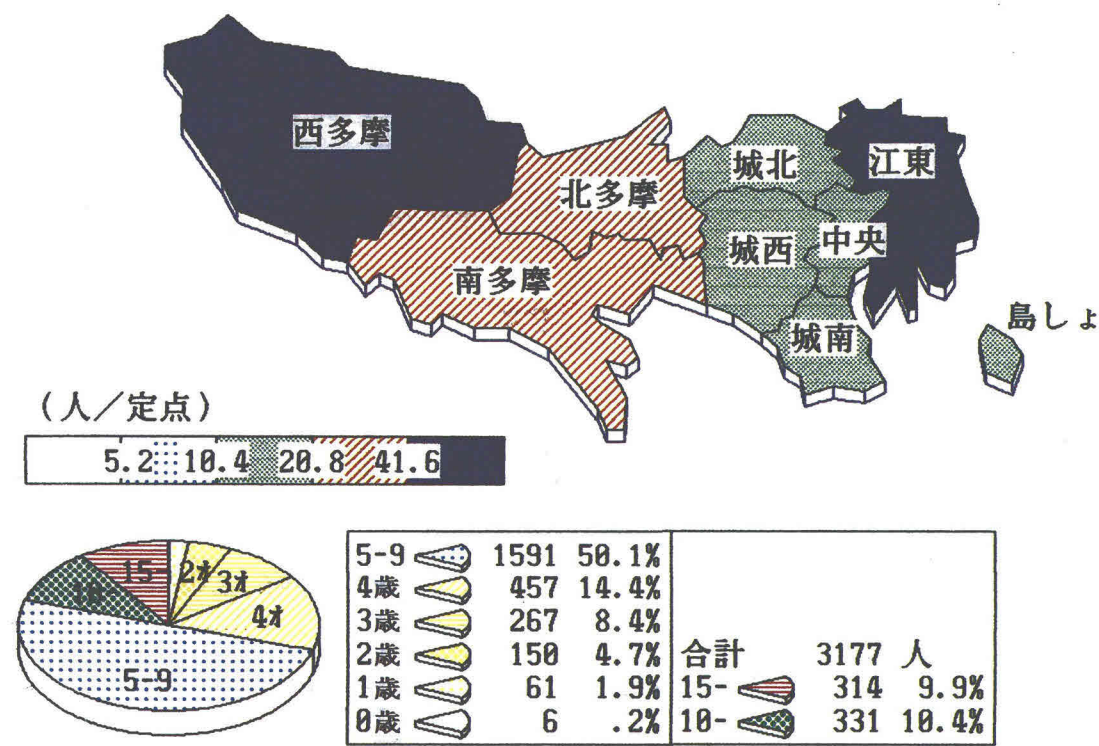


溶連菌感染症

定点当たり患者数経年変化図

定点当たり患者数





第4表 溶連菌感染症発疹の有無別患者数（平成6年）

週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
発疹（＋）	17	25	66	43	65	56	48	58	62	57	45	35	23
発疹（－）	12	28	28	38	36	31	40	44	80	68	89	75	38
計	29	53	94	81	101	87	88	102	142	125	134	110	61
発疹率（％）	58.8				60.1				38.8				

週	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
発疹（＋）	33	29	46	40	35	35	40	57	62	47	41	46	33
発疹（－）	32	24	49	32	16	32	33	25	33	40	33	34	48
計	65	53	95	72	51	67	73	82	95	87	74	80	81
発疹率（％）	51.9				61.2				54.9				

週	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
発疹（＋）	34	36	15	15	15	8	9	11	5	4	10	8	8
発疹（－）	28	19	26	25	16	14	3	10	12	16	19	20	17
計	62	55	41	40	31	22	12	21	17	20	29	28	25
発疹率（％）	50.5				50.0				29.4				

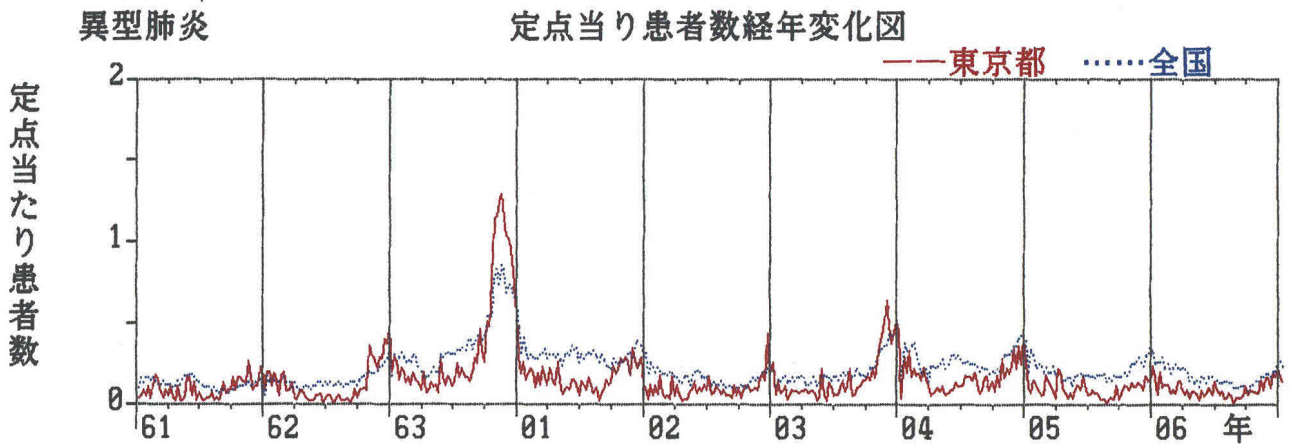
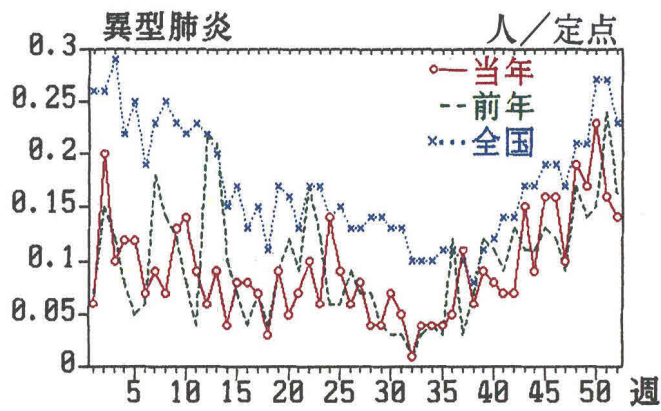
週	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	計
発疹（＋）	10	16	10	13	19	25	18	23	32	33	34	31	26	1,612
発疹（－）	18	14	18	24	19	27	25	30	34	29	23	23	18	1,565
計	28	30	28	37	38	52	43	53	66	62	57	54	44	3,177
発疹率（％）	39.8				45.7				55.1					50.7

キ 異型肺炎

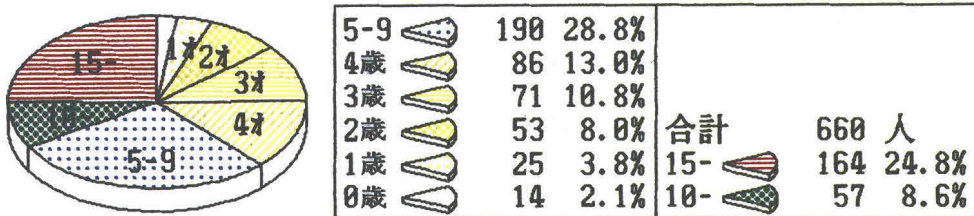
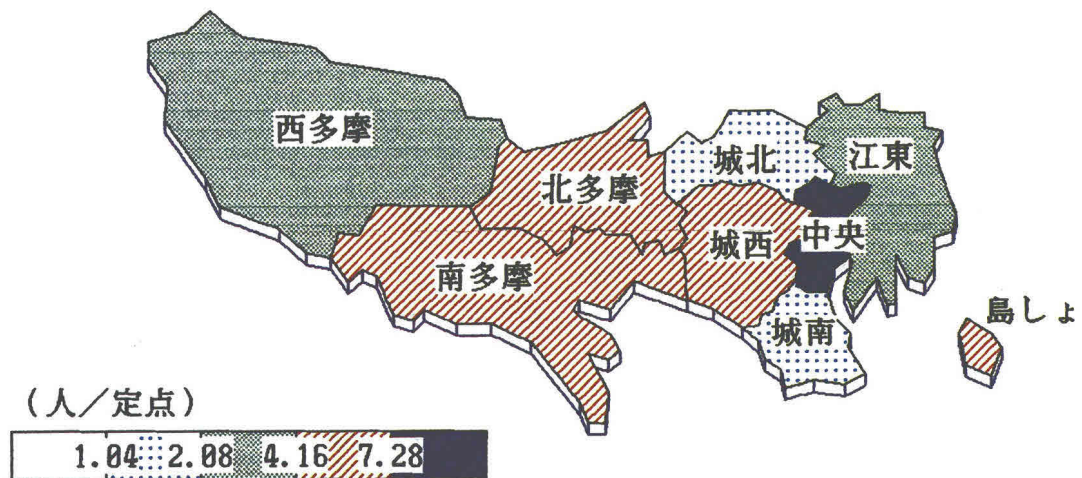
4年毎の流行といわれ、昭和59年は定点当り年間報告数17.7人、昭和63年は19.0人であったが、その後の山は著明ではなく、平成3年8.6人、平成4年8.7人と、軽度の発生増加をみただけで低下し、平成6年は4.8人と流行の谷間なみの発生となった。全国の発生状況も、ほとんど同様である。

都内の発生は中央、城西、南多摩、北多摩に多く、保健所別では中央、四谷、深川、世田谷、青梅、武蔵野が多かった。

年齢別発生状況はあまり変りがない。



異型肺炎 累計図 (平成 6 年 1 週 ~ 6 年 52 週)

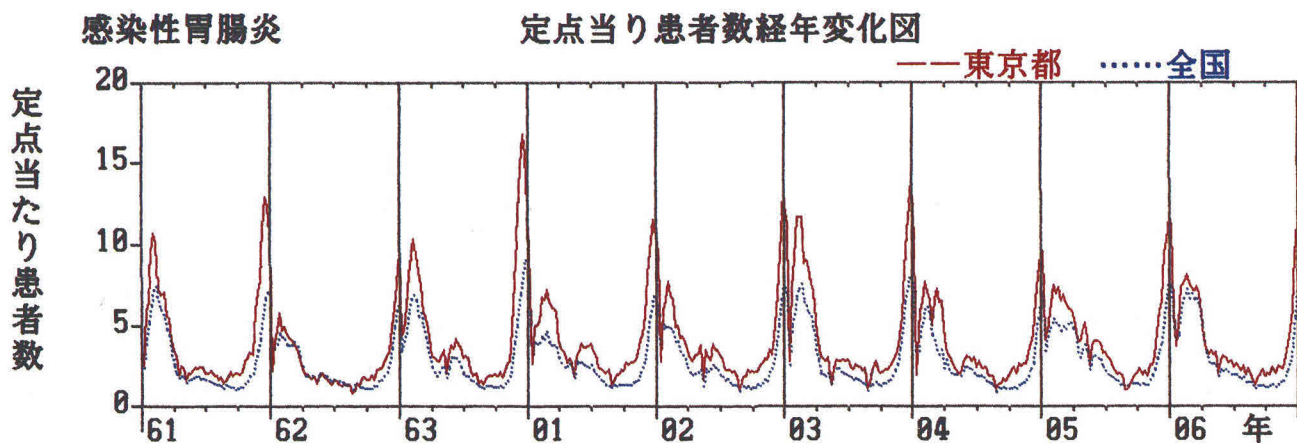
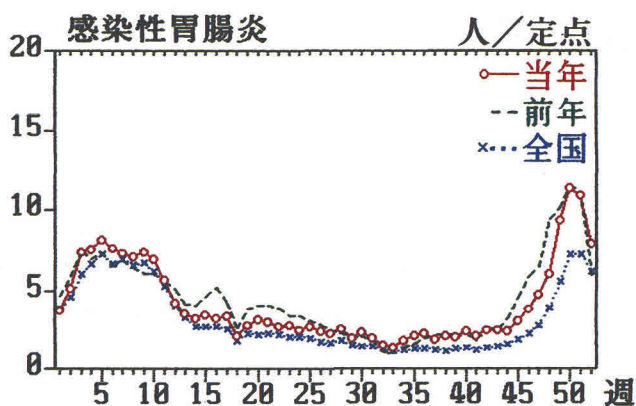


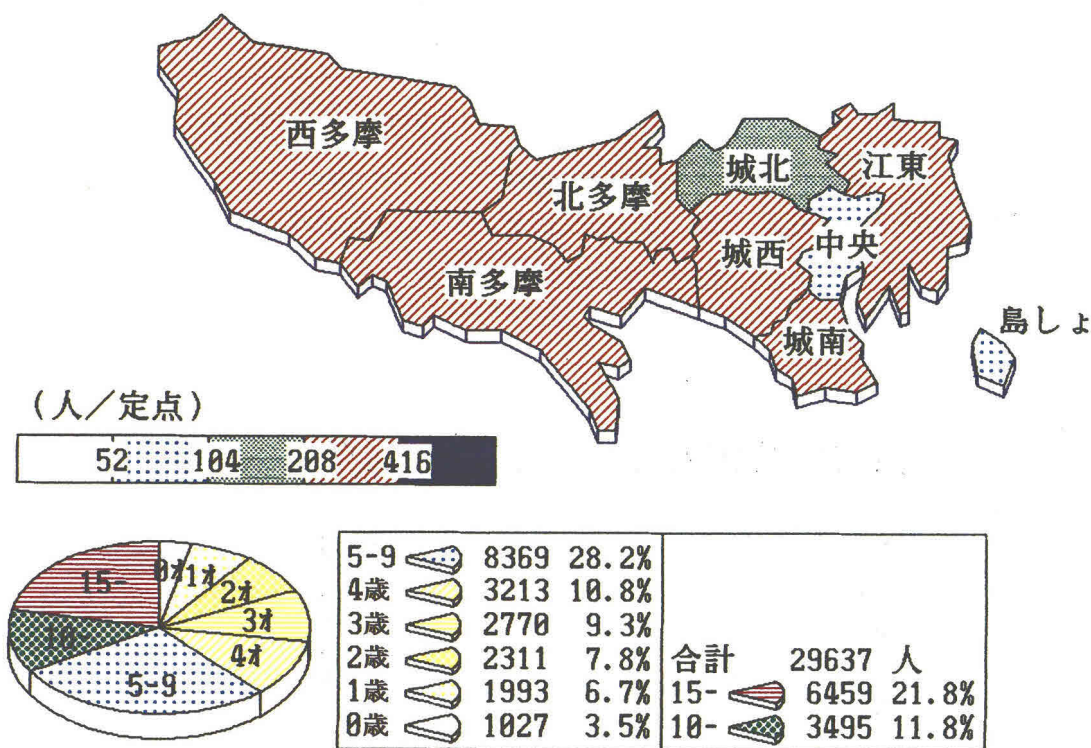
ク 感染性胃腸炎

年末と年始めに鋭いピークを作る発生パターンを示すが、本年の発生状況は例年並みといえよう。シーズン毎の発生状況を、前年第4四半期と次年第1四半期の合計でみると、平成元年－2年は定点当たり143.7人、2年－3年は177.6人、3年－4年は158.0人、4年－5年141.2人、5年－6年159.6人であった。

ブロック別の発生状況は、江東、城西、三多摩が比較的多く、中央、城北がやや少ない傾向であった。保健所別では、梅丘、中野北、江戸川、田無の報告が多かった。

罹患年齢分布は大きな変わりはない。



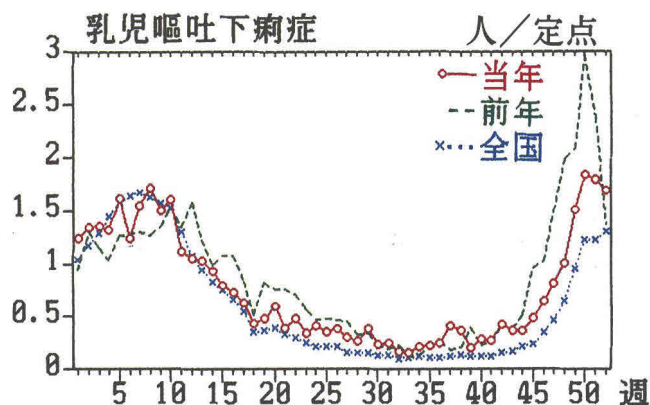


ケ 乳児嘔吐下痢症

最近は少ない傾向である。シーズン毎の発生状況を前年第4四半期と次年第1四半期の合計でみると、平成元年-2年は定点当たり41.0人、2年-3年は43.6人であったが、平成3年-4年34.2人、4年-5年29.6人、5年-6年33.8人と少ない。平成6年の年末もピークは第50週1.85人で、例年に比べて低い。

ブロック別では城西、三多摩が多い傾向であった。保健所別では新宿、青梅、五日市、田無、小平、多摩が多かった。

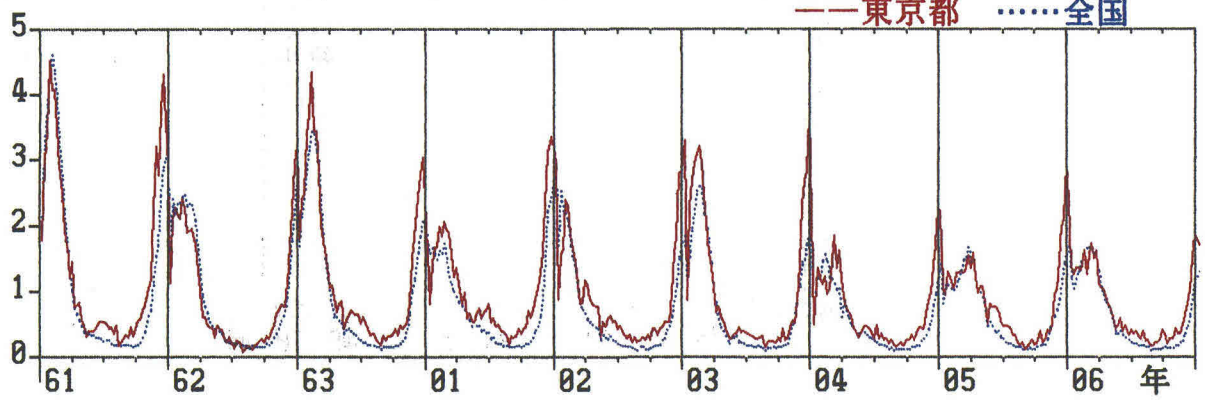
年齢別頻度は変わりはない。



乳児嘔吐下痢症

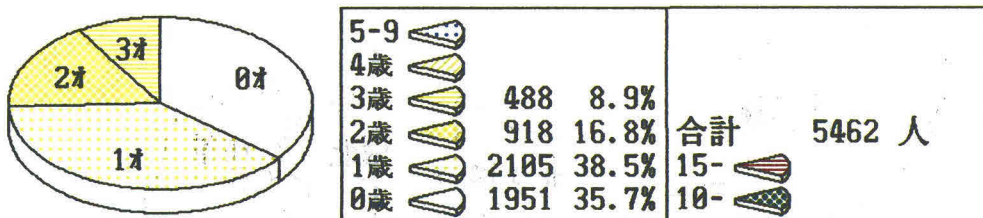
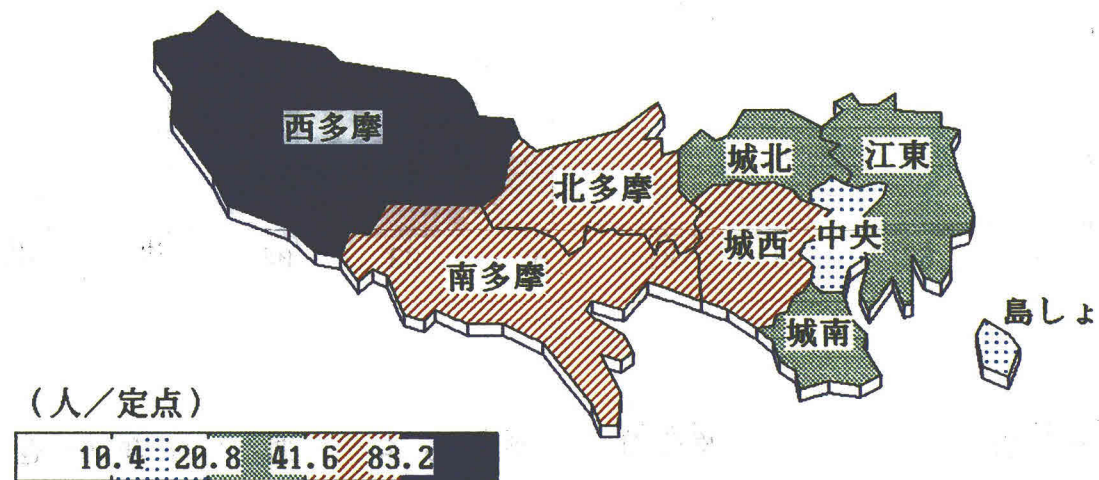
定点当り患者数経年変化図

定点当り患者数



乳児嘔吐下痢症

累計図 (平成6年1週～6年52週)



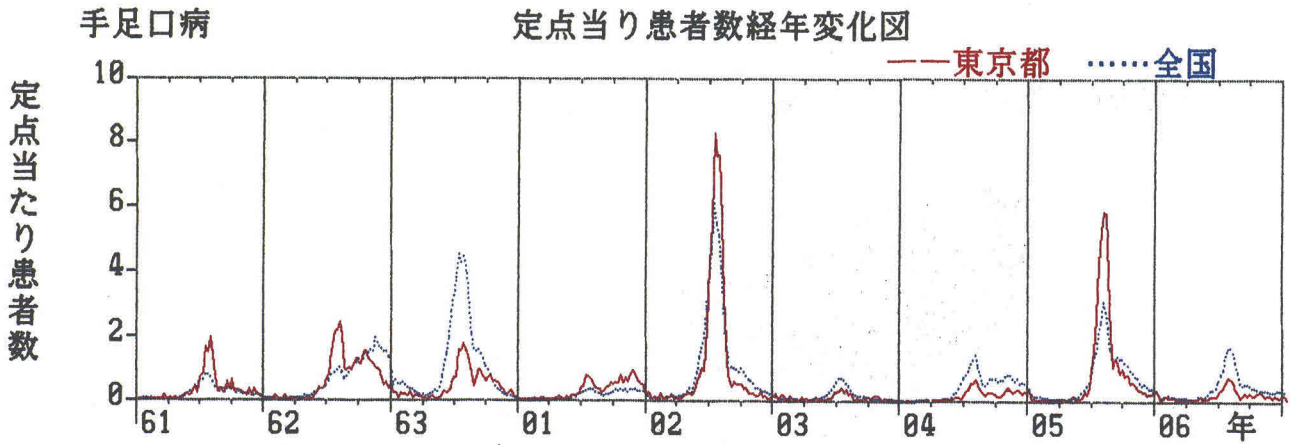
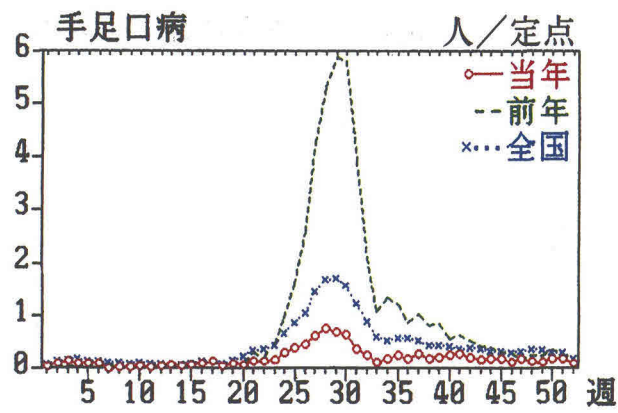
コ 手足口病

平成5年は大きな流行であったが、平成6年は、第28週のピークでも定点当り0.75人に過ぎず、目立った流行にならなかった。しかし、ごく少数の発生は年末まで続いた。

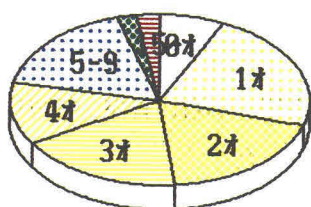
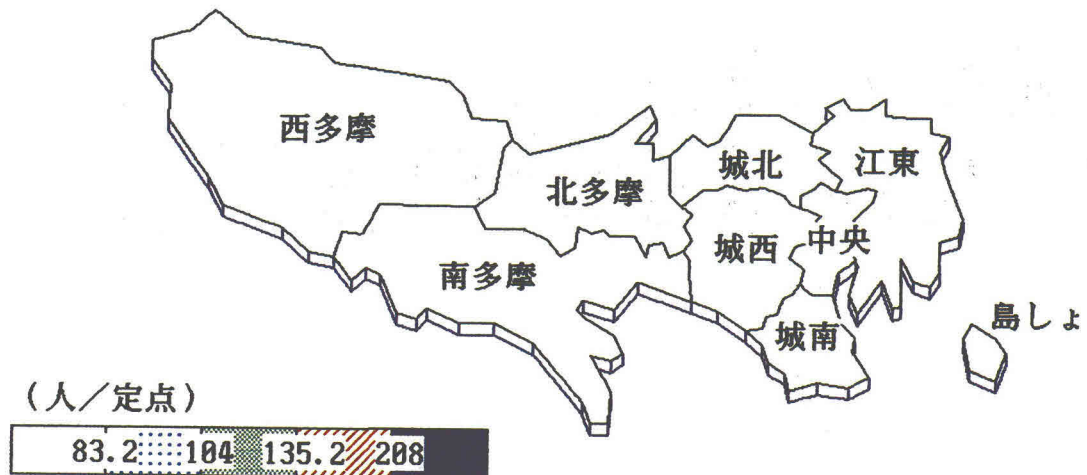
最近の流行状況をみると、平成2年定点当り年間報告数58.2人、平成5年45.8人が大きかったが、平成3年5.2人、4年9.8人、6年9.9人は少なかった。

地域別な発生の差もみられ、保健所別では中央、日本橋、浅草、深川、小岩、青梅、五日市、福生、多摩が多く、これを反映して、中央ブロック、西多摩ブロックが多かった。

年齢別発生状況は、大流行の平成5年に比べて、本年は0歳、1歳の比率がやや増加した。



手足口病 累計図 (平成6年1週～6年52週)

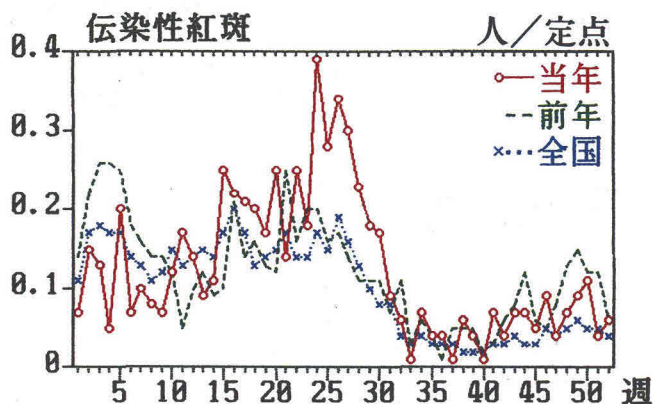


5-9	237	17.4%
4歳	163	11.9%
3歳	243	17.8%
2歳	257	18.8%
1歳	307	22.5%
0歳	95	7.0%
合計	1365	人
15-	35	2.6%
10-	28	2.1%

サ 伝染性紅斑

平成3年は定点当たり年間報告数33.5人、平成4年は26.9人と大きな流行があったが、その後は、平成5年6.2人、平成6年6.6人と治まっている。しかし、地域的には小流行をみるところがあり、保健所別では浅草、千住、青梅の報告が多い。ブロック別では江東、西多摩が多い。

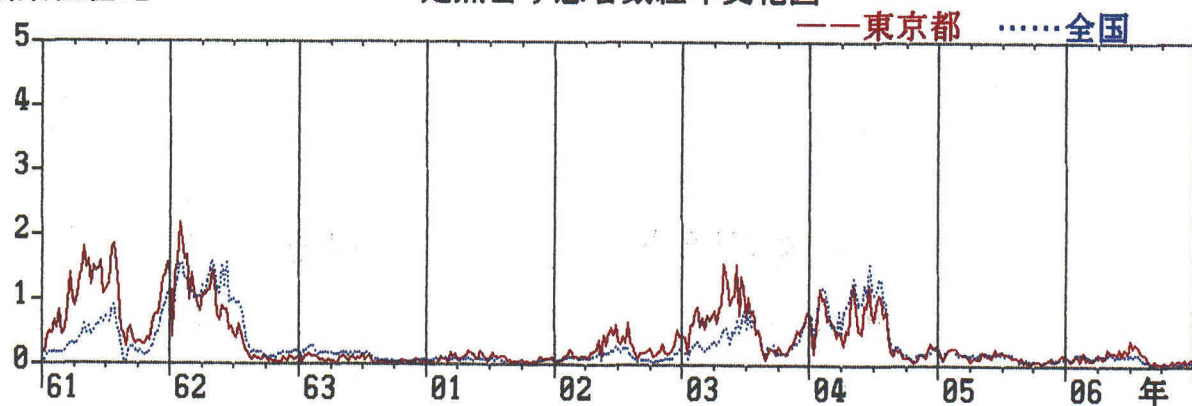
年齢別発生状況は例年と変りはない。

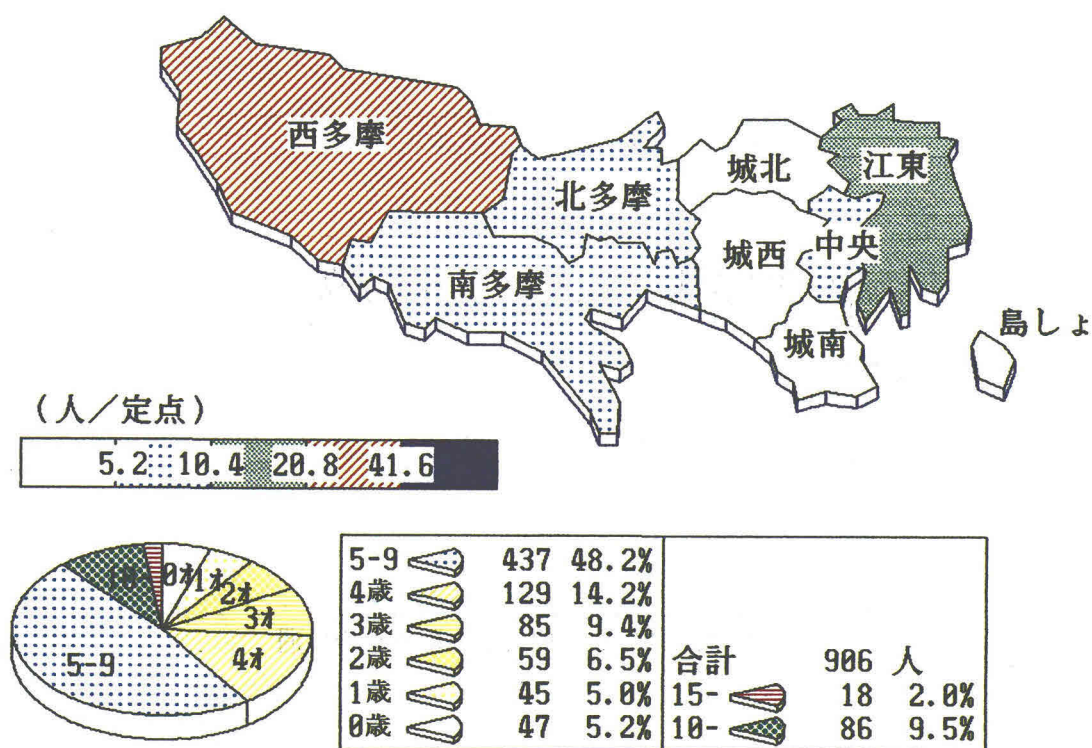


伝染性紅斑

定点当たり患者数経年変化図

定点当たり患者数

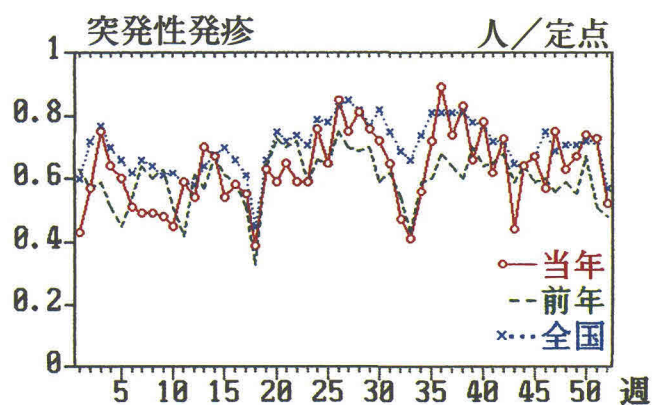




シ 突発性発疹

一定のパターンで発生している。定点当たり年間報告数は、わずかずつ減少する傾向がみられていたが、本年は、はじめて昨年の31.3人から32.8人と増加をみた。

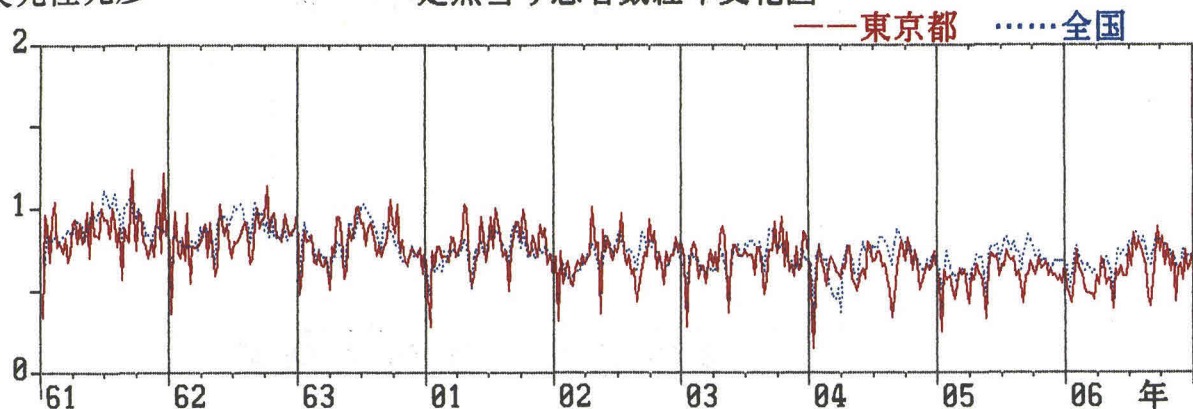
年齢別頻度は0歳85.2%、1歳13.5%と変わらない。



突発性発疹

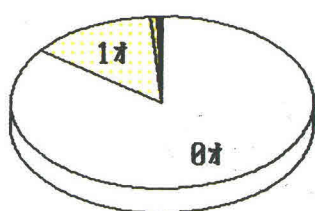
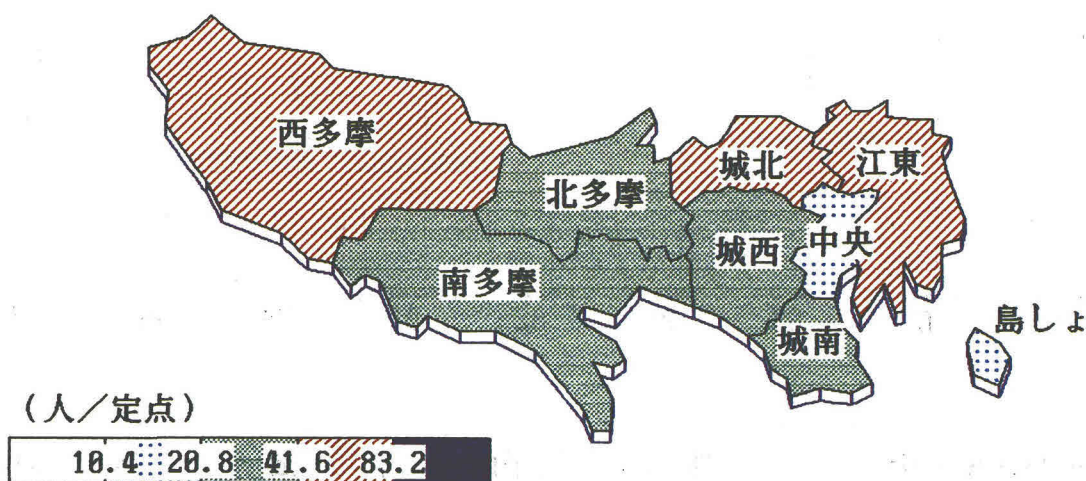
定点当たり患者数経年変化図

定点当たり患者数



突発性発疹

累計図 (平成6年1週～6年52週)



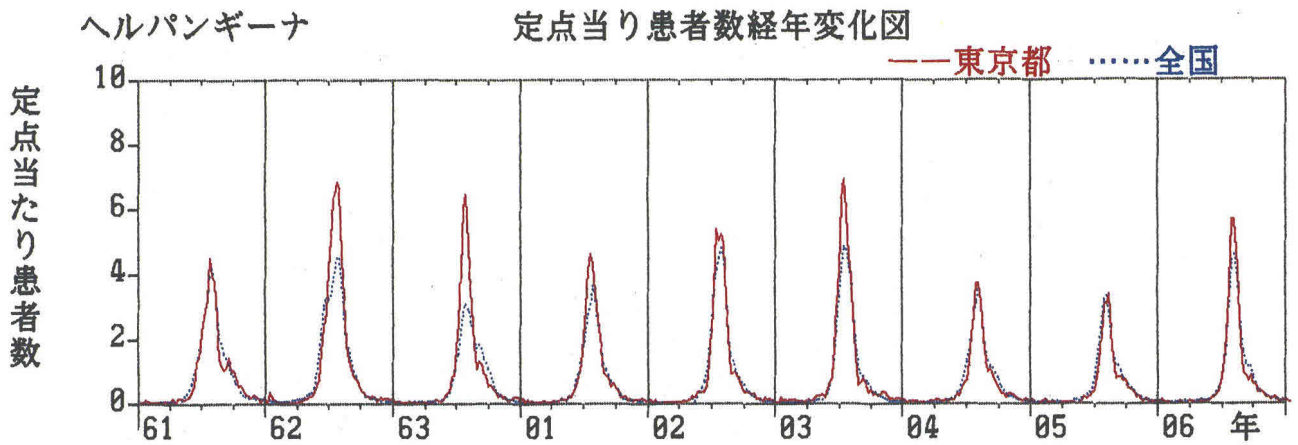
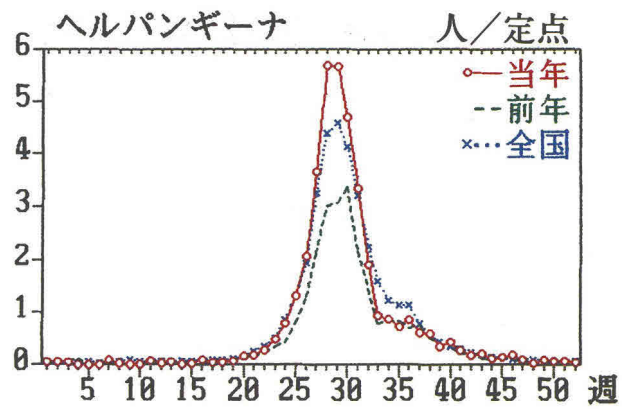
5-9						
4歳	11	.2%				
3歳	12	.3%				
2歳	36	.8%				
1歳	609	13.5%				
0歳	3851	85.2%				
合計		4519 人				
15-						
10-						

ス ヘルパンギーナ

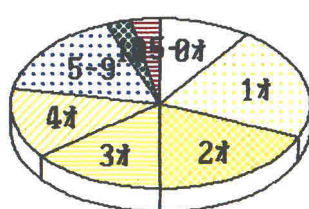
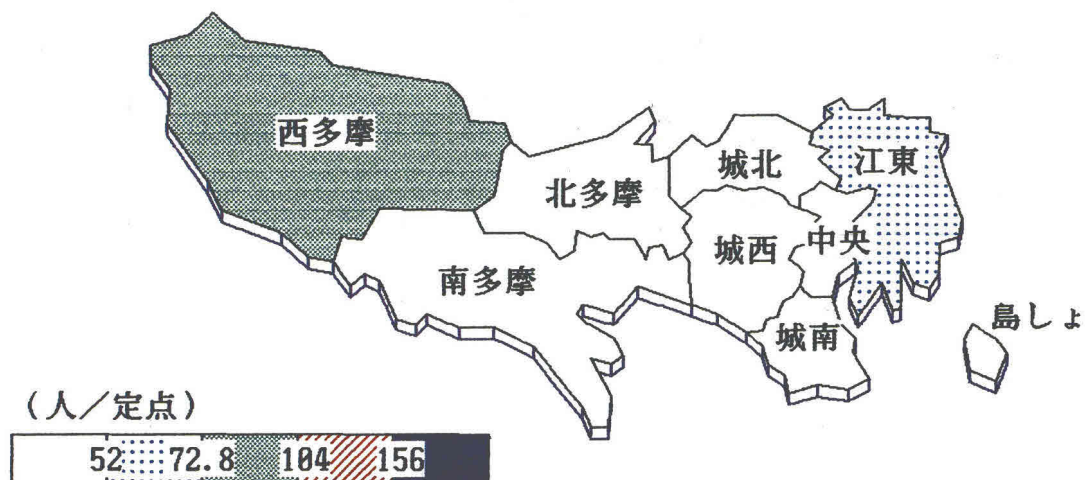
本年は第28週に定点当たり5.68人のピークを作った。流行の規模は比較的一定しているが、年により多少の増減がある。最近の定点当たり年間報告数は平成元年36.6人、2年42.8人、3年51.2人、4年30.7人、5年25.5人で、本年は37.7人と平均的な発生レベルであった。

ブロック別発生状況は、江東、三多摩が多いようであった。保健所別発生状況は、深川、滝野川、足立、青梅、町田、田無が多かった。

年齢別頻度は特に変りはない。



ヘルパンギーナ 累計図 (平成6年1週～6年52週)



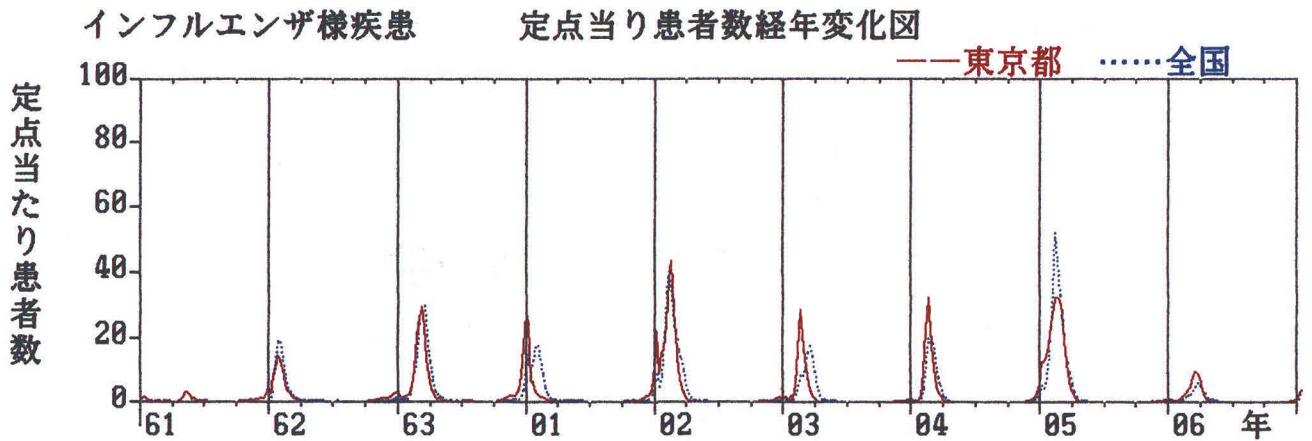
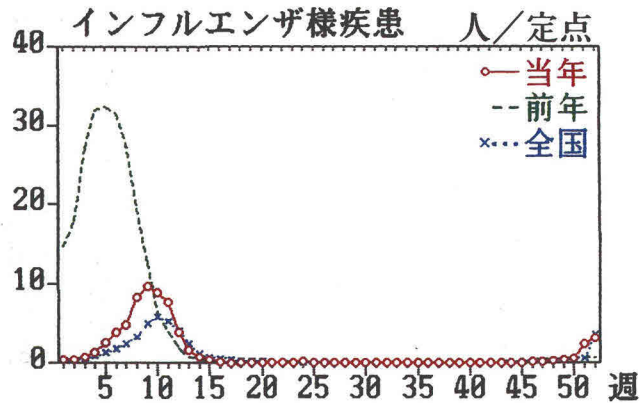
5-9	840	16.2%
4歳	699	13.4%
3歳	758	14.6%
2歳	966	18.6%
1歳	1120	21.5%
0歳	513	9.9%
合計	5200	人
15-	168	3.2%
10-	136	2.6%

セ インフルエンザ様疾患

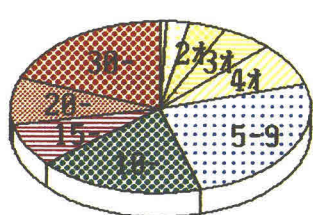
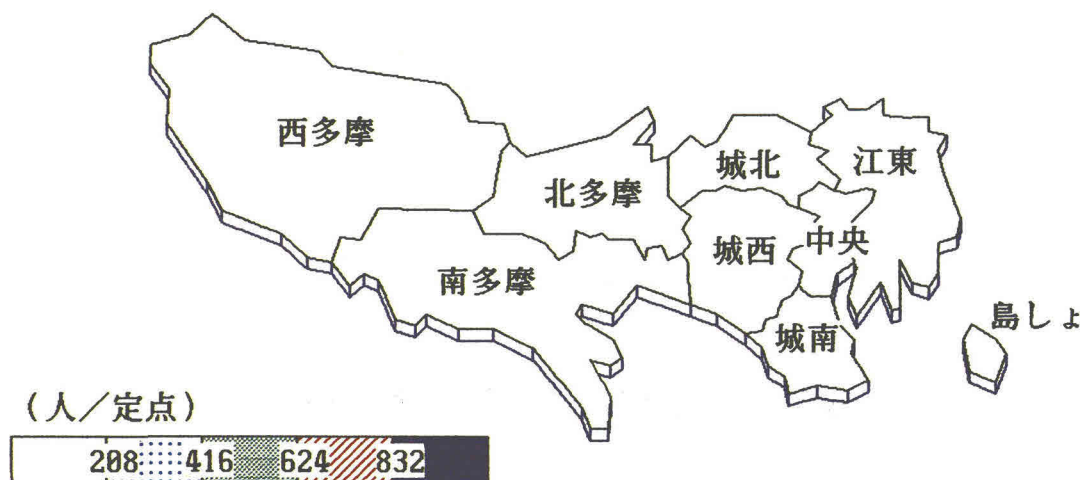
本年の流行は小規模であった。本年第9週に定点当たり9.70人の小さい山を作っただけであった。最近の少ない年をみると、定点当たり年間報告数は、昭和61年が36.1人でもっとも少なく、次いで昭和59年の44.0人であったが、本年は63.6人と、これに次ぐものであった。

ブロック別発生状況は、大きな違いはないが、西多摩、北多摩が多いようであった。保健所別では小石川、五日市、小金井、田無、小平、福生、多摩の報告数が多かった。

年齢別発生状況は変わらない。



インフルエンザ様疾患 累計図 (平成6年1週～6年52週)



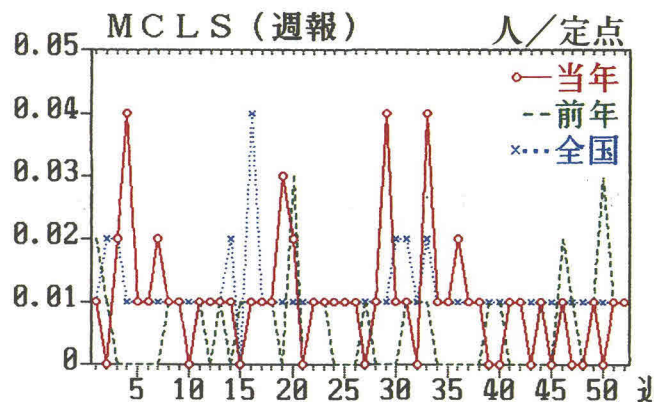
5-9	2217	25.3%	合計	8778 人
4歳	697	7.9%	30-	1695 19.3%
3歳	477	5.4%	20-	766 8.7%
2歳	356	4.1%	15-	722 8.2%
1歳	213	2.4%	10-	1582 18.0%
0歳	53	.6%		

ソ MCLS (川崎病)

小児科内科定点からの定点当り年間報告数は平成元年0.6人、2年0.5人、3年0.9人、4年0.3人、5年0.3人、6年0.5人と大きな違いはない。病院定点からの定点当り年間報告数も平成元年8.8人、2年8.8人、3年9.0人、4年6.2人、5年6.7人、6年7.2人と変りがない。

いずれも週別発生、月別発生、共に特別の多発傾向はみられない。

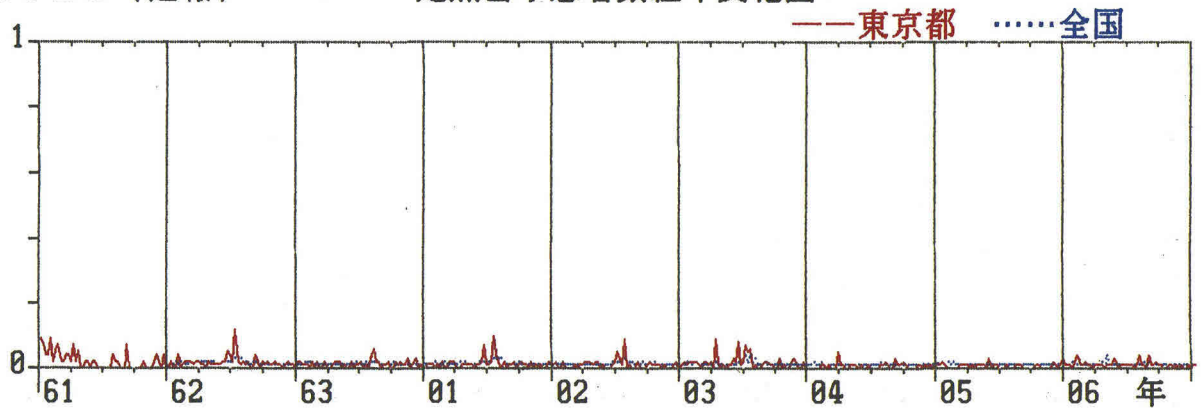
年齢別発生状況も大きな違いはない。



MCLS (週報)

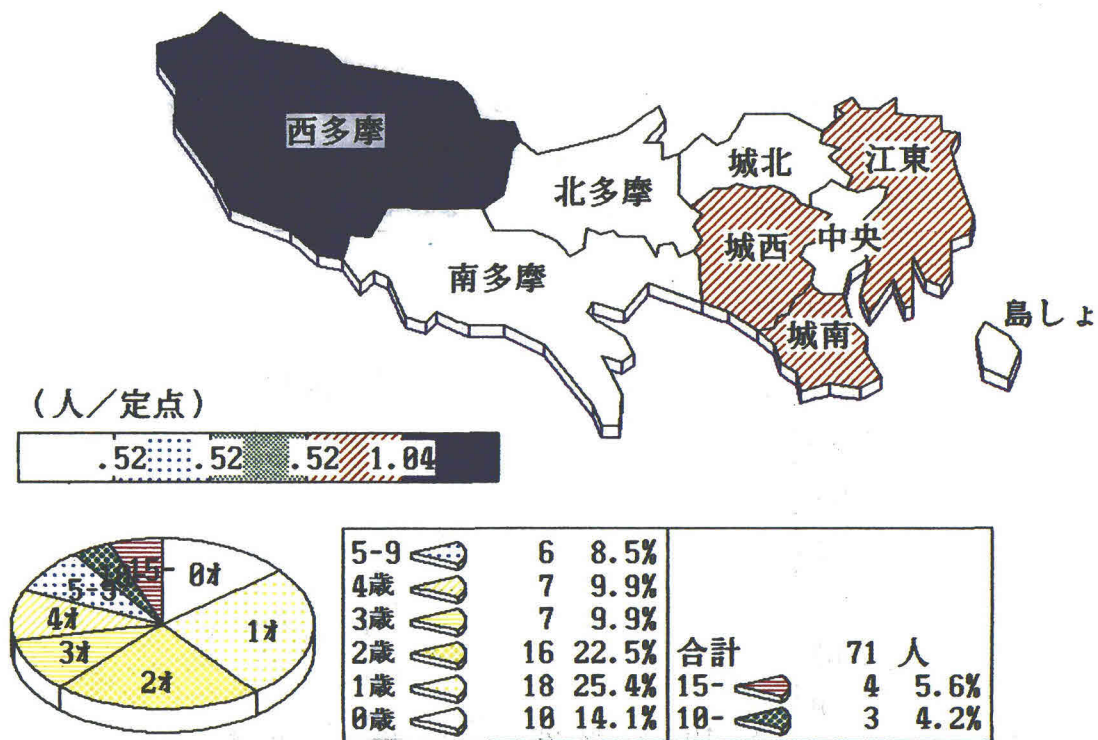
定点当り患者数経年変化図

定点当り患者数



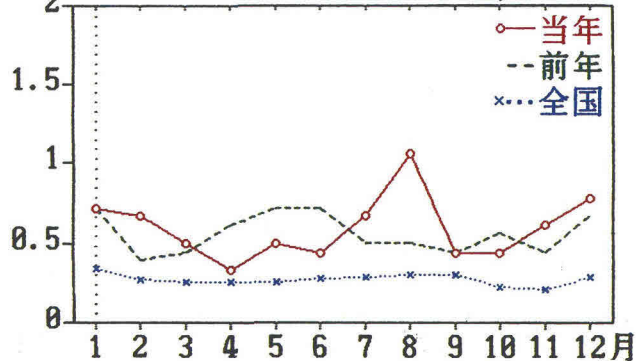
MCLS (週報)

累計図 (平成6年1週～6年52週)

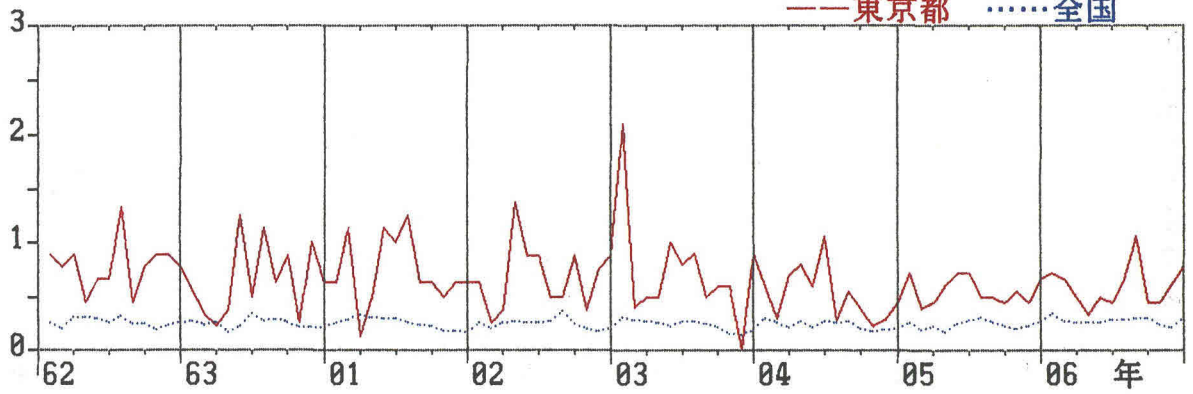


MCLS (月報)

人/定点



定点当り患者数



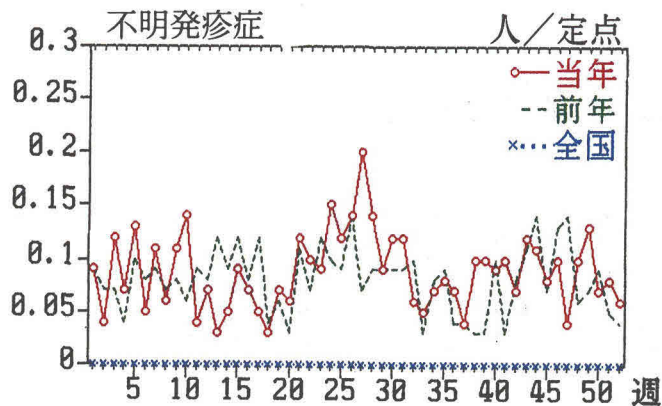
タ 不明発疹症

季節別に夏季に多い傾向があり、本年も4月から7月にかけて、増加傾向がみられた。

年間報告数は本年は定点当り4.6人であまり大きな違いはない。

ブロック別には江東、城西、南多摩に多い傾向で、保健所別では新宿、赤羽、江戸川、武蔵調布、小平が多かった。

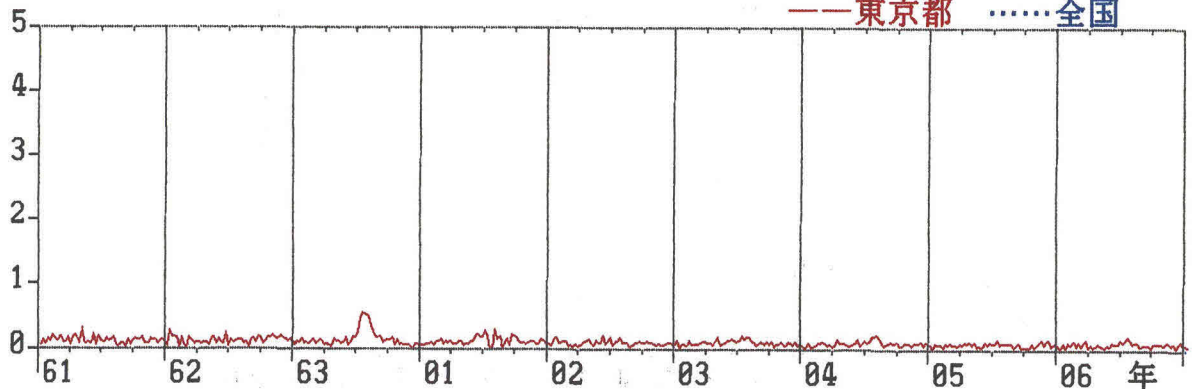
年齢別頻度は変わりはない。

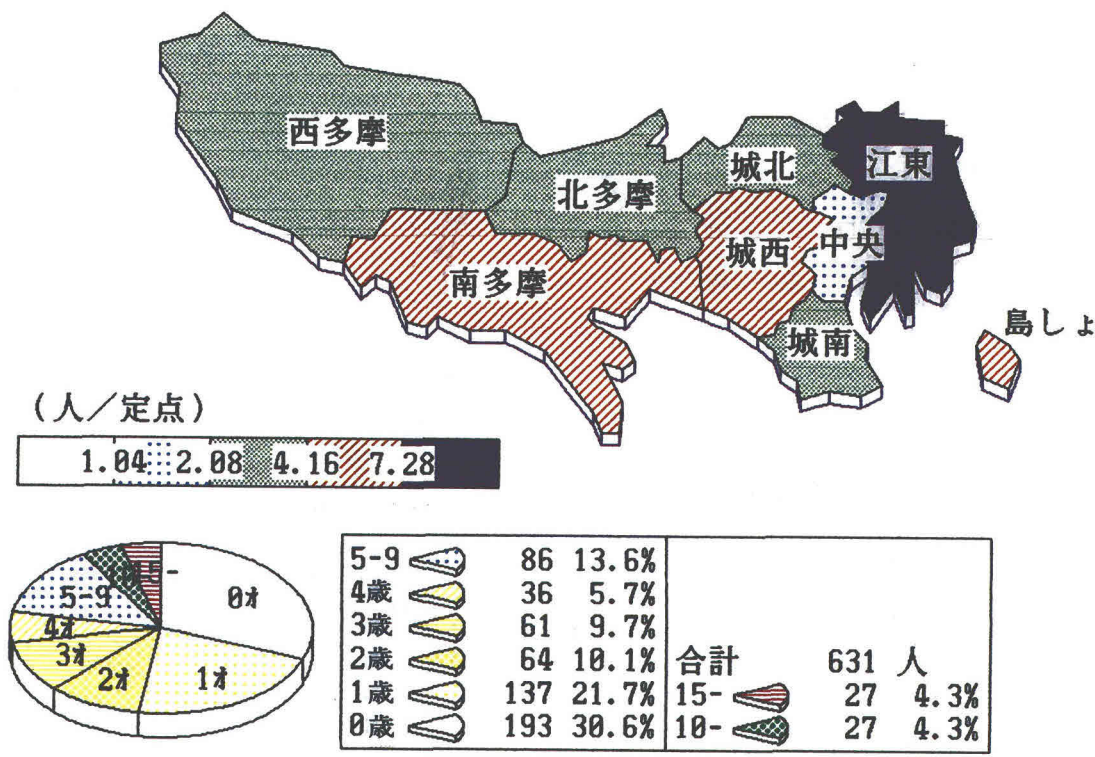


不明発疹症

定点当り患者数経年変化図

定点当り患者数





(2) 眼科疾患

第 4 表－ 1 週別患者数

〃 － 2 週別定点当たり患者数

第 5 表－ 1 保健所別患者数

〃 － 2 保健所別定点当たり患者数

第 6 表－ 1 ブロック別患者数

〃 － 2 ブロック別定点当たり患者数

咽頭結膜熱・流行性角結膜炎は平成 5 年に比べ著しく増加した。それに反し出血性結膜炎は減少した。

ア 咽頭結膜熱

咽頭結膜熱はアデノウイルス関連疾患である。小児科・内科定点と眼科定点の両方から報告される。

平成 6 年も咽頭結膜熱の 98.9% は小児科・内科定点からの報告である。

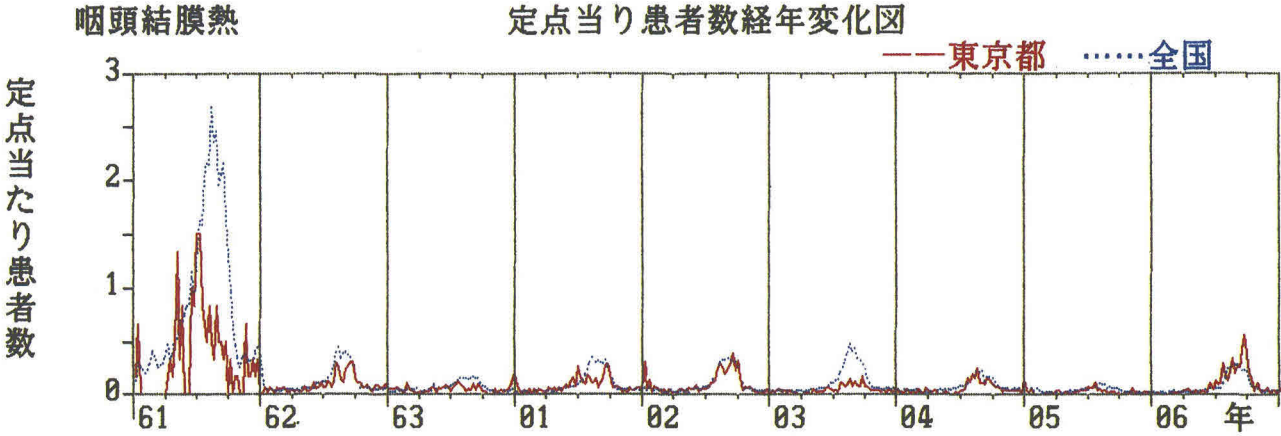
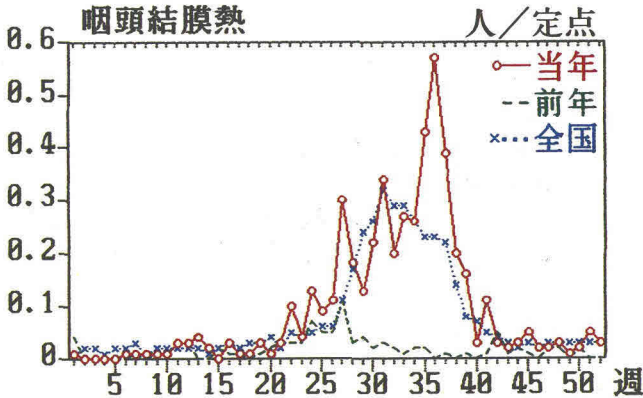
患者総数は 739 人（定点当たり 4.86 人）で、前年の 142 人（定点当たり 1.01 人）に比べて著しく増加している。前々年 397 人（定点当たり 2.61 人）に比べても著しく増加している。

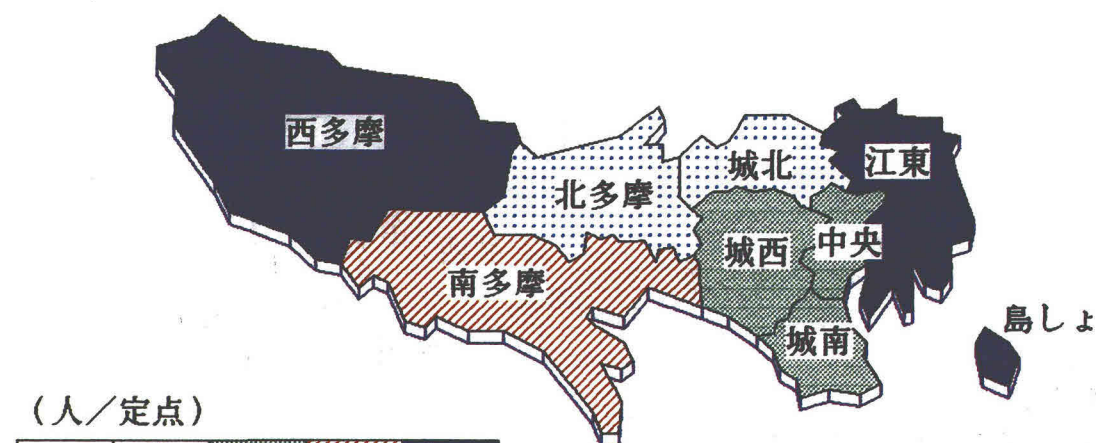
小児科・内科定点からの報告数は731人（定点当たり5.29人）で、眼科定点からの報告数は8人（定点当たり0.57人）であった。眼科定点からの報告では前年6人（定点当たり0.43人）と比べて微増であった。

患者数の推移は、24週から27週にかけて比較的多く発生した前年（28週から37週）に比べ、27週から37週にかけてピークが見られ、例年と同様であった。

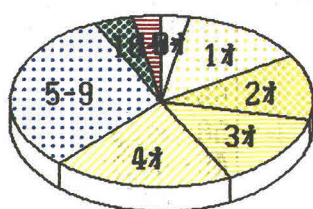
地域的には、江東ブロック（葛飾122人）、南多摩ブロック（五日市100人）に多発している。

罹患年齢には、1歳～5歳が全体の89.7%であった。

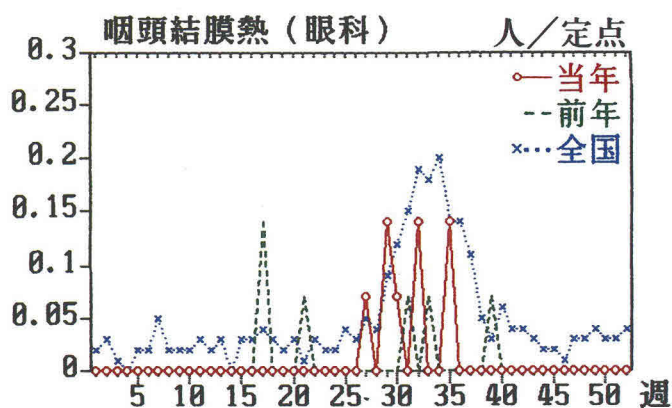




(人/定点)



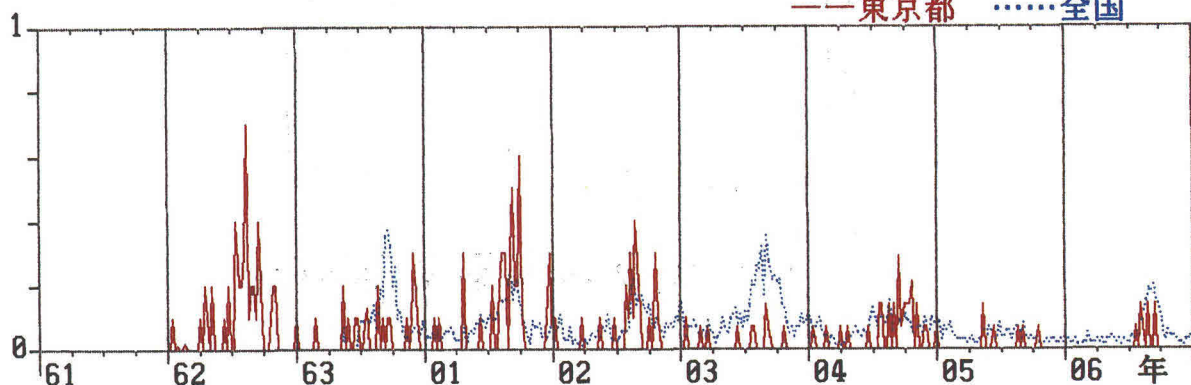
5-9	230	31.1%	合計	739	人
4歳	142	19.2%	15-	23	3.1%
3歳	103	13.9%	10-	30	4.1%
2歳	89	12.0%			
1歳	99	13.4%			
0歳	23	3.1%			

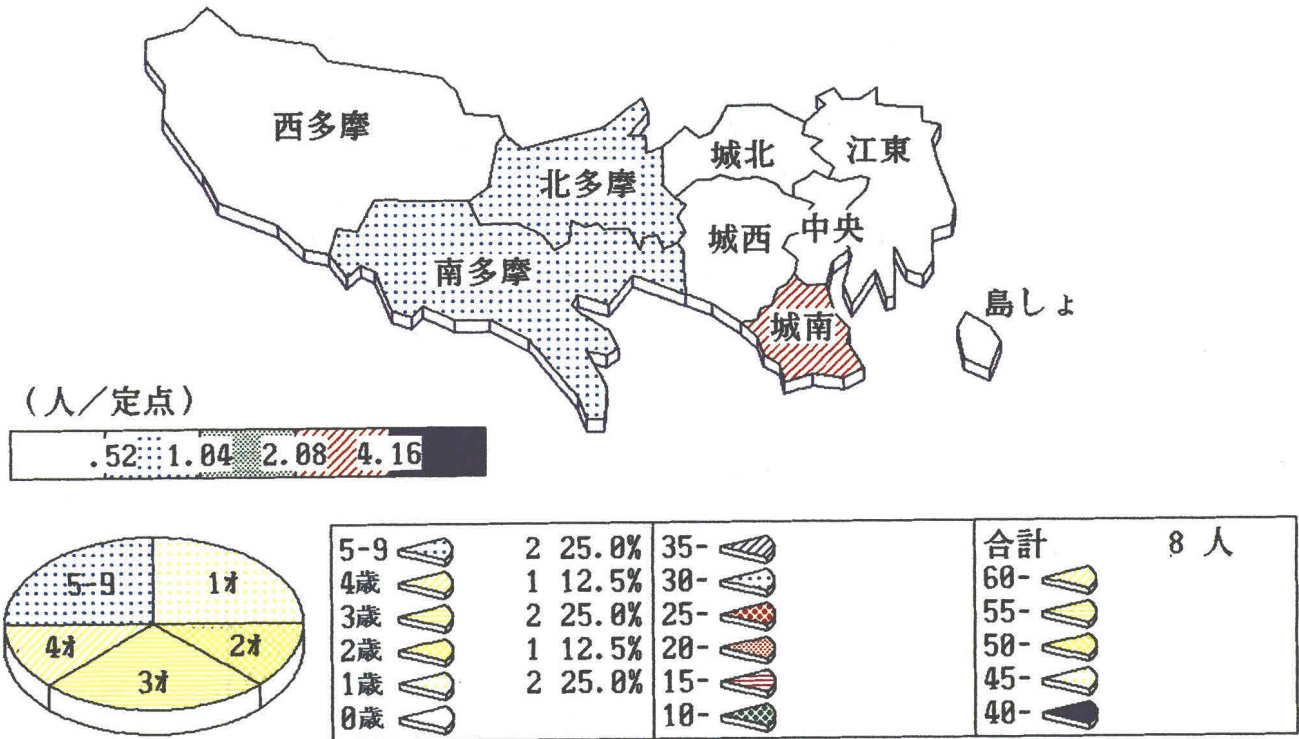


咽頭結膜熱 (眼科)

定点当り患者数経年変化図

定点当たり患者数





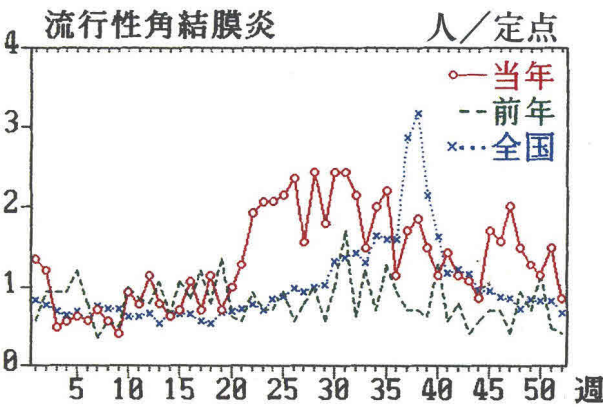
イ 流行性角結膜炎

平成6年の報告数は、980人（定点当たり70.0人）で、前年597人（定点当たり42.64人）に比べ著しく増加しているが、前々年の817人（定点当たり58.36人）とほぼ同様であった。

患者発生推移は、年間を通じて平均的に発生し、特に大きなピークは見られなかったが、22週から42週にかけて多かった。

地域的には、北多摩ブロック（東村山232人）、中央ブロック（本郷139人）、城西ブロック（新宿89人）に多く発生した。

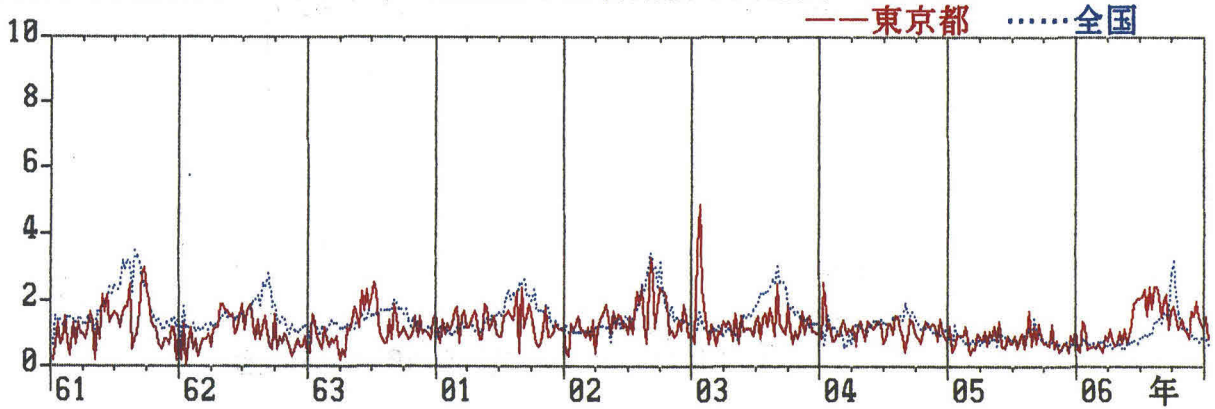
罹患年齢は、20歳以上の者が、全体の75.1%であった。



流行性角結膜炎

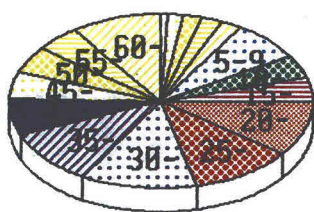
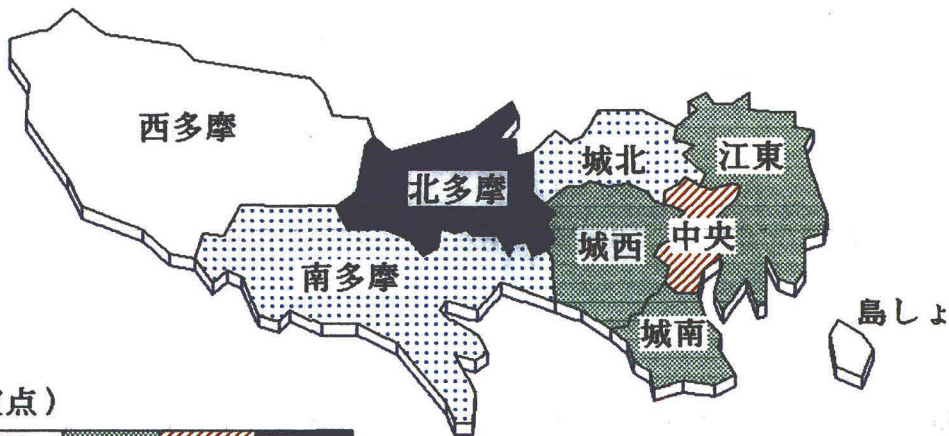
定点当り患者数経年変化図

定点当り患者数



流行性角結膜炎

累計図 (平成6年1週～6年52週)



5-9	73	7.4%	35-	100	10.2%	合計	980	人
4歳	21	2.1%	30-	121	12.3%	60-	94	9.6%
3歳	22	2.2%	25-	108	11.0%	55-	46	4.7%
2歳	20	2.0%	20-	101	10.3%	50-	50	5.1%
1歳	15	1.5%	15-	43	4.4%	45-	48	4.9%
0歳	8	.8%	10-	42	4.3%	40-	68	6.9%

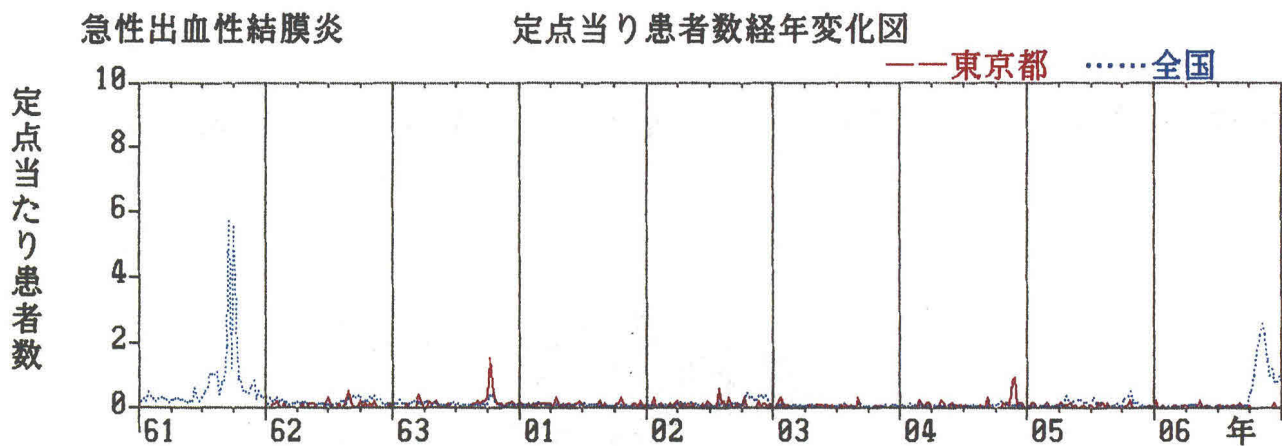
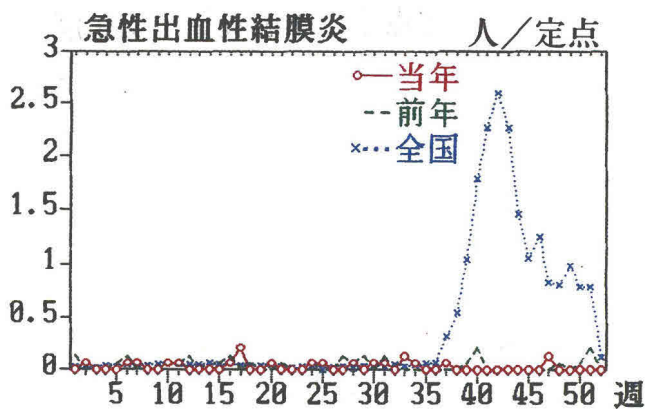
ウ 急性出血性結膜炎

平成6年の報告数は21人（定点当たり1.50人）で、前年の報告数32人（定点当たり2.29人）に比べて更に減少した。前々年の報告数61人（定点当たり4.36人）に比し著しく減少している。

患者発生推移は、年間を通じて平均的に発生し、特に大きなピークは見られなかった。

地域的には、城北ブロック（池袋9人）に多く発生した。

罹患年齢は、20歳以上の者が、全体の81.0%であった。



急性出血性結膜炎 累計図 (平成6年1週～6年52週)



第5表-1

週別患者発生数推移表（平成6年）都 域

（単位：人）

	麻疹 様疾患	風 疹	水 痘	流行性 耳下腺 炎	百日咳 様疾患	溶連菌 感染症	異 肺	型 炎	感染性 胃腸炎	乳 児 嘔吐 下痢症	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	ヘルペ ス ナ	インフ ルエン ザ疾患	川崎病	咽 頭 結膜炎	流行性 角結膜 炎	出血性 結膜炎	不明 発疹症	咽 頭 結膜炎 （眼科）	計
1週 1月2日～	15	7	253	86	1	29	8	521	172	7	10	59	5	54	1	2	19				13	1282
2週 1月9日～	8	9	191	67	1	53	27	710	186	14	21	78	5	64			17		1		5	1457
3週 1月16日～	12	10	195	79	1	94	14	1023	187	19	18	103	6	103	3		7				16	1890
4週 1月23日～	12	7	215	64		81	16	1043	182	14	7	88		192	6		8				10	1945
5週 1月30日～	9	15	164	80		101	16	1125	224	14	27	83	2	360	1		9				18	2248
6週 2月6日～	19	10	185	54	2	87	10	1047	172	14	10	71		538	1		1		1		7	2237
7週 2月13日～	8	21	251	98	3	88	13	1009	214	2	14	67	12	673	3		1		10	1	15	2503
8週 2月20日～	30	8	238	93	3	102	9	979	237	3	11	68	3	1149	1		2		8		8	2952
9週 2月27日～	15	6	191	91	2	142	18	1021	207	4	10	66	2	1339	2		1				15	3138
10週 3月6日～	31	13	183	97	1	125	20	963	222	6	17	62	2	1231			1		13	1	19	3007
11週 3月13日～	33	10	172	94	2	134	12	784	155	4	24	81	8	1066	1		4		11	1	6	2602
12週 3月20日～	27	16	208	91		110	8	588	145	7	19	75	3	531	2		5		16		9	1880
13週 3月27日～	31	14	214	91	3	61	12	488	142	9	13	96	5	219	1		6		11		4	1420
14週 4月3日～	26	29	190	97	1	65	6	451	128	7	15	93	2	110	1		3		9		7	1240
15週 4月10日～	43	19	183	77		53	11	477	109	10	35	75	3	52							12	1189
16週 4月17日～	29	8	131	83	2	95	11	450	99	13	30	80	11	13	2		4		15	1	9	1086
17週 4月24日～	30	14	196	69	3	72	10	467	86	20	29	76	7	9	1		2		10	3	7	1111
18週 5月1日～	28	11	141	85	9	51	4	290	60	6	28	54	6	5	2		1		16		4	801
19週 5月8日～	33	19	212	94	1	67	13	383	66	11	23	87	10	7	4		4		10		9	1053
20週 5月15日～	25	5	194	94	1	73	7	438	82	8	34	81	22		3		2		14	1	8	1092
21週 5月22日～	32	6	191	78	1	82	10	414	53	19	20	90	24				4		18		16	1058
22週 5月29日～	17	17	172	95	2	95	14	379	66	19	34	81	37	3	1		15		27		14	1088
23週 6月5日～	18	28	198	114	1	87	8	385	47	22	25	82	66		1		6		29		12	1129
24週 6月12日～	18	10	178	93	7	74	20	339	56	42	54	105	110	13	1		20		29	1	21	1191
25週 6月19日～	12	15	142	102		80	12	373	48	52	39	90	182	4	1		14		30	1	17	1214
26週 6月26日～	10	8	132	110		81	8	332	52	62	47	117	283		1		17		33		20	1313
27週 7月3日～	15	11	108	99	1	62	11	309	43	86	42	103	505	4			46		22		27	1494
28週 7月10日～	10	8	83	104	2	55	5	349	37	103	32	112	784	1	1		28		34	1	19	1768
29週 7月17日～	15	11	73	68	1	41	5	274	53	95	25	105	782	3	5		20		25		12	1613
30週 7月24日～	8	3	55	92	1	40	10	323	33	87	24	100	648	3	1		34		34	1	16	1513
31週 7月31日～	9	2	47	77	1	31	7	275	34	50	13	90	464	1	1		51		34	1	16	1204
32週 8月7日～	7	4	35	48	5	22	2	212	24	35	8	65	284	1			31		30		8	801
33週 8月14日～	2	4	13	54	1	12	6	187	22	17	1	57	128			5	41		21	2	7	580
34週 8月21日～	3	6	20	47	1	21	5	249	31	25	9	77	117			1	39		28	1	10	690
35週 8月28日～	2	5	37	50	13	17	6	290	32	36	6	99	99	2	2		65		31		11	803
36週 9月4日～	1	6	30	64	2	20	7	315	35	25	5	123	119	1	3		86		16		10	868
37週 9月11日～	3	3	41	50	1	29	15	260	56	37	2	102	84		1		60		24	1	6	775
38週 9月18日～	2	3	40	60	2	28	8	287	49	23	8	115	80	1	1		30		26		14	777
39週 9月25日～	4	4	45	60	1	25	13	280	27	27	6	91	48	3			24		21		14	693
40週 10月2日～		13	57	40	3	28	11	334	39	34	2	108	58				5		16		12	760
41週 10月9日～		16	51	61	1	30	9	291	37	38	9	85	39	7	1		17		20		14	726
42週 10月16日～	1	4	71	46	1	28	9	347	58	29	6	101	24	3	2		5		16		10	761
43週 10月23日～		6	64	55	5	37	21	340	49	21	9	61	28	3			3		15		17	734
44週 10月30日～	1	4	83	48		38	12	330	49	24	9	88	16	8	1		5		12		15	743
45週 11月6日～	2	8	89	44	6	52	22	429	68	26	7	92	20	7			7		24		11	914
46週 11月13日～	1	5	90	48		43	22	535	89	17	12	79	23	15	2		3		22		14	1020
47週 11月20日～	1	3	117	38	1	53	14	680	113	24	5	103	11	17			3		28	2	6	1198
48週 11月27日～		4	147	51	1	66	26	832	140	20	10	87	4	33			4		21		14	1460
49週 12月4日～	3	4	146	52		62	23	1289	208	16	13	93	14	68	1		2		18		18	2030
50週 12月11日～		11	182	45	3	57	32	1567	255	26	15	102	10	93			3		16		10	2427
51週 12月18日～	2	10	183	39	1	54	22	1505	249	25	6	101	10	329	1		7		21		11	2576
52週 12月25日～		14	143	33		44	20	1089	235	11	8	72	5	440			2		12		8	2141
計	663	507	6970	3749	101	3177	680	29637	5462	1365	906	4519	5200	8778	71	739	980	21	631	8	74136	

第5表-2

週別定点当たり患者発生数推移表（平成6年）都 城

（単位：人／定点）

	麻疹 様疾患	風疹	水痘	流行性 耳下腺 炎	百日咳 様疾患	溶連菌 感染症	異 肺 炎	感染性 胃腸炎	乳 児 嘔 吐 下痢症	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	ヘルパ ー ン ギ ー ナ	インフ ル エ ン ザ 疾 患	川崎病	咽 頭 結 膜 熱	流行性 角 結 膜 炎	出血性 結 膜 炎	不 明 発 疹	咽 頭 結 膜 熱 (眼科)	計
1週 1月2日～	.11	.05	1.83	.62	.01	.21	.06	3.78	1.25	.05	.07	.43	.04	.39	.01	.01	1.36			.09	10.37
2週 1月9日～	.06	.07	1.38	.49	.01	.38	.20	5.14	1.35	.10	.15	.57	.04	.46			1.21	.07	.04		11.72
3週 1月16日～	.09	.07	1.41	.57	.01	.68	.10	7.41	1.36	.14	.13	.75	.04	.75	.02		.50		.12		14.15
4週 1月23日～	.09	.05	1.56	.46		.59	.12	7.56	1.32	.10	.05	.84		1.39	.04		.57		.07		14.61
5週 1月30日～	.07	.11	1.19	.58		.73	.12	8.15	1.62	.10	.20	.80	.01	2.61	.01		.64		.13		16.87
6週 2月6日～	.14	.07	1.34	.39	.01	.63	.07	7.59	1.25	.10	.07	.51		3.90	.01	.01	.57	.07	.05		16.78
7週 2月13日～	.06	.15	1.82	.71	.02	.64	.09	7.31	1.55	.01	.10	.49	.09	4.88	.02	.01	.71	.07	.11		18.84
8週 2月20日～	.22	.06	1.72	.67	.02	.74	.07	7.09	1.72	.02	.08	.49	.02	8.33	.01	.01	.57		.06		21.90
9週 2月27日～	.11	.04	1.38	.66	.01	1.03	.13	7.40	1.50	.03	.07	.48	.01	9.70	.01	.01	.43		.11		23.11
10週 3月6日～	.22	.09	1.33	.70	.01	.91	.14	6.98	1.61	.04	.12	.45	.01	8.92		.01	.93	.07	.14		22.68
11週 3月13日～	.24	.07	1.25	.68	.01	.97	.09	5.68	1.12	.03	.17	.59	.06	7.72	.01	.03	.79	.07	.04		19.62
12週 3月20日～	.20	.12	1.51	.66		.80	.06	4.26	1.05	.05	.14	.54	.02	3.85	.01	.03	1.14		.07		14.51
13週 3月27日～	.22	.10	1.55	.66	.02	.44	.09	3.54	1.03	.07	.09	.70	.04	1.59	.01	.04	.79		.03		11.01
14週 4月3日～	.19	.21	1.38	.70	.01	.47	.04	3.27	.93	.05	.11	.67	.01	.80	.01	.02	.64		.05		9.56
15週 4月10日～	.31	.14	1.33	.56		.38	.08	3.46	.79	.07	.25	.54	.02	.38			.71		.09		9.11
16週 4月17日～	.21	.06	.95	.60	.01	.69	.08	3.26	.72	.09	.22	.58	.08	.09	.01	.03	1.07	.07	.07		8.89
17週 4月24日～	.22	.10	1.42	.50	.02	.52	.07	3.38	.62	.14	.21	.55	.05	.07	.01	.01	.71	.21	.05		8.86
18週 5月1日～	.20	.08	1.02	.62	.07	.37	.03	2.10	.43	.04	.20	.39	.04	.04	.01	.01	1.14		.03		6.82
19週 5月8日～	.24	.14	1.54	.68	.01	.49	.09	2.78	.48	.08	.17	.63	.07	.05	.03	.03	.71		.07		8.29
20週 5月15日～	.18	.04	1.41	.68	.01	.53	.05	3.17	.59	.06	.25	.59	.16		.02	.01	1.00	.07	.06		8.88
21週 5月22日～	.23	.04	1.38	.57	.01	.59	.07	3.00	.38	.14	.14	.65	.17			.03	1.29		.12		8.81
22週 5月29日～	.12	.12	1.25	.69	.01	.69	.10	2.75	.48	.14	.25	.59	.27	.02	.01	.10	1.93		.10		9.62
23週 6月5日～	.13	.20	1.43	.83	.01	.63	.06	2.79	.34	.16	.18	.59	.48		.01	.04	2.07		.09		10.04
24週 6月12日～	.13	.07	1.29	.67	.05	.54	.14	2.46	.41	.30	.39	.76	.80	.09	.01	.13	2.07	.07	.15		10.53
25週 6月19日～	.09	.11	1.03	.74		.58	.09	2.70	.35	.38	.28	.65	1.32	.03	.01	.09	2.14	.07	.12		10.78
26週 6月26日～	.07	.06	.96	.80		.59	.06	2.41	.38	.45	.34	.85	2.05		.01	.11	2.36		.14		11.64
27週 7月3日～	.11	.08	.78	.72	.01	.45	.08	2.24	.31	.62	.30	.75	3.68	.03		.30	1.57		.20	.07	12.21
28週 7月10日～	.07	.06	.80	.75	.01	.40	.04	2.53	.27	.75	.23	.81	5.68	.01	.01	.18	2.43	.07	.14		15.04
29週 7月17日～	.11	.08	.53	.49	.01	.30	.04	1.99	.38	.69	.18	.76	5.67	.02	.04	.13	1.79		.09	.14	13.30
30週 7月24日～	.06	.02	.40	.67	.01	.29	.07	2.34	.24	.63	.17	.72	4.70	.02	.01	.22	2.43	.07	.12	.07	13.19
31週 7月31日～	.07	.01	.34	.56	.01	.22	.05	1.99	.25	.36	.09	.65	3.36	.01	.01	.34	2.43	.07	.12		10.94
32週 8月7日～	.05	.03	.25	.35	.04	.16	.01	1.54	.17	.25	.06	.47	1.91	.01		.20	2.14		.06	.14	7.70
33週 8月14日～	.01	.03	.09	.39	.01	.09	.04	1.36	.16	.12	.01	.41	.93		.04	.27	1.50	.14	.05		5.65
34週 8月21日～	.02	.04	.14	.34	.01	.15	.04	1.80	.22	.18	.07	.56	.85		.01	.26	2.00	.07	.07		6.83
35週 8月28日～	.01	.04	.27	.36	.09	.12	.04	2.10	.23	.26	.04	.72	.72	.01	.01	.43	2.21		.08	.14	7.74
36週 9月4日～	.01	.04	.22	.46	.01	.14	.05	2.28	.25	.18	.04	.89	.86	.01	.02	.57	1.14		.07		7.24
37週 9月11日～	.02	.02	.30	.36	.01	.21	.11	1.88	.41	.27	.01	.74	.61		.01	.39	1.71	.07	.04		7.17
38週 9月18日～	.01	.02	.29	.43	.01	.20	.06	2.08	.36	.17	.06	.83	.58	.01	.01	.20	1.86		.10		7.28
39週 9月25日～	.03	.03	.33	.43	.01	.18	.09	2.03	.20	.20	.04	.66	.35	.02		.16	1.50		.10		6.36
40週 10月2日～		.09	.41	.29	.02	.20	.08	2.42	.28	.25	.01	.78	.42			.03	1.14		.09		6.51
41週 10月9日～		.12	.37	.44	.01	.22	.07	2.11	.27	.28	.07	.62	.28	.05	.01	.11	1.43		.10		6.56
42週 10月16日～	.01	.03	.51	.33	.01	.20	.07	2.51	.42	.21	.04	.73	.17	.02	.01	.03	1.14		.07		6.51
43週 10月23日～		.04	.46	.40	.04	.27	.15	2.46	.36	.15	.07	.44	.20	.02		.02	1.07		.12		6.27
44週 10月30日～	.01	.03	.60	.35		.28	.09	2.39	.36	.17	.07	.64	.12	.06	.01	.03	.86		.11		6.18
45週 11月6日～	.01	.06	.64	.32	.04	.38	.16	3.11	.49	.19	.05	.67	.14	.05		.05	1.71		.08		8.15
46週 11月13日～	.01	.04	.65	.35		.31	.16	3.88	.64	.12	.09	.57	.17	.11	.01	.02	1.57		.10		8.80
47週 11月20日～	.01	.02	.85	.28	.01	.38	.10	4.78	.82	.17	.04	.75	.08	.12		.02	2.00	.14	.04		10.61
48週 11月27日～		.03	1.07	.37	.01	.48	.19	6.03	1.01	.14	.07	.63	.03	.24		.03	1.50		.10		11.93
49週 12月4日～	.02	.03	1.06	.38		.45	.17	9.34	1.51	.12	.09	.67	.10	.49	.01	.01	1.29		.13		15.87
50週 12月11日～		.08	1.32	.33	.02	.41	.23	11.36	1.85	.19	.11	.74	.07	.67		.02	1.14		.07		18.61
51週 12月18日～	.01	.07	1.33	.28	.01	.39	.16	10.91	1.80	.18	.04	.73	.07	2.38	.01	.05	1.50		.08		20.00
52週 12月25日～		.10	1.04	.24		.32	.14	7.89	1.70	.08	.06	.52	.04	3.19	.01	.03	.86		.06		16.28
計	4.80	3.67	50.51	27.17	.73	23.02	4.78	214.76	39.58	9.89	6.57	32.75	37.68	63.61	.51	4.86	70.00	1.50	4.57	.57	600.96

第6表-1

保健所別累計表 (平成6年1週～平成6年52週)

患者報告数

小内	眼科	麻疹 様疾患	風疹	水痘	流行性 耳下腺炎	百日咳 様疾患	溶連菌 感染症	異肺	型 肺炎	感染性 胃腸炎	乳 児 吐 下 痢 症	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	ヘルパ ー 症	インフ ル ン ザ 症	川崎病	咽 頭 結 核	流行性 角結膜炎	出血性 結膜炎	不明 発疹症	咽 頭 結 核 (眼科)	計
鮎町	2	0	9	1	37	13	4	23	22	307	19	12	8	22	43	105	1	2				4	632
神田	2	0			7	11		6	1	77	11	13	1	7	18	130		11				1	302
中央	2	0	17	13	110	72	4	89	68	182	136	62	10	75	21	18		3					880
日本橋	1	0	2		29	5		37	1	2	3	34	9	42	64			14				3	245
芝	3	0	23	4	78	32	1	20	1	126	24	16	1	27	9	182	1	2					547
麻布	2	0			10	2				24	7			4		83							130
赤坂	0	1																	89				89
牛込	1	1	5	4	28	26		14	11	300	33	6	6	35	20	61	3		89				615
四谷	1	0	6	3	27	13		22	19	422	33	5	1	42	21	49			63			1	664
新宿	4	1	12	15	123	70	2	70	55	1420	682	20	10	114	163	323	7	72	89	3	53	1	3303
小石川	2	0	8	47	44	31	5	47	22	545	22	8	15	53	74	385		9					1330
本郷	1	1	1	4	23	6		13	7	61	12	7	5	4	12	28		1	139				323
下谷	2	0	5	8	124	82	1	15	3	158	78	36	12	40	30	75	1	1					667
浅草	1	0	14	7	214	60	4	52	11	97	50	46	31	10	28	43	1	6					674
向島	1	0	6	4	32	35		19		25	20	4	1	26	21			12				1	206
本所	2	0	8	11	136	34	1	31	1	374	95	30	29	87	59	124		11				2	1033
城東	2	0	3	3	29	36		4		468	20	12	1	28	28	335	1	4				1	973
深川	1	1	16	2	46	28	2	383	23	222	74	52	5	40	109	52	4	24	48			9	1139
品川	3	0	1	9	113	11		47	3	749	80	12	4	87	131	394	1	21				20	1683
荏原	3	0	6	18	171	134	2	35	1	448	143	8	39	105	210	65	1					3	1389
目黒	1	0	3	1	56	10		3	4	118	1	4	4	16	15	16		1				1	253
碑文谷	2	0	1	5	73	11	1	27	10	222	38	21	18	71	84	32	2	9				15	638
大森	3	0	6	5	57	10		55	3	503	36	15	8	43	96	207	1	10				20	1075
雪谷	2	0	8	15	133	70	7	46	3	679	87	23	10	123	47	100	3					1	1355
蒲田	3	1	7	19	172	120	2	44	6	808	229	6	8	98	47	38	2	17	34			6	1863
堀谷	0	0																				3	
世田谷	2	0		5	152	32	4	37	34	311	73	22	20	112	43	52	1	4				17	919
梅丘	1	0	4		143	45		20	2	581	35	15	4	92	67	70		3					1081
玉川	2	0		21	36	13	3	2		100	97	6	15	39	85	137		1					555
砧	3	0	3	3	145	20		13	1	649	116	11	2	112	74	134	1					10	1294
渋谷区	4	1	4	11	87	31	1	12	14	681	137	21	10	74	117	217		14	4			20	1455
中野	4	0	13	31	180	177	6	134	14	1063	109	57	10	158	133	170	4	10				16	2285
中野北	2	0	5		47	46	1	30	9	1053	19	13	26	25	47	72		1				8	1402
西	4	0	3	3	177	57	5	24	42	671	51	9	3	112	139	98	2	2				6	1404
南	1	0			12	6		14		141	8	1		12	13	31						1	241
東	1	0	2		9	11		51	1	135				2	23	47							281
池袋	4	1	4	5	89	24		8	2	430	19	7	9	31	144	44	2	5	25	9	8		865
袋	1	0								188	20	4		102	26	7							520
長崎	2	0	13	1	117	42	1	20	5	245	33	11	7	30	92	43							594
王子	2	0	4		70	32		29		569	29	29	5	59	53	52		2				34	982
赤羽	1	0	2		66	51	1	29		300	82	20	18	135	128	50	3					6	866
滝野川	1	0	8		69	29		1		483	8	10	22	52	38	57		1	31	2		3	1031
荒川	2	1	1	9	45	92		172	5	231	28	11	10	39	47	213		12				5	779
板橋	2	0	25	7	70	46		27	8	380	17	27		45	11	47	1	1					627
赤塚	2	0	3	4	41	18	1	17	14														
志村	0	0																					
練馬	3	0	16	5	244	148	1	54	6	446	59	47	12	250	30	49	1	2				4	1374
石神井	2	0		4	77	70	1	16		335	101	17	7	96	59	29		6				1	819
足立	2	0	22	7	151	106		44	2	301	53	16	18	75	219	172	2					17	1205
千住	2	0	9	5	134	130	1	65	10	801	41	24	50	89	121	99	1	9				14	1603
葛飾	3	0	39	15	240	197	7	224	30	412	49	37	52	255	287	162	6	122					2134
葛飾北	1	0		3	58	37		13		183	44	1		25	70	72		4					510
江戸川	3	0	29	7	211	44	1	31	2	1863	3	25	29	113	132	206	1					127	2824
小岩	1	0	6	15	85	44		4	4	333	28	42	5	50	24	20						8	668
青梅	1	0	27	4	108	23	1	61	17	233	150	54	88	54	112	75	1	29				2	1035
五日市	2	0	46	4	379	134	2	158	1	906	396	79	20	121	146	359	6	100					2857
八王子	2	1	1	22	168	126		21	8	338	134	12	25	88	65	43		27	25	4		2	1109
日野	1	0	7	2	55	27	3	7	4	153	4	4	18	20	24	143	1	3				5	480
町田	2	1	9	13	201	45	3	122	18	951	69	28	32	99	236	116		14	33			4	1993
府中	2	0	1	3	36	143		3		237	46	6	1	41	13	115	1	1				2	649
武蔵調布	3	0	11	6	129	93	1	41	35	520	201	20	18	78	80	242	1	36				52	1564
小金井	2	0	9	5	94	93	2	38	4	493	11	5	2	85	17	501		6				2	1367
立川	4	0	87	6	196	68	8	142	10	404	54	12	23	17	49	302	1	10				24	1413
武蔵野	2	0	1	5	89	38	1	71	39	163	105	8	27	37	64	90	1	1				2	742
三鷹	2	2	1	1	13	2		1	8	195	10	2		16	33	71	1	6	168	3		2	533
田無	2	0	5	43	139	32		10	11	1003	473	26	7	83	202	304		1				5	2344
小平	1	0	2		70	43	2	28		232	119	16	14	46	94	254	1	5				12	936
東村山	2	1	9	8	130	88		6	4	605	153	17	19	59	50	142	1	3	232			16	1540
島しょ	1	0	10	2	5	84	6	11	6	93	20	2		13	39	2		14				6	313
東久留米	2	0	9	3	226	120	2	160	3	689	33	14	6	66	126	164		3				5	1609
福生	2	0	35	5	230	33		50	1	466	62	65	8	112	144	356	1	49				14	1631
多摩	2	0	11	11	91	92		69	10	754	234	60	23	105	134	304		2				15	1915
計	138	14	683	507	6970	3749	101	3177	660	29637	5462	1365	906	4519	5200	8778	71	739	980	21	631	8	74136
定点当たり	4.80	3.67	50.51	27.17	.73	23.02	4.78	214.76	39.58	9.89	6.57	32.75	37.68	63.61	.51	4.86	70.00	1.50	4.57	.57			600.96

第6表-2

保健所別累計表

(平成6年1週～平成6年52週)

定点当たり発生数

小 内 科	麻 疹 様 疾 患	風 疹	水 痘	流行性 耳下腺 炎	百日咳 様 疾 患	溶連菌 感 染 症	異 肺	型 炎	感染性 胃腸炎	乳 嚢 下 病 症	児 吐 病	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発 疹	ヘルペ ス ナ	インフ ルエン ザ 疾 患	川崎病	咽 頭 結 核 熱	流行性 角結膜 炎	出血性 結膜 炎	不 明 発 疹 症	咽 頭 結 核 熱 (眼科)	計
豊町	2	0	4.50	.50	18.50	6.50	2.00	11.50	11.00	153.50	9.50	6.00	4.00	11.00	21.50	52.50	.50	1.00				2.00	316.00
神田	2	0		3.50	5.50	4.00		3.00	.50	38.50	5.50	6.50	.50	3.50	9.00	65.00		5.50				.50	151.00
中央	2	0	8.50	6.50	55.00	36.00	2.00	44.50	34.00	91.00	68.00	31.00	5.00	37.50	10.50	9.00		1.50					440.00
日本橋	1	0	2.00		29.00	5.00			1.00	2.00	3.00	34.00	9.00	42.00	64.00			14.00				3.00	245.00
芝	3	0	7.63	1.32	26.01	10.63	.33	6.64	.33	41.99	7.98	5.31	.33	8.96	2.99	60.65	.33	.66					182.09
麻布	2	0			5.00	1.00				12.00	3.50			2.00		41.50							65.00
赤坂	0	1																					89.00
牛込	1	1	5.00	4.00	28.00	26.00		14.00	11.00	300.00	33.00	6.00	6.00	35.00	20.00	61.00	3.00		89.00				615.00
四谷	1	0	6.00	3.00	27.00	13.00		22.00	19.00	422.00	33.00	5.00	1.00	42.00	21.00	49.00					1.00		684.00
新宿	4	1	3.00	3.75	30.75	17.50	.50	17.50	13.75	355.00	170.50	5.00	2.50	28.50	40.75	80.75	1.75	14.40	89.00	3.00	13.25	1.00	891.15
小石川	2	0	4.00	23.50	22.00	15.50	2.50	23.50	11.00	272.50	11.00	4.00	7.50	26.50	37.00	192.50		4.50					665.00
小石川	1	1	1.00	4.00	23.00	6.00		13.00	7.00	61.00	12.00	7.00	5.00	4.00	12.00	28.00		.50	139.00				322.50
下谷	2	0	2.50	4.00	62.00	41.00	.50	7.50	1.50	79.00	38.00	18.00	6.00	20.00	15.00	37.50	.50	.50					333.50
浅草	1	0	14.00	7.00	214.00	60.00	4.00	52.00	11.00	97.00	50.00	46.00	31.00	10.00	28.00	43.00	1.00	6.00					674.00
向島	1	0	6.00	4.00	32.00	35.00		19.00		25.00	20.00	4.00	1.00	26.00	21.00			12.00			1.00		208.00
本所	2	0	4.00	5.50	68.00	17.00	.50	15.50	.50	187.00	47.50	15.00	14.50	43.50	29.50	62.00		5.50			1.00		518.50
城東	2	0	1.50	1.50	14.50	18.00		2.00		234.00	10.00	6.00	.50	14.00	14.00	167.50	.50	2.00			.50		486.50
深川	1	1	16.00	2.00	46.00	28.00	2.00	383.00	23.00	222.00	74.00	52.00	5.00	40.00	109.00	52.00	4.00	12.00	48.00		9.00		1127.00
品川	3	0	.33	2.98	37.65	3.66		15.61	.99	249.66	26.65	4.00	1.32	28.97	43.66	131.35	.33	6.99					560.80
荏原	3	0	1.98	5.99	57.00	44.65	.66	11.63	.33	149.36	47.65	2.64	12.97	35.00	70.01	21.67	.33				.99		462.86
目黒	1	0	3.00	1.00	56.00	10.00		3.00	4.00	118.00	1.00	4.00	4.00	16.00	15.00	18.00		1.00			1.00		253.00
碑文谷	2	0	.50	2.50	36.50	5.50	.50	13.50	5.00	111.00	18.00	10.50	9.00	35.50	42.00	16.00	1.00	4.50				7.50	319.00
大森	3	0	1.99	1.66	18.98	3.32		18.33	1.00	167.69	11.98	4.99	2.65	14.30	32.00	68.99	.33	3.34				6.64	358.19
雪谷	2	0	4.00	7.50	66.50	35.00	3.50	23.00	1.50	339.50	43.50	11.50	5.00	61.50	23.50	50.00	1.50						677.50
蒲田	3	1	2.31	6.30	57.30	39.96	.66	14.65	1.98	269.34	76.29	1.99	2.65	32.63	15.61	12.67	.66	4.25	34.00		1.99	3.00	575.24
鶴谷	0	0																					
世田谷	2	0		2.50	76.00	16.00	2.00	18.50	17.00	155.50	36.50	11.00	10.00	56.00	21.50	26.00	.50	2.00			8.50		459.50
梅丘	1	0	4.00		143.00	45.00		20.00	2.00	581.00	35.00	15.00	4.00	92.00	67.00	70.00		3.00					1081.00
玉川	2	0		10.50	18.00	6.50	1.50	1.00		50.00	48.50	3.00	7.50	19.50	42.50	68.50		.50					277.50
砧	3	0	.99	.99	48.34	6.63		4.30	.33	216.30	38.64	3.66	.66	37.30	24.66	44.67	.33					3.32	431.12
渋谷区	4	1	1.00	2.75	21.75	7.75	.25	3.00	3.50	170.25	34.25	5.25	2.50	18.50	29.25	54.25		2.80	4.00		5.00		368.05
中野	4	0	3.25	7.75	40.00	44.25	1.50	33.50	3.50	265.75	27.25	14.25	2.50	39.50	33.25	42.50	1.00	2.50			4.00		568.25
中野北	2	0	2.50		23.50	23.00		5.00	15.00	4.50	526.50	9.50	6.50	13.00	12.50	23.50		.50				4.00	701.00
西南	4	0	.75	.75	44.25	14.25	1.25	6.00	10.50	167.75	12.75	2.25	.75	28.00	34.75	24.50	.50	.50			1.50		351.00
南	1	0		1.00	12.00	6.00		14.00		141.00	8.00	1.00	1.00	12.00	13.00	31.00					1.00		241.00
東	1	0	2.00		9.00	11.00		51.00	1.00	135.00				2.00	23.00	47.00							281.00
池袋	4	1	1.00	1.25	22.25	6.00		2.00	.50	107.50	4.75	1.75	2.25	7.75	36.00	11.00	.50	1.00	25.00	9.00	2.00		241.50
長崎	1	0	13.00	1.00	117.00	42.00				188.00	20.00	4.00		102.00	26.00	7.00							520.00
王子	2	0	2.00	.50	35.00	16.00	.50	10.00	2.50	122.50	16.50	5.50	3.50	15.00	46.00	21.50							297.00
赤羽	1	0	2.00		66.00	51.00	1.00	29.00		569.00	29.00	29.00	5.00	59.00	53.00	52.00	1.00	2.00			34.00		982.00
滝野川	1	0	8.00		69.00	29.00		17.00	1.00	300.00	82.00	20.00	18.00	135.00	128.00	50.00	3.00				6.00		866.00
荒川	2	1	.50	4.50	22.50	46.00		86.00	2.50	241.50	4.00	5.00	11.00	26.00	19.00	28.50		.33	31.00	2.00	1.50		531.83
板橋	2	0	12.50	3.50	35.00	23.00		13.50	4.00	115.50	14.00	5.50	5.00	19.50	23.50	106.50		6.00			2.50		389.50
赤塚	2	0	1.50	2.00	20.50	9.00	.50	8.50	7.00	190.00	8.50	13.50		22.50	5.50	23.50	.50	.50					313.50
志村	0	0																					
練馬	3	0	5.32	1.65	81.33	49.31	.33	17.98	1.99	148.67	19.66	15.65	3.97	83.33	9.99	16.34	.33	.66			1.32		457.83
石神井	2	0		2.00	38.50	35.00	.50	8.00		167.50	50.50	8.50	3.50	48.00	29.50	14.50		3.00			.50		409.50
足立	2	0	11.00	3.50	75.50	53.00		22.00	1.00	150.50	26.50	8.00	9.00	37.50	109.50	86.00	1.00				8.50		602.50
千住	2	0	4.50	2.50	67.00	65.00	.50	32.50	5.00	400.50	20.50	12.00	25.00	44.50	60.50	49.50	.50	4.50			7.00		801.50
葛飾北	3	0	12.97	4.87	80.00	65.64	2.32	74.65	9.98	137.30	16.33	12.30	17.28	85.02	95.65	54.01	1.99	40.68					711.09
江戸川	1	0		3.00	58.00	37.00		13.00		183.00	44.00	1.00		25.00	70.00	72.00		4.00					510.00
江戸川	3	0	9.63	2.32	70.30	14.65	.33	10.31	.66	621.01	.99	8.30	9.66	37.63	44.00	68.67	.33				42.31		941.10
小岩	1	0	6.00	15.00	85.00	44.00		4.00	4.00	333.00	28.00	42.00	5.00	50.00	24.00	20.00					8.00		668.00
青柳	1	0	27.00		106.00	23.00	1.00	61.00	17.00	233.00	150.00	54.00	88.00	54.00	112.00	75.00	1.00	29.00			2.00		1035.00
五日市	2	0	23.00	2.00	189.50	67.00	1.00	79.00	.50	453.00	198.00	39.50	10.00	60.50	73.00	179.50	3.00	50.00					1428.50
八王子	2	1	.50	11.00	84.00	63.00		10.50	4.00	169.00	67.00	6.00	12.50	44.00	32.50	21.50		9.00	25.00	4.00	1.00	2.00	564.50
日野	1	0	7.00	2.00	55.00	27.00	3.00	7.00	4.00	153.00	4.00	4.00	18.00	20.00	24.00	143.00	1.00	3.00			5.00		480.00
町田	2	1	4.50	6.50	100.50	22.50	1.50	61.00	9.00	475.50	34.50	14.00	16.00	49.50	118.00	58.00		4.66	33.00		2.00		1010.66
府中	2	0	.50	1.50	18.00	71.50		1.50		118.50	23.00	3.00	.50	20.50	6.50	57.50	.50	.50				1.00	324.50
武蔵調布	3	0	3.66	1.98	42.99	30.96	.33	13.65	11.64	173.36	67.05	6.66	5.97	25.98	26.64	80.64	.33	12.00			17.30		521.14
小金井	2	0	4.50	2.50	47.00	46.50	1.00	19.00	2.00	246.50	5.50	2.50	1.00	42.50	8.50	250.50		3.00			1.00		683.50
立川	4	0	21.75	1.50	49.00	17.00	2.00	35.50	2														

第7表-1

ブロック別累計表 (平成6年1週～平成6年52週)

患者報告数

	小 内 科	麻 疹 様 疾 患	風 疹	水 痘	流行性 耳下腺 炎	百日咳 様疾 患	溶連菌 感染症	異 肺	型 炎	感染性 胃腸炎	乳 児 嘔 吐 下 痢 症	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発 疹	ヘルパ ー ン ギ ー ナ	インフ ル エン ザ 疾 患	川崎病	咽 頭 結 膜 熱	流行性 角結膜 炎	出血性 結膜炎	不明 発疹症	咽 頭 結 膜 熱 (眼科)	計
中央	18 2	79	91	680	311	19	302	136	1579	360	234	96	280	299	1049	4	49	228		23			5819
江東	20 2	139	81	1167	783	12	990	77	5465	435	253	212	840	1108	1299	15	187	79		182			13326
城西	33 3	61	103	1275	568	23	473	216	7867	1430	211	130	1016	1044	1509	20	117	156		3	148	1	16370
城南	14 1	28	66	646	345	11	227	16	3187	575	64	69	456	531	804	8	48	34		50			7165
城北	18 1	75	27	843	460	5	188	36	3124	388	173	68	787	590	534	8	28	25		9	58	3	7426
西多摩	5 0	108	9	717	190	3	269	19	1605	608	198	116	287	402	790	8	178			16			5523
南多摩	12 2	40	57	680	526	7	263	75	2953	688	130	117	431	552	963	3	63	58		4	80	2	7710
北多摩	17 3	123	71	957	482	15	454	79	3764	958	100	98	409	635	1828	5	35	400		3	68	2	10484
島しょ	1 0	10	2	5	84	6	11	6	93	20	2		13	39	2		14			6			313
計	138 14	663	507	6970	3749	101	3177	660	29637	5462	1365	906	4519	5200	8778	71	739	980	21	631	8		74136

第7表-2

ブロック別累計表 (平成6年1週～平成6年52週)

定点当たり発生数

	小 内 科	麻 疹 様 疾 患	風 疹	水 痘	流行性 耳下腺 炎	百日咳 様疾 患	溶連菌 感染症	異 肺	型 炎	感染性 胃腸炎	乳 児 嘔 吐 下 痢 症	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発 疹	ヘルパ ー ン ギ ー ナ	インフ ル エン ザ 疾 患	川崎病	咽 頭 結 膜 熱	流行性 角結膜 炎	出血性 結膜炎	不明 発疹症	咽 頭 結 膜 熱 (眼科)	計
中央	18 2	4.39	5.06	37.78	17.28	1.06	16.78	7.56	87.72	20.00	13.00	5.33	15.56	16.61	58.28	.22	2.45	114.00		1.28			424.36
江東	20 2	6.95	4.05	58.35	39.15	.60	49.50	3.85	273.25	21.75	12.65	10.60	42.00	55.40	64.95	.75	8.50	39.50		1.00	9.10		701.90
城西	33 3	1.85	3.12	38.64	17.21	.70	14.33	6.55	238.39	43.33	6.39	3.94	30.79	31.64	45.73	.61	3.25	52.00		1.00	4.48	.33	543.95
城南	14 1	2.00	4.71	46.14	24.64	.79	16.21	1.14	227.64	41.07	4.57	4.83	32.57	37.93	57.43	.57	3.20	34.00			3.57	3.00	543.11
城北	18 1	4.17	1.50	46.83	25.56	.28	10.44	2.00	173.56	21.56	9.61	3.78	43.72	32.78	29.67	.44	1.47	25.00		9.00	3.22		444.59
西多摩	5 0	21.60	1.80	143.40	38.00	.60	53.80	3.80	321.00	121.60	39.60	23.20	57.40	80.40	158.00	1.60	35.60			3.20			1104.60
南多摩	12 2	3.33	4.75	56.67	43.83	.58	21.92	6.25	246.08	57.33	10.83	9.75	35.92	46.00	80.25	.25	5.93	29.00		2.00	6.67	1.00	667.34
北多摩	17 3	7.24	4.18	56.29	28.35	.88	26.71	4.65	221.41	56.35	5.88	5.76	24.06	37.35	107.53	.29	1.75	133.33		1.00	4.00	.67	727.01
島しょ	1 0	10.00	2.00	5.00	84.00	6.00	11.00	6.00	93.00	20.00	2.00		13.00	39.00	2.00		14.00			6.00			313.00
計	138 14	4.80	3.67	50.51	27.17	.73	23.02	4.78	214.76	39.58	9.89	6.57	32.75	37.68	63.61	.51	4.86	70.00	1.50	4.57	.57		600.96

第7表-3 ブロック別患者発生状況 水痘に対する比率

ブロック	麻疹様疾患	風疹	水痘	流行性耳下腺炎	百日咳	溶連菌感染症	異型肺炎	感染症胃腸炎	乳児嘔吐下痢症	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	インフルエンザ様疾患	川崎病	咽頭結膜熱	不明発疹症
中央	11.6	13.4	100	45.7	2.8	44.4	20.0	232.2	52.9	34.4	14.1	41.2	44.0	154.3	0.6	7.2	3.4
江東	11.9	6.9	100	67.1	1.0	84.8	6.6	468.3	37.3	21.7	18.2	72.0	94.9	111.3	1.3	16.0	15.6
城西	4.8	8.1	100	44.5	1.8	37.1	16.9	617.0	112.2	16.5	10.2	79.7	81.9	118.4	1.6	9.2	11.6
城南	4.3	10.2	100	53.4	1.7	35.1	2.5	493.3	89.0	9.9	10.7	70.6	82.2	124.5	1.2	7.4	7.7
城北	8.9	3.2	100	54.6	0.6	22.3	4.3	370.6	46.0	20.5	8.1	93.4	70.0	63.3	0.9	3.3	6.9
西多摩	15.1	1.3	100	26.5	0.4	37.5	2.6	223.8	84.8	27.6	16.2	40.0	56.1	110.2	1.1	24.8	2.2
南多摩	5.9	8.4	100	77.4	1.0	38.7	11.0	434.3	101.2	19.1	17.2	63.4	81.2	141.6	0.4	12.2	11.8
北多摩	12.9	7.4	100	50.4	1.6	47.4	8.3	393.3	100.1	10.4	10.2	42.7	66.4	191.0	0.5	3.7	7.1
島しょ	200	40	100	1680	120	220	120	1860	400	40	—	260	780	40	—	280	120
計	9.5	7.3	100	53.8	1.4	45.6	9.5	425.2	78.4	19.6	13.0	64.8	74.6	125.9	1.0	10.6	9.1

第7表-4 ブロック別患者発生状況 突発性発疹に対する比率

ブロック	麻疹様疾患	風疹	水痘	流行性耳下腺炎	百日咳	溶連菌感染症	異型肺炎	感染症胃腸炎	乳児嘔吐下痢症	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	インフルエンザ様疾患	川崎病	咽頭結膜熱	不明発疹症
中央	28.2	32.5	242.9	111.1	6.8	107.9	48.6	563.9	128.6	83.6	34.3	100	106.8	374.6	1.4	17.5	8.2
江東	16.5	9.6	138.9	93.2	1.4	117.9	9.2	650.6	51.8	30.1	25.2	100	131.9	154.6	1.8	22.3	21.7
城西	6.0	10.1	125.5	55.9	2.3	46.6	21.3	774.3	140.7	20.8	12.8	100	102.8	148.5	2.0	11.5	14.6
城南	6.1	14.5	141.7	75.7	2.4	49.8	3.5	698.9	126.1	14.0	15.1	100	116.4	176.3	1.8	10.5	11.0
城北	9.5	3.4	107.1	58.4	0.6	23.9	4.6	397.0	49.3	22.0	8.6	100	75.0	67.9	1.0	3.6	7.4
西多摩	37.6	3.1	249.8	66.2	1.0	93.7	6.6	559.2	211.8	69.0	40.4	100	140.1	275.3	2.8	62.0	5.6
南多摩	9.3	13.2	157.8	122.0	1.6	61.0	17.4	685.2	159.6	30.2	27.1	100	128.1	223.4	0.7	19.3	18.6
北多摩	30.1	17.4	234.0	117.8	3.7	111.0	19.3	920.3	234.2	24.4	24.0	100	155.3	446.9	1.2	8.6	16.6
島しょ	76.9	15.4	38.5	646.2	46.2	84.6	46.2	715.4	153.8	15.4	—	100	300.0	15.4	—	107.7	46.2
計	14.7	11.2	154.2	83.0	2.2	70.3	14.6	655.8	120.9	30.2	20.0	100	115.1	194.2	1.6	16.4	14.0

第8表 年齢階級別累計表（平成6年1週～平成6年52週）

年 齢 階 級	麻 疹 様疾患	風 疹	水 痘	流行性 耳下腺 炎	百日咳 様疾患	溶連菌 感染症	異 型 肺 炎	感染性 胃腸炎	乳 児 嘔 吐 下痢症	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発 疹	ヘルペ ンギー ナ	インフ ルエン ザ疾患	川崎病	咽 頭 結膜熱	流行性 角結膜 炎	出血性 結膜炎	不 明 発 症	咽 頭 結膜熱 (眼科)	計
小・内 (眼科)																					
0才 (0才)	59	11	553	16	27	6	14	1027	1951	95	47	3851	513	53	10	23	8		193		
1才 (1才)	215	70	1003	140	16	61	25	1993	2105	307	45	609	1120	213	18	99	15	1	137	2	
2才 (2才)	102	71	1101	244	9	150	53	2311	918	257	59	36	966	356	16	89	20	1	64	1	
3才 (3才)	64	57	1147	371	7	267	71	2770	488	243	85	12	758	477	7	103	22		61	2	
4才 (4才)	41	55	1095	598	9	457	86	3213		163	129	11	699	697	7	142	21		36	1	
5才 (5才)	93	142	1771	1935	26	1591	190	8369		237	437		840	2217	6	230	73	2	86	2	
10才 (10～)	65	54	178	296	7	331	57	3495		28	86		136	1582	3	30	42		27		
15才 (15～)	24	47	122	149		314	164	6459		35	18		168	722	4	23	43		27		
(20才～) (20～)														766			101	3			
(30才～) (25～)														1695			108	3			
(30～)																	121	4			
(35～)																	100	1			
(40～)																	68	1			
(45～)																	48	2			
(50～)																	50	2			
(55～)																	46				
(60～)																	94	1			
計	663	507	6970	3749	101	3177	660	29637	5462	1365	906	4519	5200	8778	71	739	980	21	631	8	74136
当期間／前期 増減数	49.3 -681	38.4 -815	99.2 -58	106.1 +215	150.7 +34	108.9 +260	94.4 -39	93.3 -2140	87.4 -789	21.6 -4961	105.2 +45	104.7 +203	147.6 +1676	27.2 -23446	165.1 +28	520.4 +597	164.2 +383	65.6 -11	109.7 +56	133.3 +2	71.6 -29443

※1) ()内の年齢は、インフルエンザ様疾患に対応する。
※2) ()内の年齢は、流行性角結膜炎、出血性結膜炎の2疾病に対応する。
※3) 咽頭結膜熱(眼科)は再掲。

(3) 小児感染症入院状況（第9表）

本年は昨年と同じく5病院の集計である。

サーベイランスの報告数と関連し、麻疹は昨年の84例から54例に減少した。うち脳炎が2例ある。水痘は27例から31例に増加している。風疹は8例から1例に減少した。百日咳は7例の入院が認められている。流行性耳下腺炎は昨年の14例に対し本年も15例で、うち4例は髄膜炎である。

インフルエンザは昨年の21例から本年は2例と大きく減少し、異型肺炎も67例から39例に減少している。

第9表 小児感染症入院状況（平成6年1月～12月）

疾病名 病院名	東京通信	済生会中央	墨 東	駒 込	豊 島	計
麻 疹	1	8	17	22	6	54
（脳 炎）				②		②
（肺 炎）		⑥		④		⑩
（髄膜炎）						
水 痘		1	11	16	3	31
（脳 炎）						
（肺 炎）						
（髄膜炎）						
流行性耳下腺炎			10	4	1	15
（脳 炎）						
（肺 炎）						
（髄膜炎）				④		④
百日咳	2		4	1		7
（脳 炎）						
（肺 炎）						
（髄膜炎）						
風 疹					1	1
（脳 炎）						
（肺 炎）						
（髄膜炎）						
インフルエンザ	1			1		2
ヘルパンギーナ	3					3
伝染性紅斑						
溶連菌感染症		1	1			2
手足口病	1					1
異型肺炎	20		3	1	15	39
乳児嘔吐下痢症	17	6		9	23	55
急性腸炎	7		13	17	5	42
（サルモネラ）				②	②	④
（キャンピロ）				③		③
（その他）			②	⑤		⑦
肺 炎				15		15
気管支炎				29		29
ギラン-症候群				1		1
伝染性単核症						
SSSS			3			3
帯状疱疹				2		2
そ の 他			1	4		5
計	52	16	63	122	54	307

※ ○は再掲

(4) 予防接種歴有無の調査 (第10表)

予防接種が行われている5疾病については、接種歴の調査が行われている。

麻疹は632例中18例2.8%、風疹は493例中14例2.8%、水痘は6965例中231例3.3%、流行性耳下腺炎3657例3.8%、百日咳98例中1例1.0%で、ほとんどはワクチン歴のないものの罹患であることを示している。

第10表 平成6年予防接種有無別患者数

月		麻 疹 様 疾 患		風 疹		水 痘		流 行 性 耳 下 腺 炎		百 日 咳 様 疾 患		インフルエンザ	
		報 告 数	定点当たり数	報 告 数	定点当たり数	報 告 数	定点当たり数	報 告 数	定点当たり数	報 告 数	定点当たり数	報 告 数	定点当たり数
1月	予防接種	有 4	0.03	3	0.02	30	0.22	4	0.03	0	0	13	0.09
	無	43	0.32	30	0.22	824	5.97	292	2.12	3	0.03	400	2.89
2月	予防接種	有 1	0.01	2	0.02	22	0.16	4	0.02	1	0.01	56	0.40
	無	65	0.48	52	0.38	816	5.91	321	2.33	7	0.04	2,664	19.31
3月	予防接種	有 5	0.04	1	0.01	42	0.30	8	0.06	0	0	82	0.60
	無	101	0.73	44	0.32	921	6.67	365	2.64	5	0.03	4,085	29.61
4月	予防接種	有 4	0.03	4	0.03	31	0.23	8	0.06	0	0	0	0
	無	124	0.90	66	0.48	669	4.85	318	2.30	6	0.04	184	1.33
5月	予防接種	有 1	0.01	0	0	18	0.13	11	0.08	0	0	0	0
	無	117	0.85	41	0.30	720	5.22	340	2.46	12	0.09	12	0.09
6月	予防接種	有 1	0.01	1	0.01	35	0.25	22	0.15	0	0	0	0
	無	74	0.54	77	0.56	787	5.70	492	3.57	10	0.07	20	0.14
7月	予防接種	有 0	0	1	0.01	11	0.08	19	0.13	0	0	0	0
	無	48	0.35	32	0.23	308	2.23	344	2.49	5	0.03	11	0.08
8月	予防接種	有 0	0	0	0	1	0.01	12	0.09	0	0	0	0
	無	21	0.15	16	0.11	114	0.82	212	1.53	8	0.07	2	0.02
9月	予防接種	有 0	0	0	0	1	0.01	19	0.14	0	0	0	0
	無	12	0.08	21	0.15	192	1.40	266	1.93	19	0.13	7	0.05
10月	予防接種	有 0	0	1	0.01	5	0.04	14	0.09	0	0	0	0
	無	1	0.01	38	0.28	238	1.73	188	1.37	10	0.08	13	0.09
11月	予防接種	有 1	0.01	1	0.01	15	0.11	10	0.08	0	0	0	0
	無	4	0.04	19	0.14	364	2.64	168	1.22	7	0.05	47	0.34
12月	予防接種	有 1	0.01	0	0	20	0.14	9	0.07	0	0	0	0
	無	4	0.02	43	0.31	781	5.66	211	1.54	5	0.04	963	6.97
6年計	予防接種	有 18	0.13	14	0.10	231	1.67	140	1.01	1	0.01	151	1.09
	無	614	4.45	479	3.47	6,734	48.80	3,517	25.49	97	0.70	8,408	60.93
	接 種 率	% 2.8		2.8		3.3		3.8		1.0		1.8	

(5) 病院定点における疾患

- 第11表－1 月別患者数
- 第11表－2 月別定点当たり患者数
- 第11表－3 月別患者数（男）
- 第11表－4 月別定点当たり患者数（男）
- 第11表－5 月別患者数（女）
- 第11表－6 月別定点当たり患者数（女）
- 第12表－1 ブロック別患者数
- 第12表－2 ブロック別定点当たり患者数
- 第13表－1 保健所別患者数
- 第13表－2 保健所別定点当たり患者数
- 第14表 年齢階級患者数

ア ウイルス肝炎

サーベイランスでは、平成4年から急増したが、これはC型肝炎の検査が普及したことで、キャリア、慢性肝炎の報告が加わったためである。このため厚生省では、急性肝炎のみを報告するようという指導を行ったので減少してきた。

a A型肝炎

毎年2ないし3月にピークをもつ山がみられる。年間報告数をみると、全国集計では、次第に増加し、平成2年に最大の発生を示し、その後は毎年減少を続けている。都の報告では、昭和63年と平成2年の発生が多く、病院定点当たり6人以上であったが、その後は平成3年3.4人、4年3.2人、5年4.2人、6年3.1人と少ない発生が続いている。

地域的な発生状況は、例数が少ないので、明らかな傾向は見出し難い。

年齢別頻度は、全国レベルでは10－14歳と40－44歳に2つの山がみられる。都の報告も10－14歳と35－44歳に高い傾向がある。性別は、55例中男27例、女28例とほぼ同数であった。

b B型肝炎

全国レベルでは平成5年以後減少し、平成6年には、3年、4年のレベルの約2分の1になっているが、都の報告では、明らかな減少は認め難い。

性別では39例中男27例、女12例で、男が約3分の2を占めている。年齢別頻度は15歳未満は5例で、15歳以上は一様に分布している。60歳以上が9例23.1%を占めるが、これはキャリアが含まれている可能性がある。

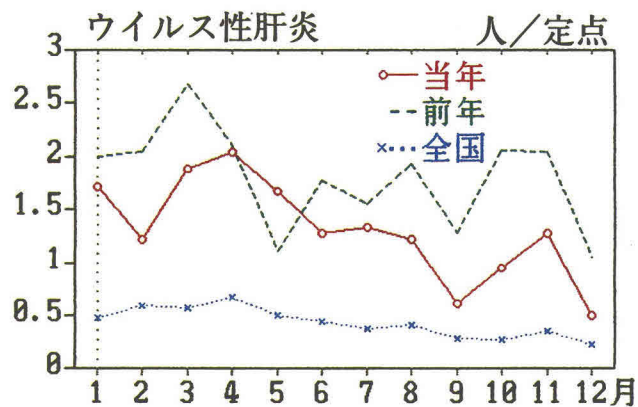
c C型肝炎、その他のウイルス肝炎

平成6年7月から、C型肝炎が明らかなものは分けて報告することになっている。本年はC型肝炎171例、その他の肝炎13例であった。

月別発生は9月以降、やや減少傾向がみられる。

年齢分布はC型肝炎とその他の肝炎は明らかに異なり、C型肝炎は40歳以上が94%を示し、60歳以上が63%であるのに対し、その他の肝炎は20歳未満が多い。

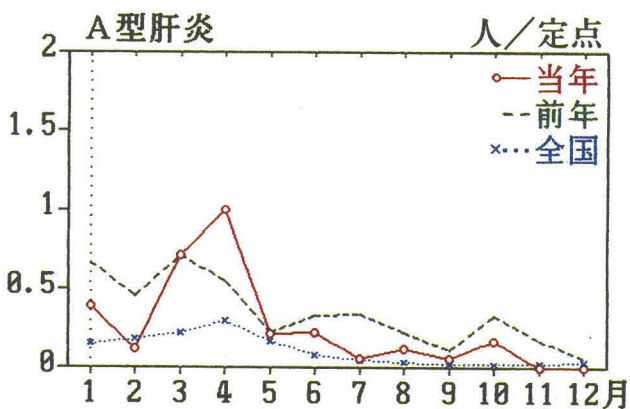
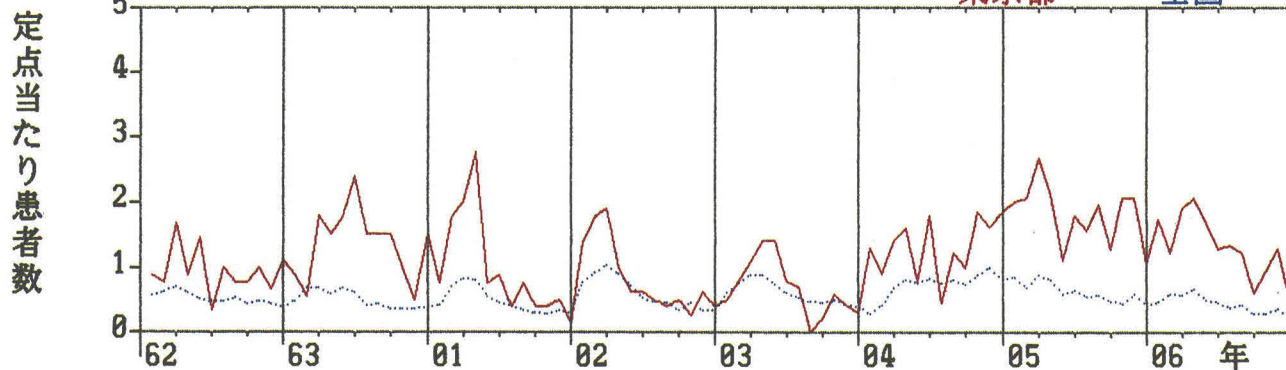
性別はC型肝炎は男111例64.9%、女60例35.1%で、その他のウイルス肝炎は13例中男10例、女3例であった。



ウイルス性肝炎

定点当り患者数経年変化図

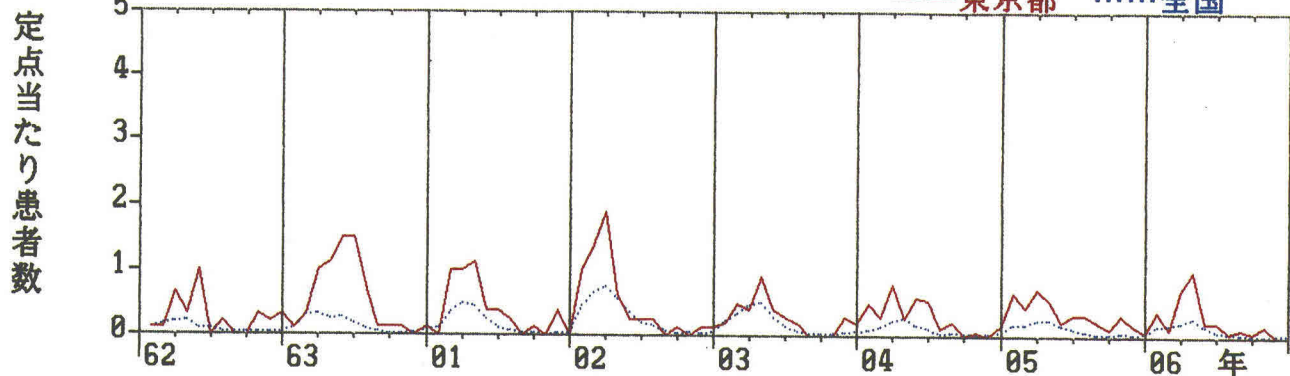
—東京都全国

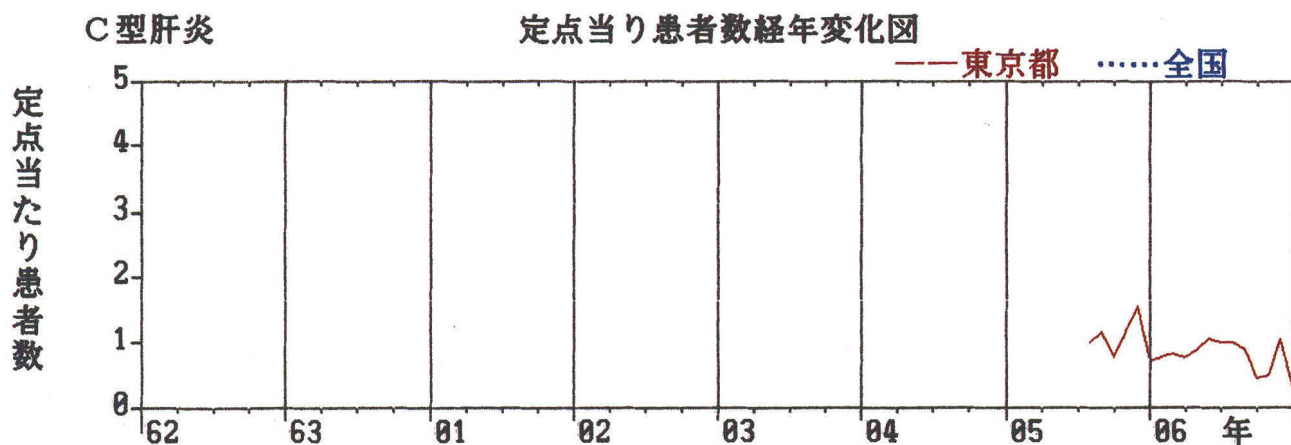
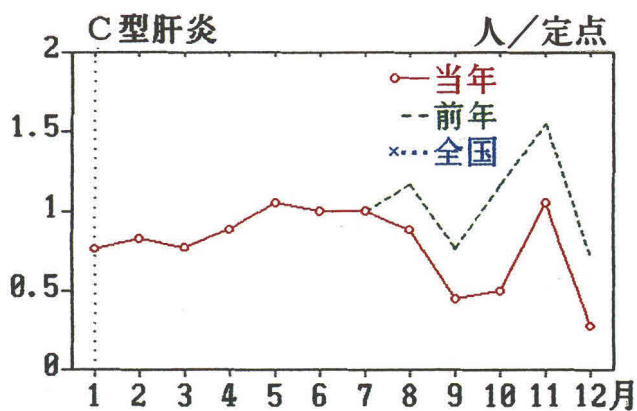
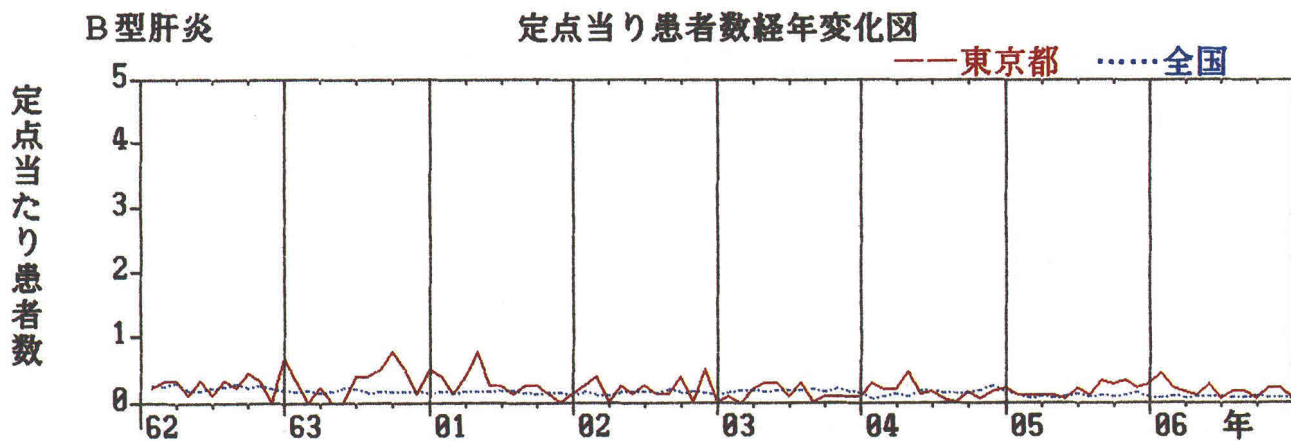
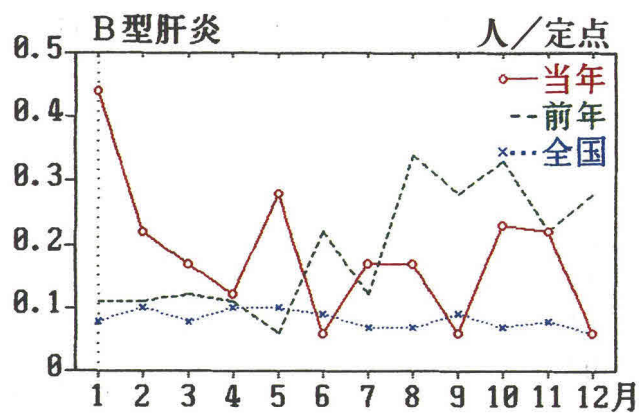


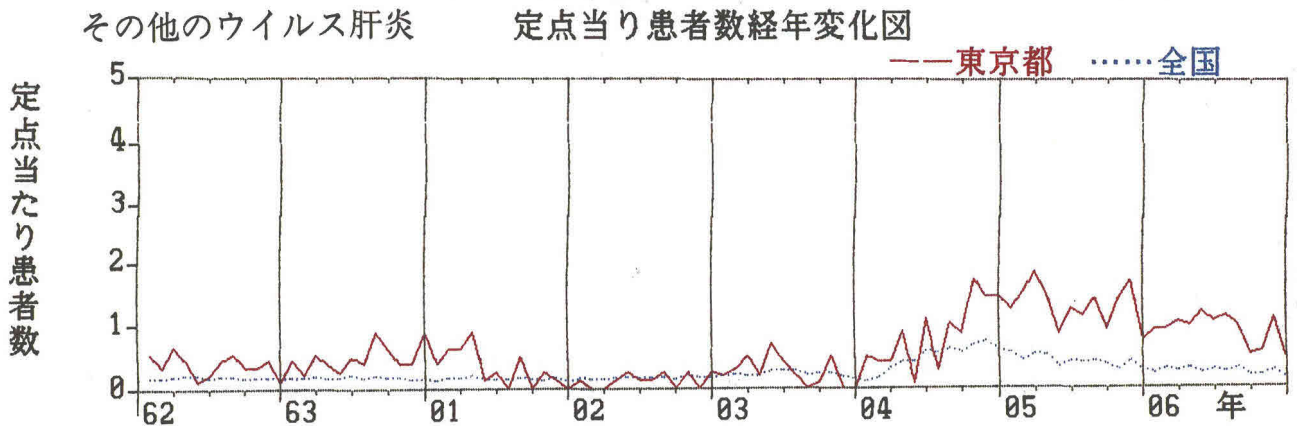
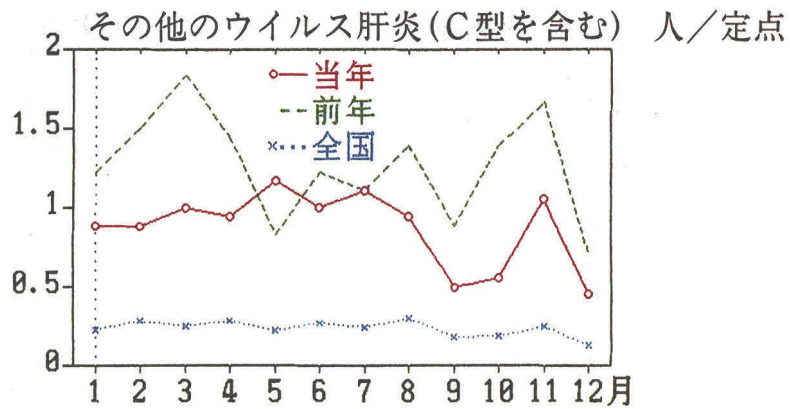
A型肝炎

定点当り患者数経年変化図

—東京都全国







イ 感染性髄膜炎

a 細菌性髄膜炎

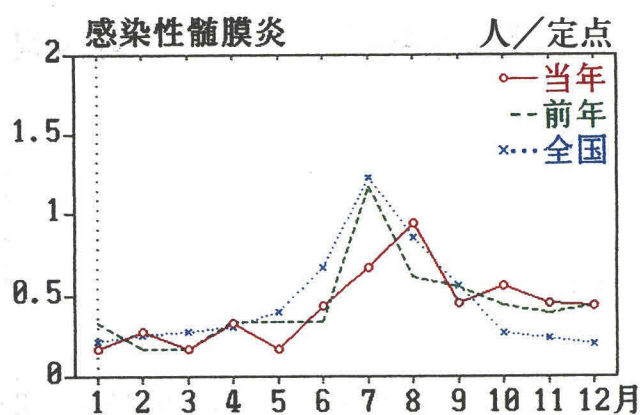
発生は少なく、減少傾向も認められている。平成3年は25例、病院定点当り2.5人であったが、4年は1.5人、5年1.1人、本年は14例0.78人となった。

性別は14例中男13例、女は1例のみであった。年齢分布は0歳13例、2歳1例と、0歳に集中している。

b 無菌性髄膜炎

最近では平成3年の流行が大きく、病院定点当り18.0人の報告があったが、その後は少なく、4年4.6人、5年4.2人、6年4.3人に留まっている。月別発生状況は6月から増加し、8月がピークで、以後減少している。

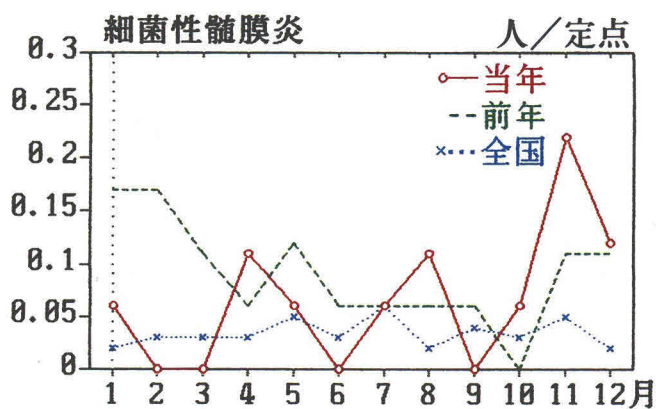
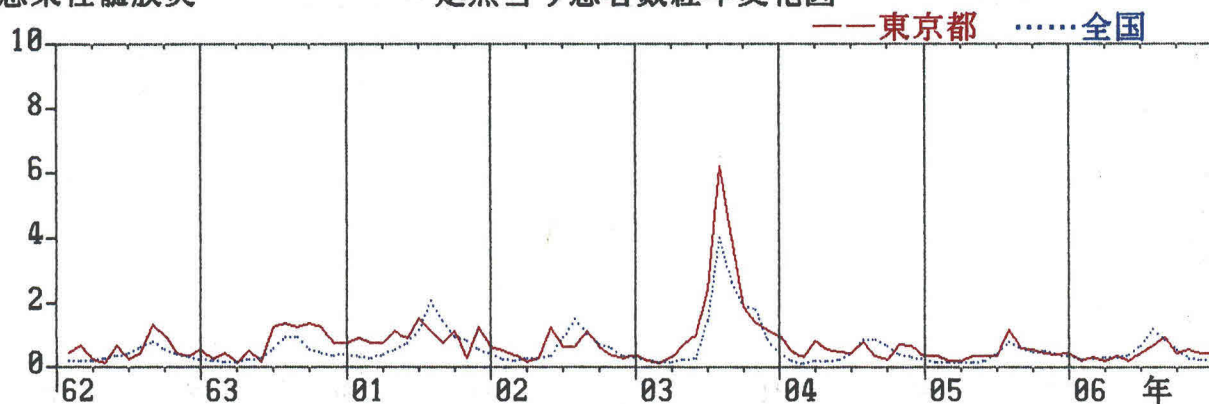
性別は77例中男57例74.0%、女20例26%で、年齢別頻度は0歳44.2%、1歳42.9%であった。



感染性髄膜炎

定点当り患者数経年変化図

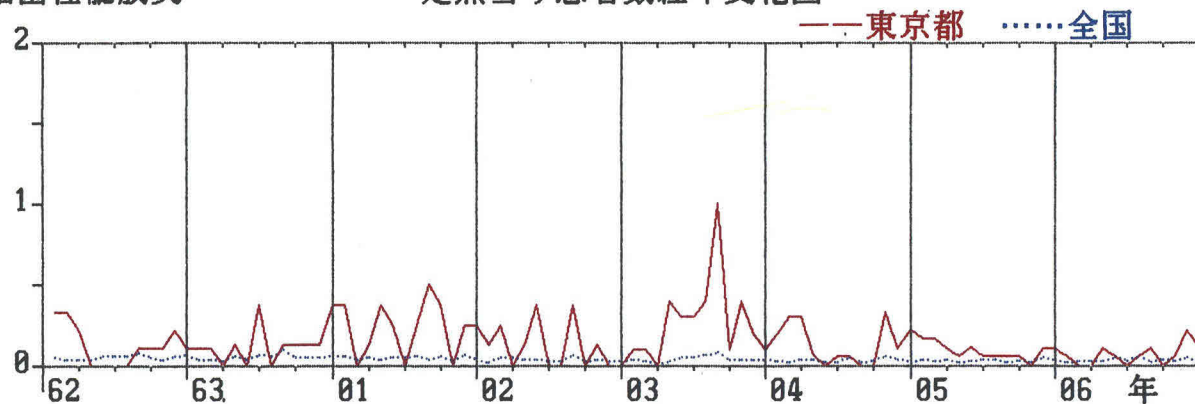
定点当り患者数

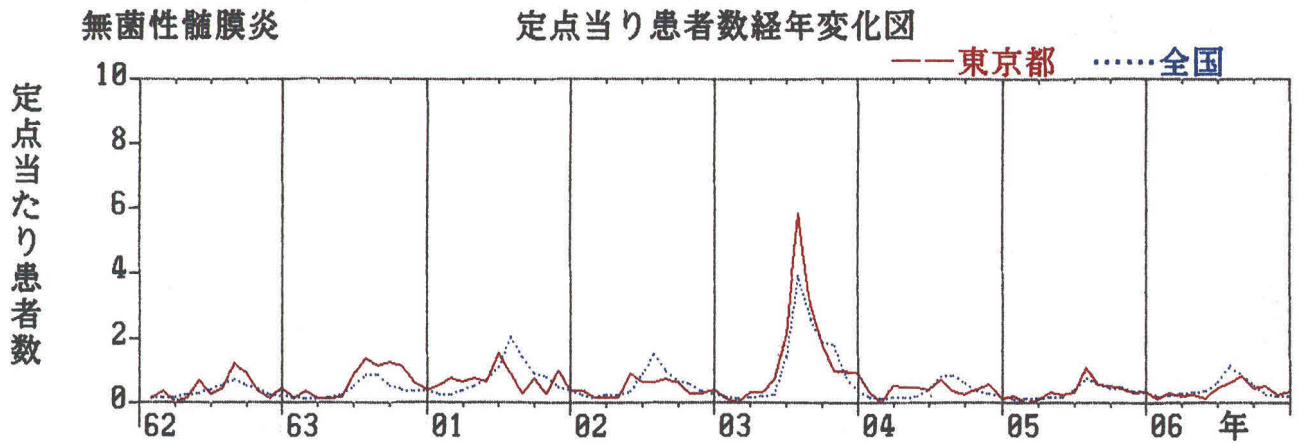
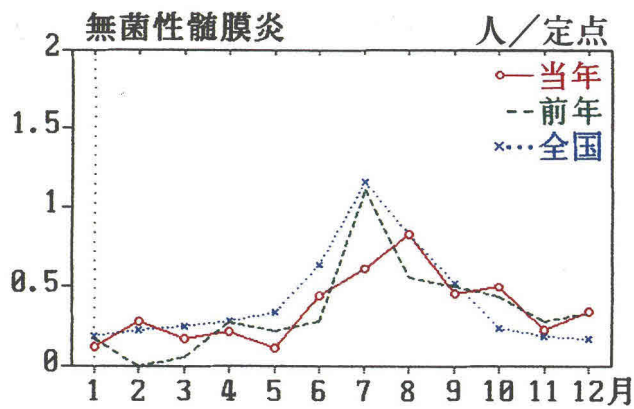


細菌性髄膜炎

定点当り患者数経年変化図

定点当り患者数



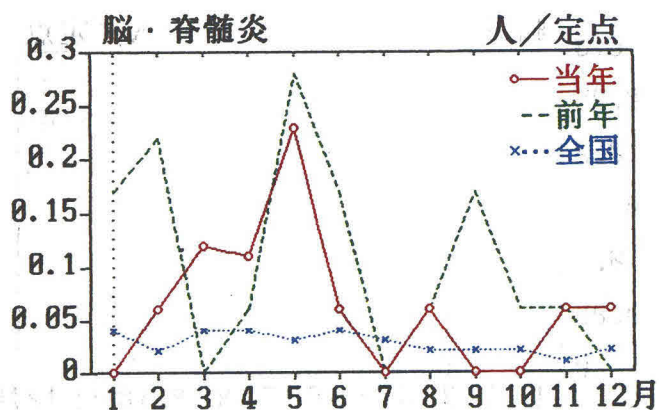


ウ 脳・脊髄炎

報告数は少ない。平成4年31例病院定点当たり2.0人であったが、5年には22例1.2人、6年は13例0.72人に減少している。

このうち脳炎が6例、脳症3例、ライ症候群3例、脊髄炎1例である。

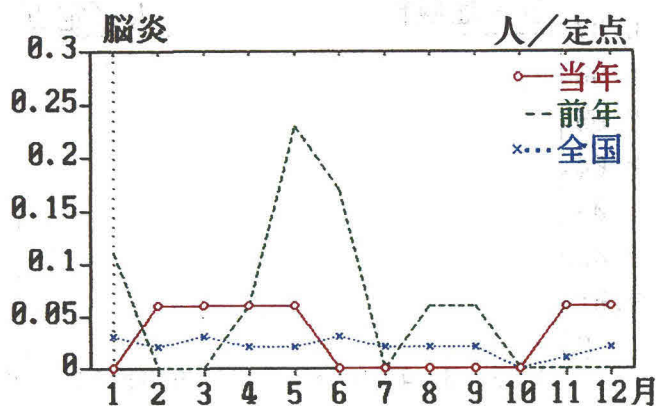
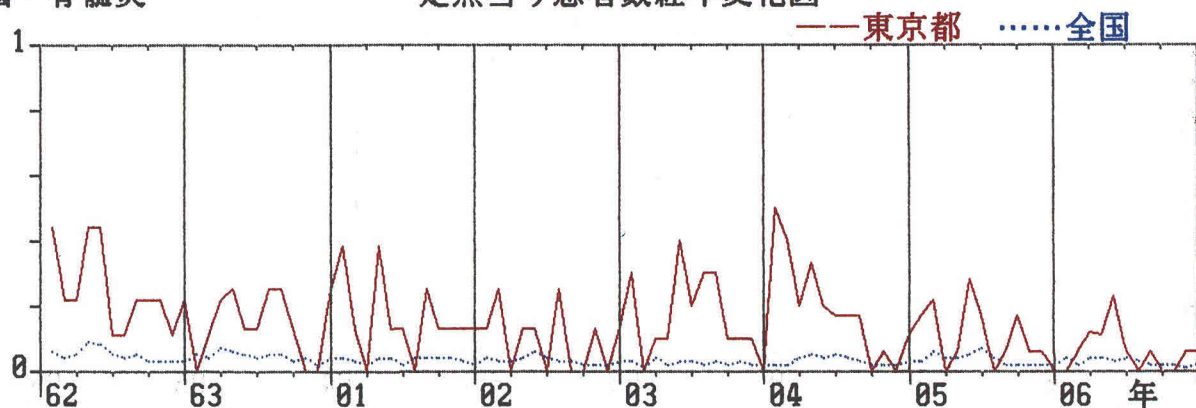
性別は男10例、女3例で、年齢分布は0歳8例、1歳3例、2歳1例、3歳1例であった。



脳・脊髄炎

定点当り患者数経年変化図

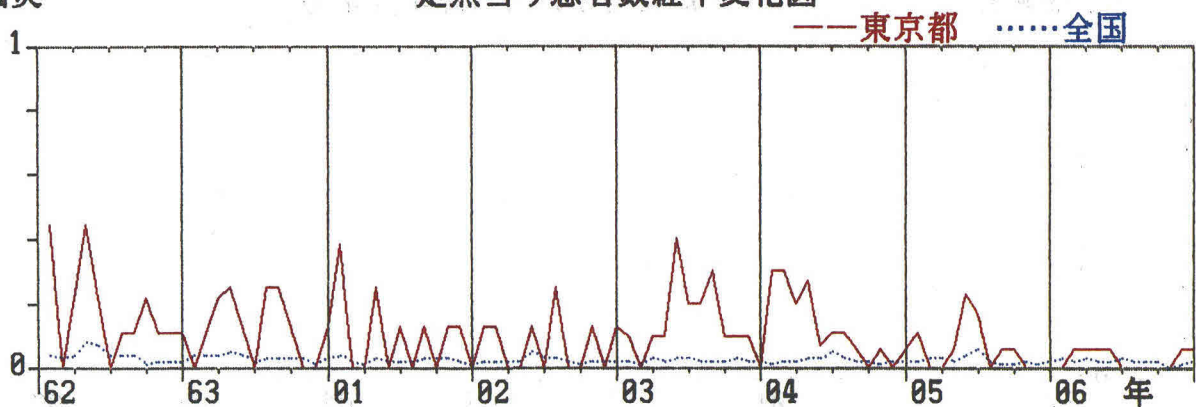
定点当たり患者数

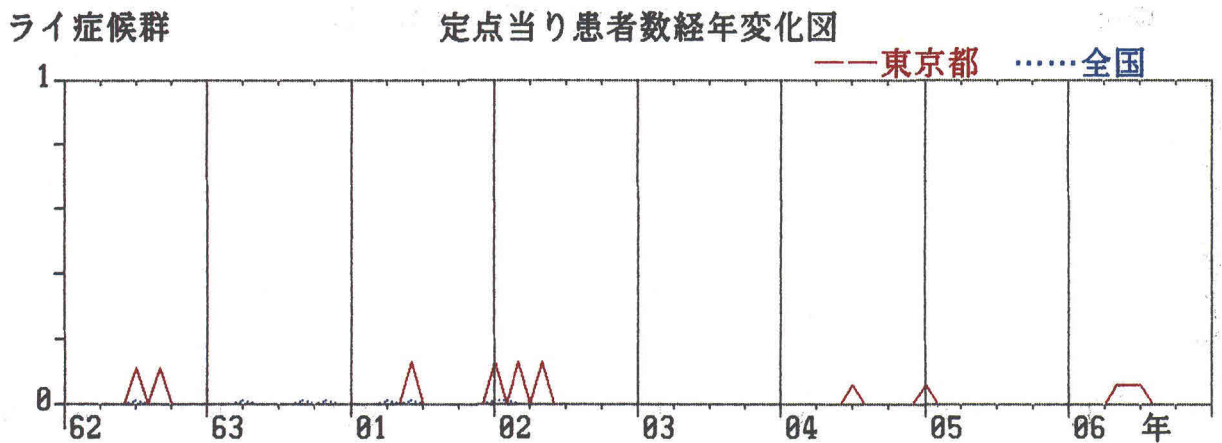
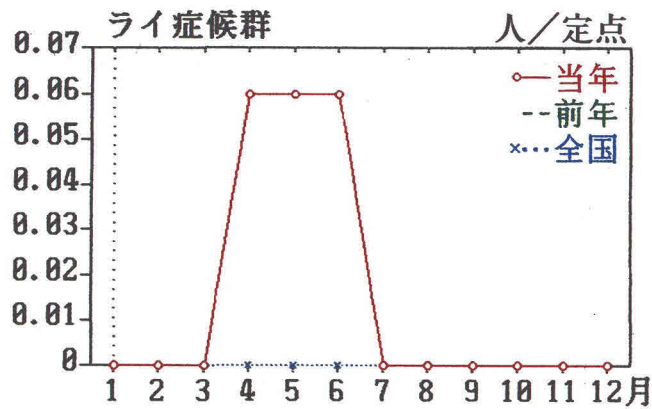
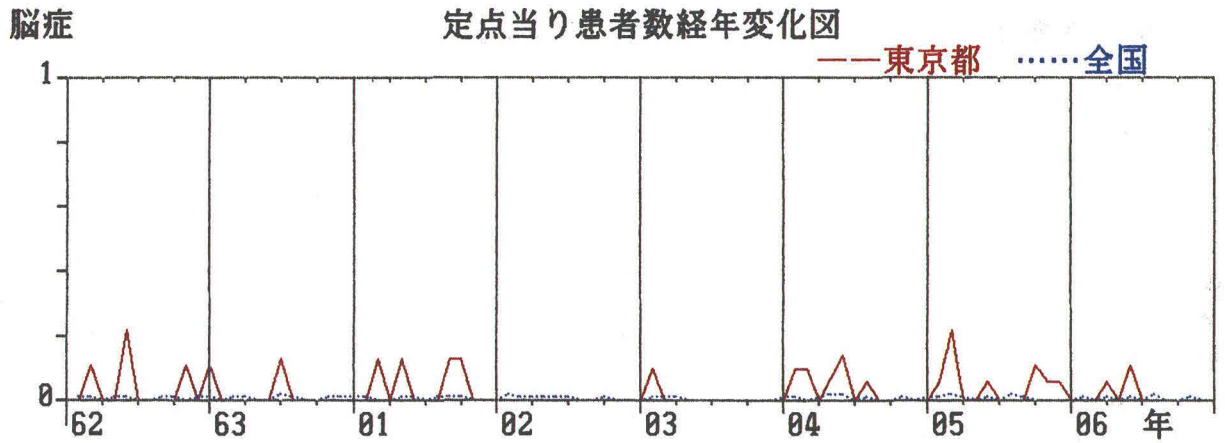
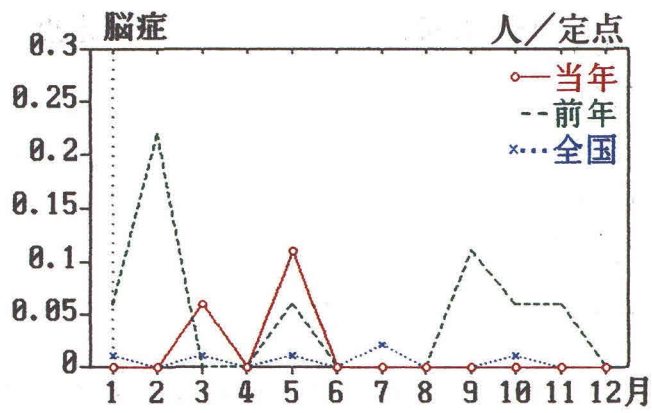


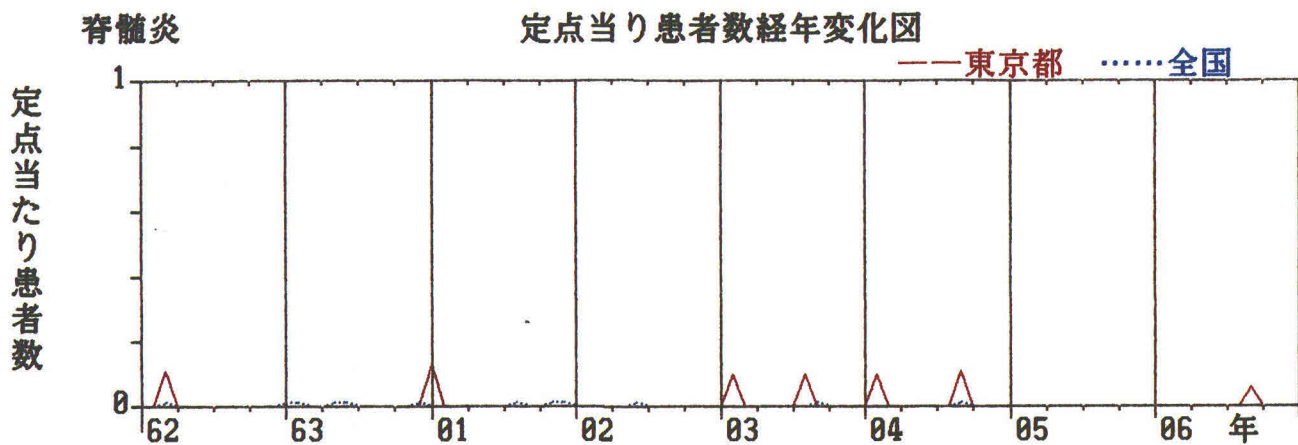
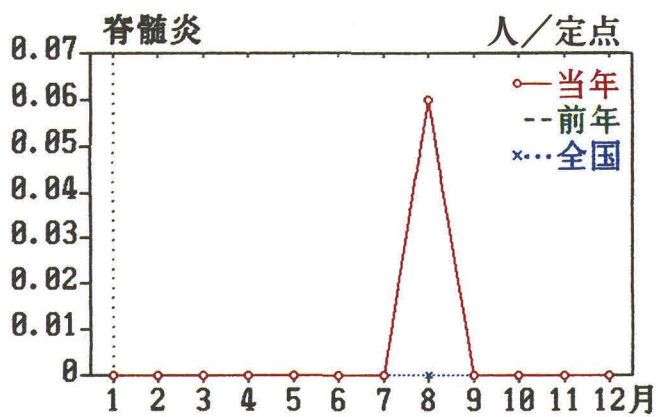
脳炎

定点当り患者数経年変化図

定点当たり患者数







第11表-1

月別患者発生数推移表（平成6年）都域 総計 （単位：人）

	川崎病	感染性 髄膜炎 (小計)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	脳・ 脊髄炎 (小計)	脳 炎	脳 症	ライ 症候群	脊髄炎	ウイルス 肝 炎 (小計)	A 型	B 型	C 型	その他	計
1月	13	3	1	2						31	7	8	14	2	47
2月	12	5		5	1	1				22	2	4	15	1	40
3月	9	3		3	2	1	1			34	13	3	14	4	48
4月	6	6	2	4	2	1		1		37	18	2	16	1	51
5月	9	3	1	2	4	1	2	1		30	4	5	19	2	46
6月	8	8		8	1			1		23	4	1	18		40
7月	12	12	1	11						24	1	3	18	2	48
8月	19	17	2	15	1				1	22	2	3	16	1	59
9月	8	8		8						11	1	1	8	1	27
10月	8	10	1	9						17	3	4	9	1	35
11月	11	8	4	4	1	1				23		4	19		43
12月	14	8	2	6	1	1				9		1	5	3	32
計	129	91	14	77	13	6	3	3	1	283	55	39	171	18	516

第11表-2

月別定点当たり患者発生数推移表（平成6年）都域 総計 （単位：人/定点）

	川崎病	感染性 髄膜炎 (小計)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	脳・ 脊髄炎 (小計)	脳 炎	脳 症	ライ 症候群	脊髄炎	ウイルス 肝 炎 (小計)	A 型	B 型	C 型	その他	計
1月	.72	.17	.06	.12						1.72	.39	.44	.77	.12	2.62
2月	.67	.28		.28	.06	.06				1.22	.12	.22	.83	.06	2.24
3月	.50	.17		.17	.12	.06	.06			1.89	.72	.17	.78	.22	2.68
4月	.33	.33	.11	.22	.11	.06		.06		2.05	1.00	.12	.89	.06	2.85
5月	.50	.17	.06	.11	.23	.06	.11	.06		1.67	.22	.28	1.06	.11	2.57
6月	.44	.44		.44	.06			.06		1.28	.23	.06	1.00		2.23
7月	.67	.67	.06	.61						1.34	.06	.17	1.00	.11	2.68
8月	1.06	.94	.11	.83	.06				.06	1.22	.12	.17	.89	.06	3.30
9月	.44	.45		.45						.61	.06	.06	.45	.05	1.51
10月	.44	.56	.06	.50						.95	.17	.23	.50	.06	1.96
11月	.61	.45	.22	.23	.06	.06				1.28		.22	1.06		2.40
12月	.78	.44	.12	.34	.06	.06				.50		.06	.28	.17	1.81
計	7.17	5.06	.78	4.28	.73	.33	.17	.17	.06	15.72	3.06	2.17	4.28	6.22	28.69

第11表-3

月別患者発生数推移表（平成6年）都域 男 （単位：人）

	川崎病	感染性 髄膜炎 (小計)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	脳・ 脊髄炎 (小計)	脳 炎	脳 症	ライ 症候群	脊髄炎	ウイルス 肝 炎 (小計)	A 型	B 型	C 型	その他	計
1月	13	2	1	1						18	5	4	8	1	33
2月	12	4		4	1	1				14	1	4	9		31
3月	9	2		2	1		1			25	6	2	14	3	37
4月	6	6	2	4	2	1		1		17	6	1	9	1	31
5月	9	3	1	2	3		2	1		16	2	4	9	1	31
6月	8	8		8	1			1		16	3	1	12		33
7月	12	9	1	8						19		2	15	2	40
8月	19	13	2	11						13	1	2	10		45
9月	8	7		7						6	1		5		21
10月	8	5	1	4						10	2	3	5		23
11月	11	7	4	3	1	1				16		4	12		35
12月	14	4	1	3	1	1				5			3	2	24
計	129	70	13	57	10	4	3	3		175	27	27	111	10	384

※ 川崎病は全件を「男」の表に掲載しています。

第11表－4

月別定点当たり患者発生数推移表（平成6年）都 域 男 （単位：人／定点）

	川崎病	感染性 髄膜炎 (小計)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	脳・ 脊髄炎 (小計)	脳 炎	脳 症	ライ 症候群	脊髄炎	ウイルス 肝 炎 (小計)	A 型	B 型	C 型	その他	計
1月	.72	.11	.06	.06						1.00	.28	.22	.44	.06	1.84
2月	.67	.22		.22	.06	.06				.78	.06	.22	.50		1.73
3月	.50	.11		.11	.06		.06			1.39	.33	.11	.78	.16	2.05
4月	.33	.33	.11	.22	.11	.06		.06		.94	.33	.06	.50	.06	1.73
5月	.50	.17	.06	.11	.17		.11	.06		.89	.11	.22	.50	.06	1.73
6月	.44	.44		.44	.06			.06		.89	.17	.06	.67		1.84
7月	.67	.50	.06	.44						1.06		.11	.83	.11	2.22
8月	1.06	.72	.11	.61						.72	.06	.11	.56		2.51
9月	.44	.39		.39						.33	.06		.28		1.17
10月	.44	.28	.06	.22						.56	.11	.17	.28		1.28
11月	.61	.39	.22	.17	.06	.06				.89		.22	.67		1.95
12月	.78	.22	.06	.17	.06	.06				.28			.17	.11	1.35
計	7.17	3.89	.72	3.17	.56	.22	.17	.17		9.72	1.50	1.50	2.78	3.94	21.34

※ 川崎病は全件を「男」の表に掲載しています。

第11表－5

月別患者発生数推移表（平成6年）都 域 女 （単位：人）

	川崎病	感染性 髄膜炎 (小計)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	脳・ 脊髄炎 (小計)	脳 炎	脳 症	ライ 症候群	脊髄炎	ウイルス 肝 炎 (小計)	A 型	B 型	C 型	その他	計
1月		1		1						13	2		4	1	14
2月		1		1						8	1		6	1	9
3月		1		1	1	1				9	7		1	1	11
4月										20	12		1	7	20
5月					1	1				14	2		1	10	15
6月										7	1			6	7
7月		3		3						5	1		1	3	8
8月		4		4	1				1	9	1		1	6	14
9月		1		1						5			1	3	6
10月		5		5						7	1		1	4	12
11月		1		1						7				7	8
12月		4	1	3						4			1	2	8
計		21	1	20	3	2			1	108	28	12	60	8	132

※ 川崎病は全件を「男」の表に掲載しています。

第11表－6

月別定点当たり患者発生数推移表（平成6年）都 域 女 （単位：人／定点）

	川崎病	感染性 髄膜炎 (小計)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	脳・ 脊髄炎 (小計)	脳 炎	脳 症	ライ 症候群	脊髄炎	ウイルス 肝 炎 (小計)	A 型	B 型	C 型	その他	計
1月		.06		.06						.72	.11	.22	.33	.06	.78
2月		.06		.06						.44	.06		.33	.06	.51
3月		.06		.06	.06	.06				.50	.39	.06		.06	.63
4月										1.11	.67	.06	.39		1.12
5月					.06	.06				.78	.11	.06	.56	.05	.84
6月										.39	.06		.33		.39
7月		.17		.17						.28	.06	.06	.17		.46
8月		.22		.22	.06				.06	.50	.06	.06	.33	.06	.79
9月		.06		.06						.28		.06	.17	.05	.34
10月		.28		.28						.39	.06	.06	.22	.06	.68
11月		.06		.06						.39			.39		.45
12月		.22	.06	.17						.22		.06	.11	.06	.46
計		1.17	.06	1.11	.17	.11			.06	6.00	1.56	.67	1.50	2.28	7.35

※ 川崎病は全件を「男」の表に掲載しています。

第12表－1

ブロック別累計表 (平成6年1月～平成6年12月) 総計 患者報告数

	定 点 数	川崎病	感染性 髄膜炎 (小計)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	脳・ 脊髄炎 (小計)	脳 炎	脳 症	ライ 症候群	脊髄炎	ウイルス 肝 炎 (小計)	A 型	B 型	C 型	その他	計
中央	4	5	8	1	7	3	2	1			12	9	1	2		28
江東	1	28	35	1	34						14	9		4	1	77
城西	8	30	22	4	18	4	1	1	1	1	218	22	31	158	12	279
城南	0															
城北	2	22	9	3	6	3	1	1	1		16	3	4	7	2	50
西多摩	0															
南多摩	1	23				1			1		14	9	2		3	38
北多摩	2	21	17	5	12	2	2				4	3	1			44
島しょ	0															
計	18	129	91	14	77	13	6	3	3	1	278	55	39	171	18	516

第12表－2

ブロック別累計表 (平成6年1月～平成6年12月) 総計 定点当たり発生数

	定 点 数	川崎病	感染性 髄膜炎 (小計)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	脳・ 脊髄炎 (小計)	脳 炎	脳 症	ライ 症候群	脊髄炎	ウイルス 肝 炎 (小計)	A 型	B 型	C 型	その他	計
中央	4	1.25	2.00	.25	1.75	.75	.50	.25			3.00	2.25	.25	.50		7.00
江東	1	28.00	35.00	1.00	34.00						14.00	9.00		4.00	1.00	77.00
城西	8	3.75	2.76	.50	2.26	.50	.13	.13	.13	.13	27.26	2.76	3.88	19.75	1.51	34.93
城南	0															
城北	2	11.00	4.50	1.50	3.00	1.50	.50	.50	.50		8.00	1.50	2.00	3.50	1.00	25.00
西多摩	0															
南多摩	1	23.00				1.00			1.00		14.00	9.00	2.00		3.00	38.00
北多摩	2	10.50	8.50	2.50	6.00	1.00	1.00				2.00	1.50	.50			22.00
島しょ	0															
計	18	7.17	5.06	.78	4.28	.73	.33	.17	.17	.06	15.44	3.06	2.17	9.50	1.00	28.69

第13表－1

保健所別累計表 (平成6年1月～平成6年12月) 総計 患者報告数

定 点 数	川崎病	感染性 髄膜炎 (小計)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	脳・ 脊髄炎 (小計)	脳 炎	脳 症	ライ 症候群	脊髄炎	ウイルス 肝 炎 (小計)	A 型	B 型	C 型	その他	計
鶴町	1	1								1	1				2
神田	1									6	4			2	6
中央	0														
日本橋	0														
芝	1	2	1		1					1	1				4
麻布	0														
赤坂	0														
牛込	0														
四谷	0														
新宿	2	14	11	2	9	3	1	1	1	3	1			2	31
小石川	0														
本郷	1	2	7	1	6	3	2	1		4	3	1			16
下谷	0														
浅草	0														
向島	0														
本所	1	28	35	1	34					14	9		4	1	77
城川	0														
品川	0														
荏原	0														
目黒	0														
碑文谷	0														
大森	0														
雪谷	0														
蒲田	0														
靱谷	0														
世田谷	2	3								170	7	21	145	2	178
梅丘	0														
玉川	0														
砧	0														
渋谷区	2	7	8	2	6	1				1	24	6	5	11	40
中野	1	5	3		3					5	2			3	13
中野北	0														
西南	0														
東	1	1								16	6	5	2	3	17
袋井	1	16	6	1	5	2	1	1		15	3	4	7	1	39
長崎	0														
王子	0														
赤羽	0														
滝野川	0														
荒川	0														
板橋	1	6	3	2	1	1			1	1				1	11
赤塚	0														
志村	0														
練馬	0														
石神井	0														
足立	0														
千住	0														
葛飾	0														
葛飾北	0														
江戸川	0														
小岩	0														
青梅	0														
五日市	0														
八王子	0														
日野	0														
町田	0														
府中	1	23			1			1		14	9	2		3	38
武蔵調布	0														
小金井	0														
立川	0														
武蔵野	0														
三鷹	0														
田無	0														
小平	0														
東村山	0														
島しょ	0														
東久留米	2	21	17	5	12	2	2			4	3	1			44
福生	0														
多摩	0														
計	18	129	91	14	77	13	6	3	3	1	278	55	39	171	516
定点当たり		7.17	5.06	.78	4.28	.73	.33	.17	.17	.06	15.44	3.06	2.17	9.50	28.69

第13表-2

保健所別累計表 (平成6年1月～平成6年12月) 総計 定点当たり発生数

	定 点 数	川崎病	感染性 髄膜炎 (小計)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	脳・ 脊髄炎 (小計)	脳 炎	脳 症	ライ 症候群	脊髄炎	ウイルス 肝 炎 (小計)	A 型	B 型	C 型	その他	計
鶴町	1	1.00									1.00	1.00				2.00
神田	1										6.00	4.00		2.00		6.00
中央	0															
日本橋	0															
芝	1	2.00	1.00		1.00						1.00	1.00				4.00
麻布	0															
赤坂	0															
牛込	0															
四谷	0															
新宿	2	7.00	5.50	1.00	4.50	1.50	.50	.50	.50		1.50	.50			1.00	15.50
小石川	0															
本郷	1	2.00	7.00	1.00	6.00	3.00	2.00	1.00			4.00	3.00	1.00			16.00
下谷	0															
浅草	0															
向島	0															
本所	1	28.00	35.00	1.00	34.00						14.00	9.00		4.00	1.00	77.00
城東	0															
深川	0															
品川	0															
荏原	0															
目黒	0															
碑文谷	0															
大森	0															
雪谷	0															
蒲田	0															
糀谷	0															
世田谷	2	1.50									85.00	3.50	10.50	72.50	1.00	89.00
梅丘	0															
玉川	0															
砧	0															
渋谷区	2	3.50	4.00	1.00	3.00	.50				.50	12.00	3.00	2.50	5.50	1.00	20.00
中野	1	5.00	3.00		3.00						5.00	2.00			3.00	13.00
中野北	0															
西	0															
南	0															
東	1	1.00									16.00	6.00	5.00	2.00	3.00	17.00
池袋	1	16.00	6.00	1.00	5.00	2.00	1.00	1.00			15.00	3.00	4.00	7.00	1.00	39.00
長崎	0															
王子	0															
赤羽	0															
滝野川	0															
荒川	0															
板橋	1	6.00	3.00	2.00	1.00	1.00			1.00		1.00				1.00	11.00
赤塚	0															
志村	0															
練馬	0															
石神井	0															
足立	0															
千住	0															
葛飾	0															
葛飾北	0															
江戸川	0															
小岩	0															
青梅	0															
五日市	0															
八王子	0															
日野	0															
町田	0															
府中	1	23.00				1.00			1.00		14.00	9.00	2.00		3.00	38.00
武蔵調布	0															
小金井	0															
立川	0															
武蔵野	0															
三鷹	0															
田無	0															
小平	0															
東村山	0															
島しょ	0															
東久留米	2	10.50	8.50	2.50	6.00	1.00	1.00				2.00	1.50	.50			22.00
福生	0															
多摩	0															
計	18	7.17	5.06	.78	4.28	.73	.33	.17	.17	.06	15.44	3.06	2.17	9.50	1.00	28.69

第14表 年齢階級別患者報告数（平成6年1月～平成6年12月）

(病院)

年齢階級	川崎病	年齢階級	感染性			脳・					年齢階級	ウイルス					計
			髄膜炎 (小計)	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	脊髄炎 (小計)	脳炎	脳症	ライ 症候群	脊髄炎		肝炎 (小計)	A 型	B 型	C 型	その他	
0歳	21	0-4歳	47	13	34	8	2	3	3		0歳	5	1	1		3	
	16.3		51.6	92.9	44.2	61.5	33.3	100.0	100.0			1.8	1.8	2.6		16.7	
1歳	40	5-9歳	33		33	3	2			1	1歳	3				3	
	31.0		36.3		42.9	23.1	33.3			100.0		1.1				16.7	
2歳	18	10-14歳	4	1	3	1	1				2歳						
	14.0		4.4	7.1	3.9	7.7	16.7										
3歳	18	15-19歳	1		1	1	1				3歳	2	1			1	
	14.0		1.1		1.3	7.7	16.7					0.7	1.8			5.6	
4歳	15	20-24歳	1								4歳	1	1				
	11.6		1.1		1.3							0.4	1.8				
5-9歳	16	25-29歳	1		1						5-9歳	3	1			2	
	12.4		1.1		1.3							1.1	1.8			11.1	
10-14歳	1	30-34歳	3		3						10-14歳	11	7	2		2	
	0.8		3.3		3.9							3.9	12.7	5.1		11.1	
15歳～		35-39歳									15-19歳	4	2	2			
												1.4	3.6	5.1			
		40-44歳									20-24歳	12	5	3	1	3	
												4.2	9.1	7.7	0.6	16.7	
		45-49歳									25-29歳	10	4	3	2	1	
												3.5	7.3	7.7	1.2	5.6	
		50-54歳									30-34歳	10	6	1	2	1	
												3.5	10.9	2.6	1.2	5.6	
		55-59歳									35-39歳	19	9	4	6		
												6.7	16.4	10.3	3.5		
		60歳～	1		1						40-44歳	19	8	2	9		
			1.1		1.3							6.7	14.5	5.1	5.3		
											45-49歳	14	3	4	7		
												4.9	5.5	10.3	4.1		
											50-54歳	17	3	4	10		
												6.0	5.5	10.3	5.8		
											55-59歳	34	2	4	27	1	
												12.0	3.6	10.3	15.8	5.6	
											60歳～	119	2	9	107	1	
												42.0	3.6	23.1	62.6	5.6	
計	129		91	14	77	13	6	3	3	1		283	55	39	171	18	516
当期間／前期 増減数	102.4 +3		95.8 -4	73.7 -5	101.3 +1	59.1 -9	50.0 -6	30.0 -7	— +3	— +1		72.6 -107	73.3 -20	95.1 -2	148.7 +56	11.3 -141	82.2 -112

(注) 上段：報告数
下段：構成比(%)

6 性感染症（STD）

(1) 調査方法

性感染症のサーベイランス調査は昭和62年に開始され、淋病様疾患、陰部クラミジア症、陰部ヘルペス、尖圭コンジローム、トリコモナス症の5疾患を調査対象として行われてきたが、平成5年7月から梅毒様疾患が対象疾患として加えられ、合計6疾患となった。梅毒様疾患は東京都独自のものである。定点数は平成4年3月までは30であったが、同年4月から40となった。平成6年も40定点で調査が行われた。1か月を単位として定点から報告された各疾患の患者数を性別、年齢別に調査し、集計した。今回は平成6年の調査データを中心に報告する。なお、参考資料として全国集計も付記した。

(2) 疾患情報の概要（図1、表1）

平成6年のSTD疾患の総報告数は4489件で、内訳は男子2296件、女子2193件である。

最も多い疾患は、陰部クラミジア症の1291件、次いで淋病様疾患1141件、以下陰部ヘルペス1078件、尖圭コンジローム470件、トリコモナス症398件、梅毒様疾患111件の順である。

図1 STDの概要・平成6年（東京都）

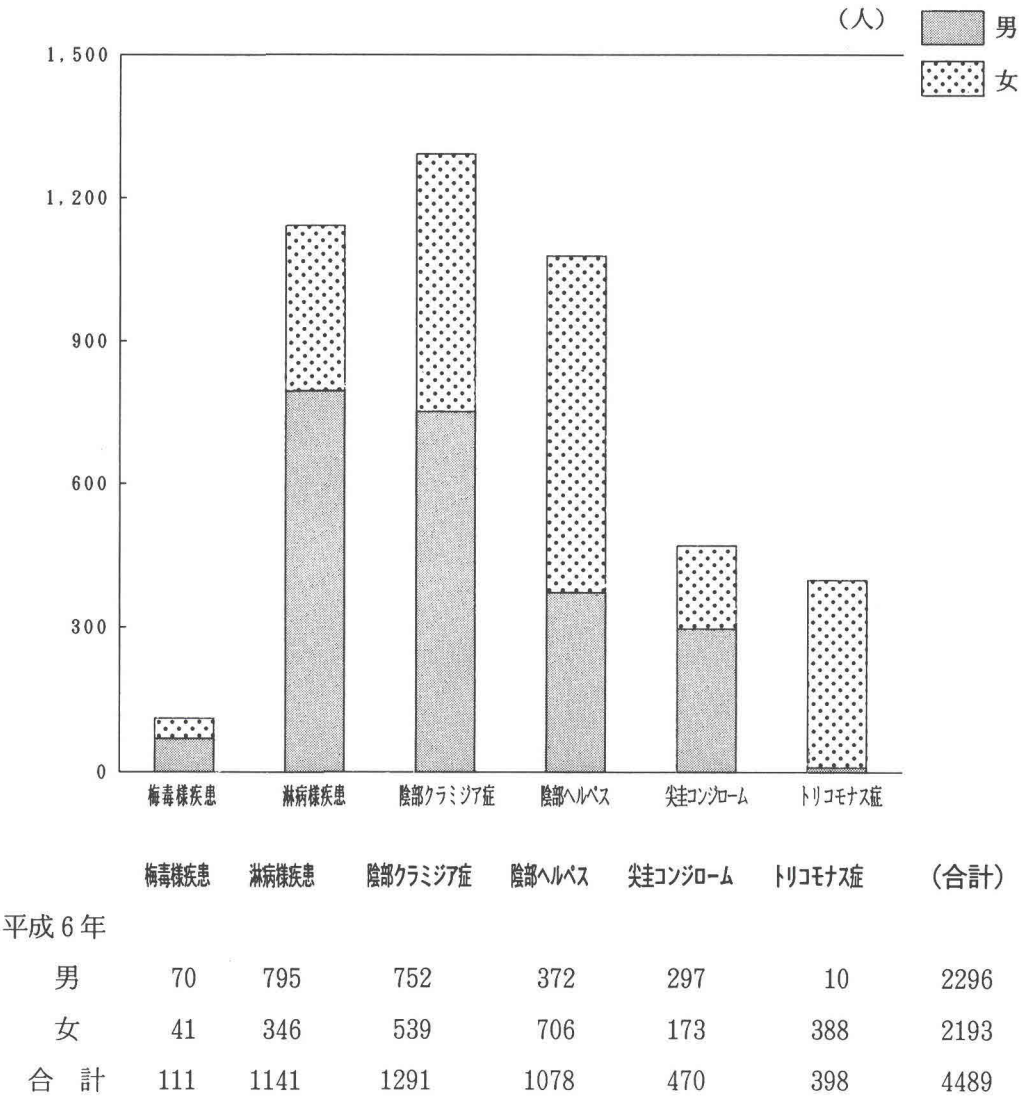


表 1

STD 月別患者発生数推移表 (平成 6 年) 都 域

総計 (単位:人)

	梅毒様 疾患	淋病様 疾患	陰 部 クラミジア 症	陰 部 ヘルペス	尖 圭 コンジロー ム	トリコモナス 症	計
1 月	13	99	114	110	45	29	410
2 月	9	93	116	85	41	29	373
3 月	7	113	104	98	43	31	396
4 月	8	99	105	86	37	31	366
5 月	6	96	116	96	37	32	383
6 月	10	102	133	97	41	29	412
7 月	14	101	124	82	32	27	380
8 月	5	89	123	64	44	46	371
9 月	13	82	102	91	39	37	364
10 月	12	91	89	89	37	31	349
11 月	7	99	83	89	37	32	347
12 月	7	77	82	91	37	44	338
計	111	1141	1291	1078	470	398	4489

STD 月別患者発生数推移表 (平成 6 年) 都 域

男 (単位:人)

	梅毒様 疾患	淋病様 疾患	陰 部 クラミジア 症	陰 部 ヘルペス	尖 圭 コンジロー ム	トリコモナス 症	計
1 月	7	61	67	31	31	1	198
2 月	4	63	72	23	28	1	191
3 月	3	81	70	30	27	1	212
4 月	6	74	57	27	22		186
5 月	4	69	71	34	28		206
6 月	6	72	72	42	27	1	220
7 月	12	69	61	25	21	1	189
8 月	4	63	63	26	25	4	185
9 月	6	61	71	40	27	1	206
10 月	8	59	52	30	20		169
11 月	6	69	45	30	19		169
12 月	4	54	51	34	22		165
計	70	795	752	372	297	10	2296

STD 月別患者発生数推移表 (平成 6 年) 都 域

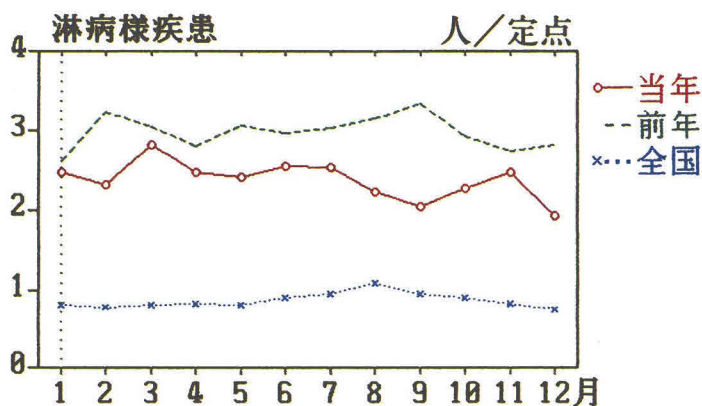
女 (単位:人)

	梅毒様 疾患	淋病様 疾患	陰 部 クラミジア 症	陰 部 ヘルペス	尖 圭 コンジロー ム	トリコモナス 症	計
1 月	6	38	47	79	14	28	212
2 月	5	30	44	62	13	28	182
3 月	4	32	34	68	16	30	184
4 月	2	25	48	59	15	31	180
5 月	2	27	45	62	9	32	177
6 月	4	30	61	55	14	28	192
7 月	2	32	63	57	11	26	191
8 月	1	26	60	38	19	42	186
9 月	7	21	31	51	12	36	158
10 月	4	32	37	59	17	31	180
11 月	1	30	38	59	18	32	178
12 月	3	23	31	57	15	44	173
計	41	346	539	706	173	388	2193

(3) 各疾病の動向（表2）

① 淋病様疾患

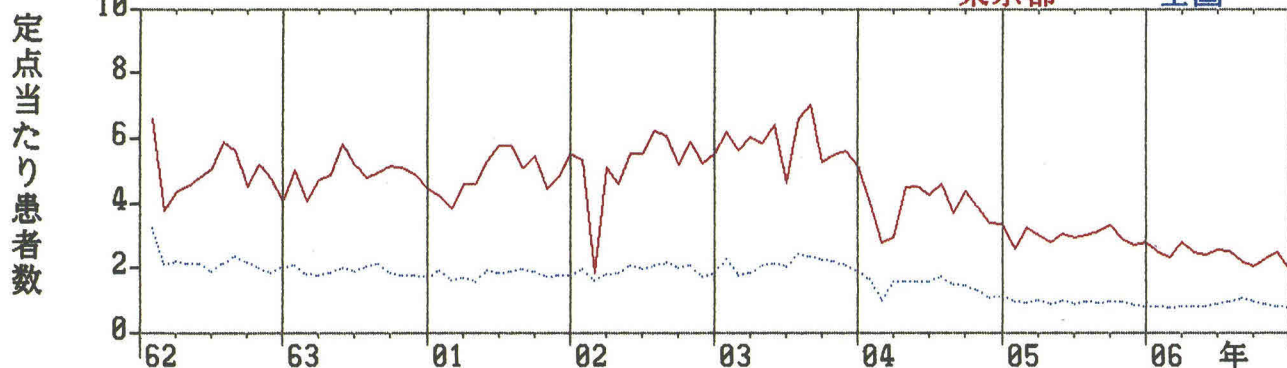
淋病様疾患は平成3年8月にピークを示したあと、平成4年及び5年にかけて減少していった。平成6年は更にこの傾向が続き、再増加する傾向は全くなかった。



淋病様疾患

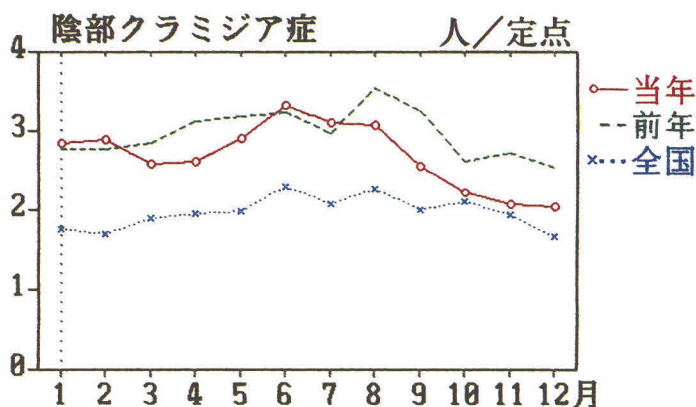
定点当たり患者数経年変化図

— 東京都 全国



② 陰部クラミジア症

陰部クラミジア症も平成3年7月をピークにして、平成4年は増減を繰り返しながら減少し、平成5年は淋病様疾患と同様の少ない件数で始まり、夏場にやや増加したが、少ない件数で推移した。平成6年も全く同様のパターンを示し、夏場にやや増加したが、10月以降はサーベイランス開始以来最低の件数であった。

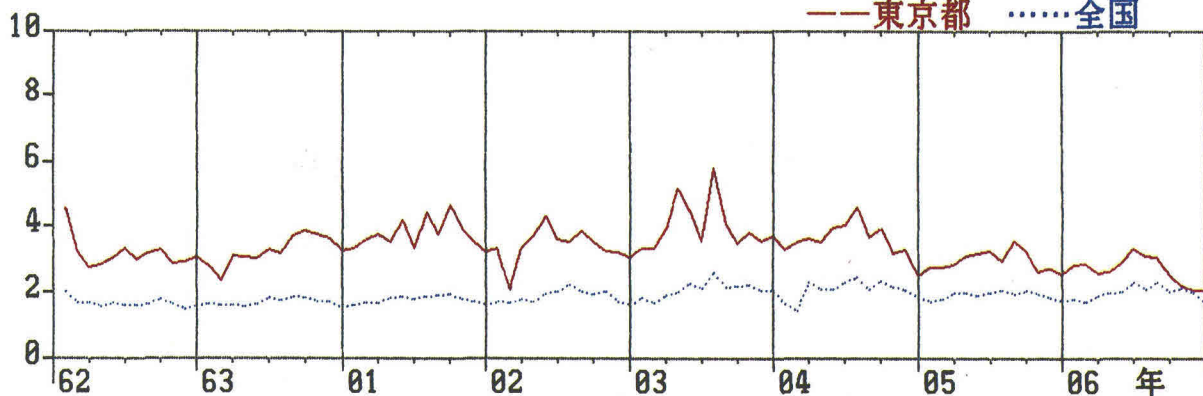


定点当たり患者数

陰部クラミジア症

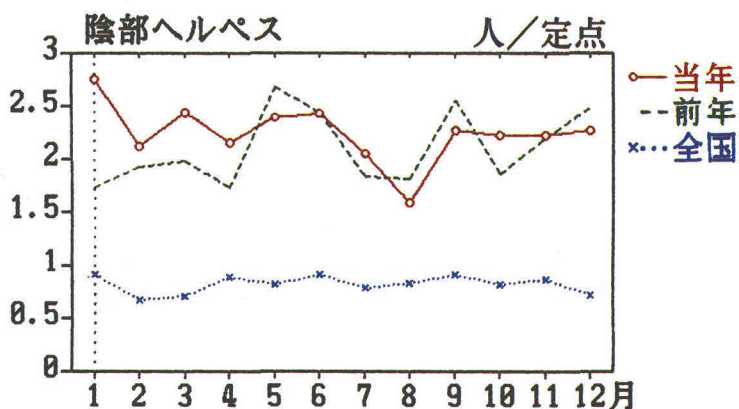
定点当たり患者数経年変化図

—東京都 ……全国



③陰部ヘルペス

陰部ヘルペスはこの数年同じレベルの推移を示している。平成6年は、他のSTDが減少傾向を示している中で、唯一多少の上下はあるものの、同じ数値かむしろ多少増加を示す時もあり、減少傾向は全く見られなかった。

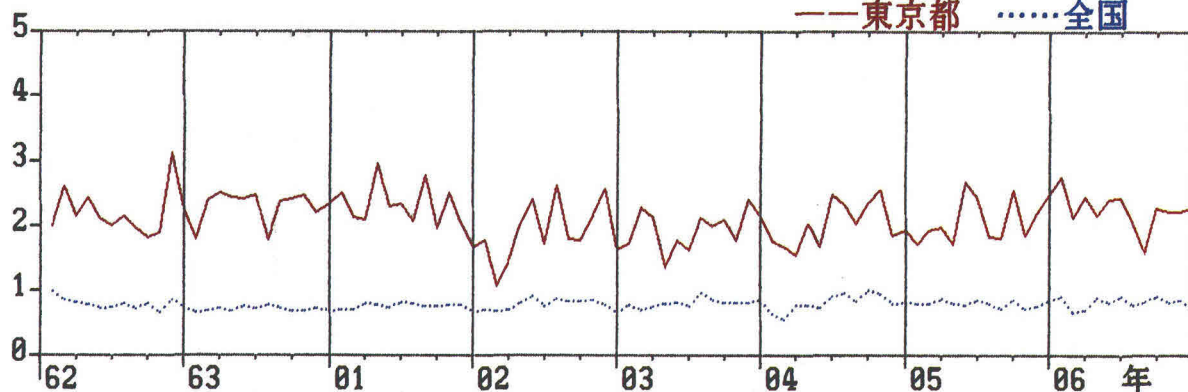


陰部ヘルペス

定点当たり患者数経年変化図

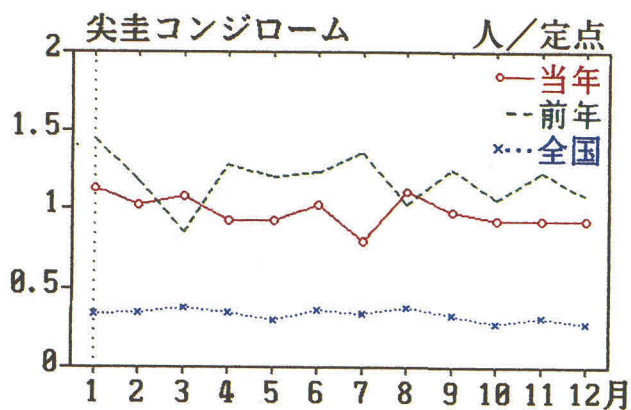
—東京都 ……全国

定点当たり患者数



④尖圭コンジローム

尖圭コンジロームは前年より少ない傾向で横這い状態で推移し、大きな変動はなかった。

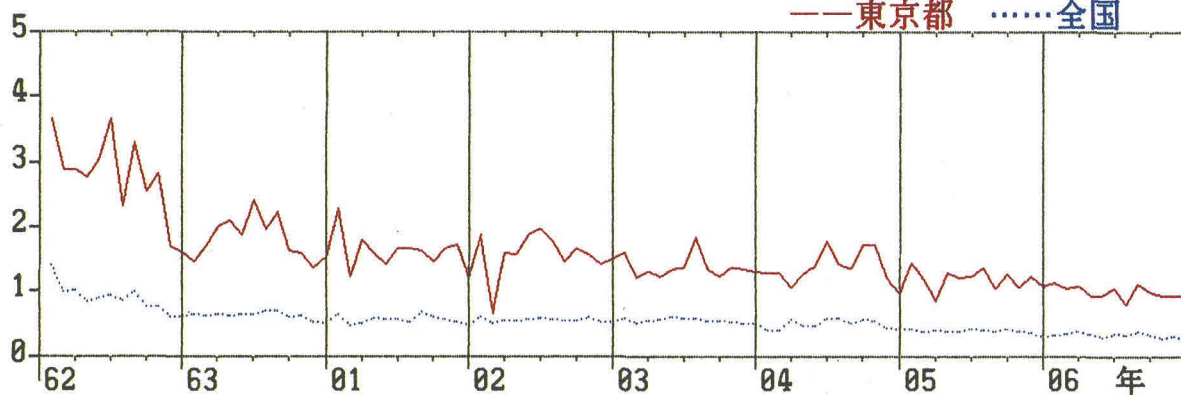


尖圭コンジローム

定点当たり患者数経年変化図

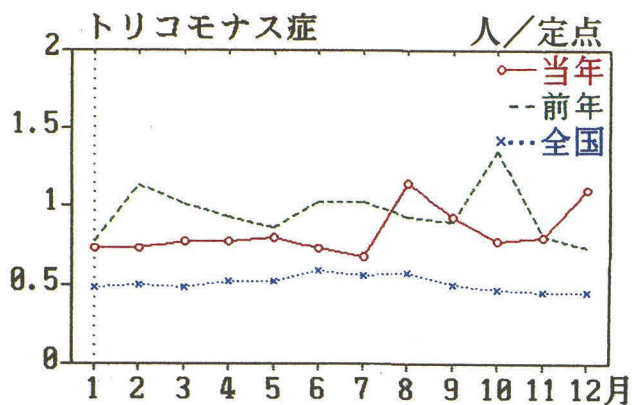
——東京都全国

定点当たり患者数



⑤トリコモナス症

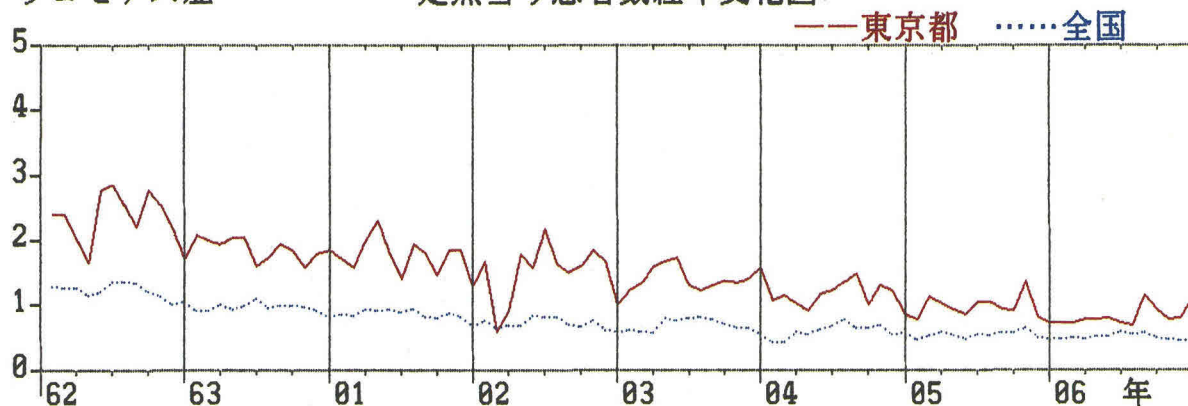
トリコモナス症は平成6年8月にやや多かったが、前年より少ない傾向を示した。



トリコモナス症

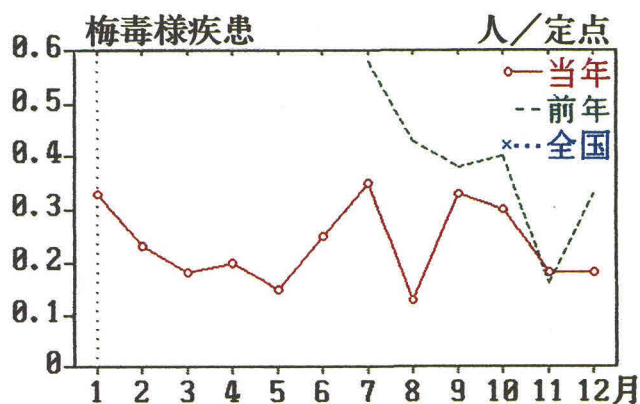
定点当り患者数経年変化図

定点当り患者数



⑥梅毒様疾患

梅毒様疾患は、前年より更に少ない報告数で、減少傾向で推移した。



梅毒様疾患

定点当り患者数経年変化図

定点当り患者数

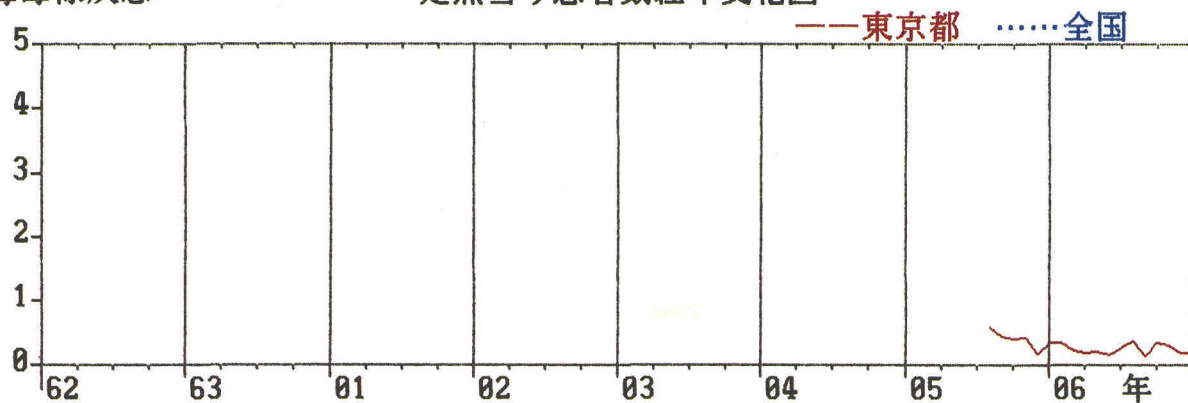


表 2

東京都STD推移（平成2年～平成6年）

平成2年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
淋病様疾患	5.33	3.27	5.37	4.60	5.53	5.50	6.23	6.07	5.20	5.90	5.23	5.53
陰部クラミジア症	3.33	3.13	4.00	3.70	4.30	3.60	3.53	3.87	3.50	3.27	3.23	3.07
陰部ヘルペス	1.77	1.73	2.13	2.03	2.40	1.73	2.63	1.80	1.77	2.17	2.57	1.63
尖圭コンジローム	1.87	1.13	1.97	1.57	1.87	1.97	1.77	1.47	1.67	1.57	1.43	1.50
トリコモナス症	1.67	1.30	1.30	1.77	1.57	2.17	1.63	1.50	1.60	1.83	1.67	1.00
合 計	13.97	10.57	14.77	13.67	15.67	14.97	15.80	14.70	13.73	14.73	14.13	12.73

平成3年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
淋病様疾患	6.17	5.63	6.03	5.87	6.40	5.53	6.60	7.03	5.27	5.47	5.60	5.13
陰部クラミジア症	3.33	3.33	3.93	5.20	4.47	4.33	5.83	4.07	3.47	3.83	3.57	3.70
陰部ヘルペス	1.73	2.27	2.13	1.37	1.77	1.90	2.13	2.00	2.10	1.77	2.40	2.17
尖圭コンジローム	1.60	1.20	1.30	1.23	1.33	1.67	1.83	1.33	1.23	1.37	1.33	1.30
トリコモナス症	1.23	1.33	1.57	1.67	1.73	1.30	1.23	1.30	1.37	1.33	1.40	1.57
合 計	14.07	13.77	14.97	15.33	15.70	14.73	17.63	15.73	13.43	13.77	14.30	13.87

平成4年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
淋病様疾患	5.40	3.77	3.97	4.48	4.53	4.25	4.58	3.71	4.38	3.88	3.40	3.38
陰部クラミジア症	4.37	4.70	4.83	3.53	3.97	4.02	4.60	3.66	3.93	3.20	3.28	2.53
陰部ヘルペス	2.37	2.23	2.07	2.03	1.68	2.48	2.33	2.03	2.35	2.55	1.85	1.93
尖圭コンジローム	1.70	1.70	1.40	1.25	1.37	1.77	1.43	1.35	1.73	1.73	1.20	0.95
トリコモナス症	1.43	1.53	1.33	0.90	1.17	1.22	1.36	1.48	1.00	1.30	1.23	0.85
合 計	15.27	13.93	13.60	12.18	12.73	13.75	14.23	12.20	13.38	12.65	10.95	9.63

平成5年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
淋病様疾患	104	130	122	112	122	119	121	126	134	117	110	113
定点当たり	2.60	3.25	3.05	2.81	3.05	2.98	3.03	3.16	3.35	2.93	2.75	2.83
陰部クラミジア症	111	111	114	125	127	130	119	142	130	105	109	102
定点当たり	2.78	2.78	2.85	3.12	3.18	3.25	2.98	3.56	3.25	2.63	2.73	2.55
陰部ヘルペス	69	77	79	69	107	97	73	72	102	74	88	99
定点当たり	1.73	1.93	1.98	1.73	2.68	2.43	1.95	1.81	2.55	1.85	2.20	2.48
尖圭コンジローム	58	47	34	51	48	49	54	41	50	42	49	43
定点当たり	1.45	1.18	0.85	1.28	1.20	1.23	1.35	1.03	1.25	1.05	1.23	1.08
トリコモナス症	31	45	40	37	34	41	41	37	36	54	32	29
定点当たり	0.78	1.13	1.00	0.93	0.85	1.03	1.03	0.93	0.90	1.35	0.80	0.73
梅毒様疾患	—	—	—	—	—	—	23	17	15	16	6	13
定点当たり	—	—	—	—	—	—	0.58	0.43	0.38	0.40	0.15	0.33
合 計	372	410	389	394	438	436	431	435	467	408	394	399

平成6年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
淋病様疾患	99	93	113	99	96	102	101	89	82	91	99	77
定点当たり	2.48	2.33	2.82	2.48	2.40	2.55	2.53	2.23	2.05	2.28	2.48	1.93
陰部クラミジア症	114	116	104	105	116	133	124	123	102	89	83	82
定点当たり	2.85	2.90	2.60	2.63	2.90	3.33	3.11	3.08	2.56	2.23	2.08	2.05
陰部ヘルペス	110	85	98	86	96	97	82	64	91	89	89	91
定点当たり	2.76	2.13	2.45	2.16	2.40	2.43	2.06	1.60	2.28	2.23	2.23	2.28
尖圭コンジローム	45	41	43	37	37	41	32	44	39	37	37	37
定点当たり	1.13	1.03	1.07	0.93	0.93	1.03	0.80	1.11	0.98	0.93	0.93	0.93
トリコモナス症	29	29	31	31	32	29	27	46	37	31	32	44
定点当たり	0.73	0.73	0.78	0.78	0.80	0.73	0.68	1.15	0.93	0.78	0.80	1.10
梅毒様疾患	13	9	7	8	6	10	14	5	13	12	7	7
定点当たり	0.33	0.23	0.18	0.20	0.15	0.25	0.35	0.13	0.33	0.30	0.18	0.18
合 計	410	373	396	366	383	412	380	371	364	349	347	338

(4) STD 6 疾患の年次推移 (図 2)

STD 6 疾患の年次推移を月平均定点当たりの報告件数で検討した。全国集計も同じ方法で検討した。毎年どの疾患も東京都は全国集計より 2～3 倍多く、平成 6 年も同様であった。

① 淋病様疾患

東京都の淋病様疾患は平成 3 年に最も多く、平成 4 年、5 年、6 年と著しく減少傾向を示した。平成 6 年は過去 8 年間で最も少なく、最も多かった平成 3 年の 40.4% で半分以上になっている。淋病様疾患の減少は著しい。

② 陰部クラミジア症

平成 3 年までは増加傾向を示していた。平成 4 年、5 年、6 年と順次減少傾向を示し、平成 6 年は最も多かった平成 3 年の数値の 65.7% で、淋病様疾患程の減少ではないが、確実に減少傾向である。

③ 陰部ヘルペス

過去 8 年間ほとんど変動がない STD である。平成 6 年の陰部ヘルペスはほとんど横這い状態でむしろ少しづつではあるが増加傾向を示している。

④ 尖圭コンジローム

前年にくらべ平成 6 年の尖圭コンジロームは減少している。この数年減少傾向を示している。

⑤ トリコモナス症

平成 6 年のトリコモナス症は前年にくらべ減少している。この疾患もこの数年減少傾向を示している。

⑥ 梅毒様疾患

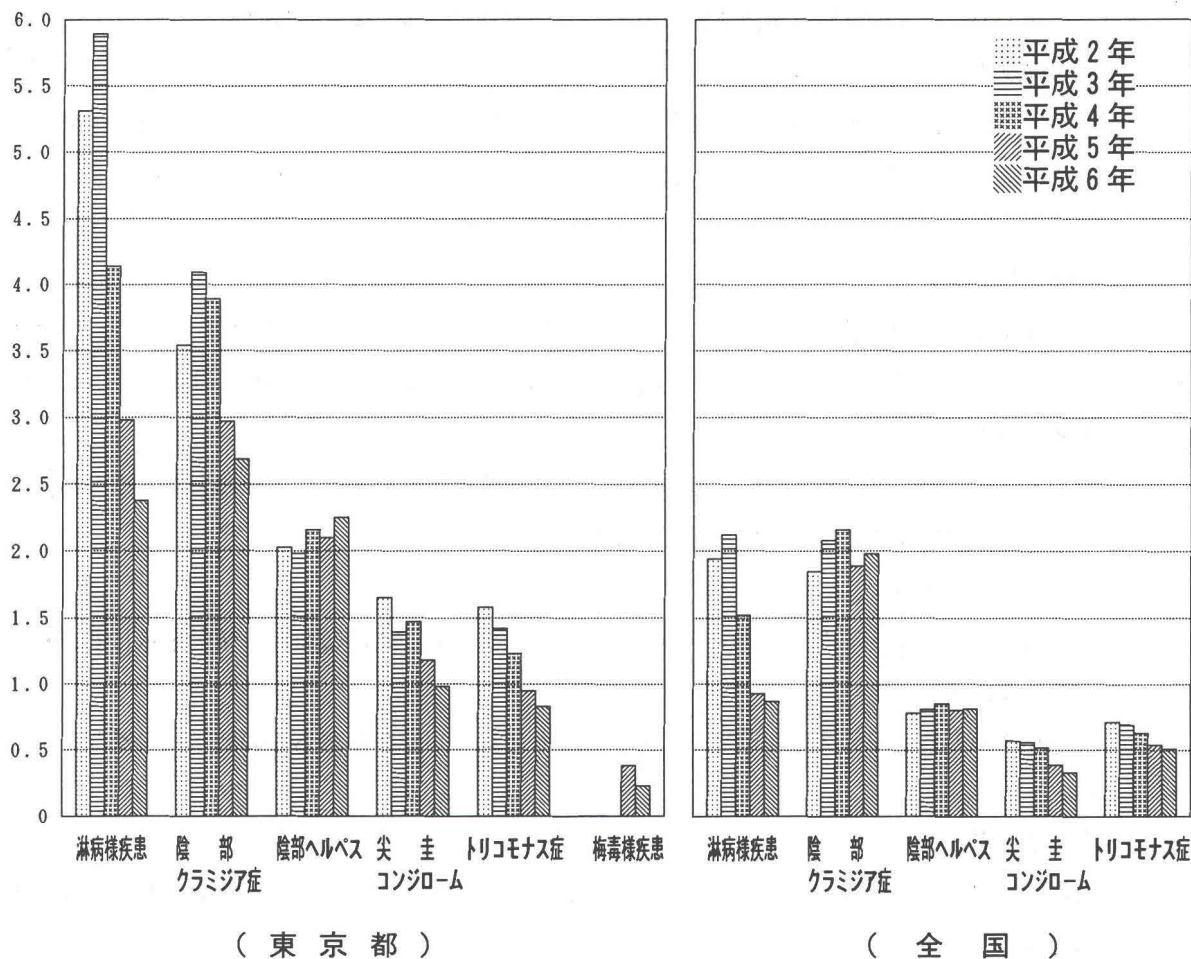
梅毒様疾患の年次比較は前年のみであるが、これも減少している。報告件数も少なく淋病様疾患の約 10 分の 1 であった。

⑦ 全国集計からみた STD の推移

淋病様疾患は東京都同様年々減少傾向にあり、最も多かった平成 3 年の数値の 41% に減少している。陰部クラミジア症は東京都とやや異なる傾向を示し、減少傾向は示さず、横這い状態、むしろ平成 6 年は前年よりやや多い。陰部ヘルペスは全く横這い状態、尖圭コンジローム、トリコモナス症は東京都同様緩やかな減少を示している。

図 2

S T D 年次推移 (定点当たり/月)



(東京都)

	淋病様疾患	陰部クラミジア症	陰部ヘルペス	尖圭コンジローム	トリコモナス症	梅毒様疾患
平成 2 年	5.31	3.54	2.03	1.65	1.58	—
平成 3 年	5.89	4.09	1.98	1.39	1.42	—
平成 4 年	4.14	3.89	2.16	1.47	1.23	—
平成 5 年	2.98	2.97	2.10	1.18	0.95	0.38
平成 6 年	2.38	2.69	2.25	0.98	0.83	0.23

(定点当たり/月)

(全 国)

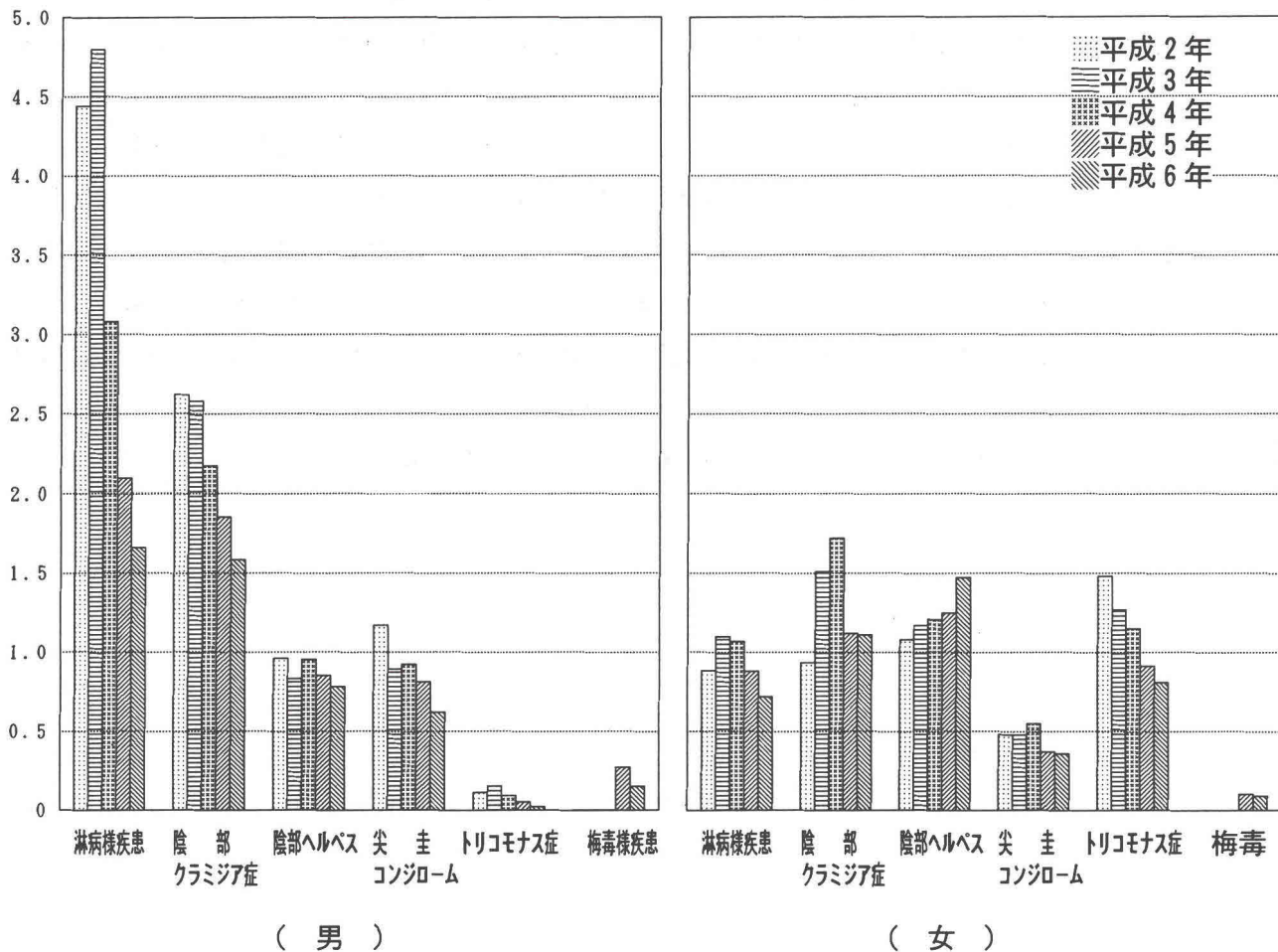
	淋病様疾患	陰部クラミジア症	陰部ヘルペス	尖圭コンジローム	トリコモナス症
平成 2 年	1.94	1.85	0.78	0.57	0.71
平成 3 年	2.12	2.08	0.81	0.56	0.69
平成 4 年	1.52	2.16	0.85	0.52	0.63
平成 5 年	0.93	1.89	0.80	0.39	0.54
平成 6 年	0.87	1.98	0.81	0.33	0.51

(5) STDの男女別年次推移（図3）

STD 6 疾患の男女別年次推移を、月平均定点当たりの報告件数で検討した。男子で最も多い疾患は淋病様疾患で、次いで陰部クラミジア症であったが、平成6年も同様である。しかし平成6年は淋病様疾患の減少で、淋病様疾患と陰部クラミジア症の差は更になくなりつつある。一方女子で最も多い疾患は、今までは平成4年の陰部クラミジア症、平成2年のトリコモナス症であったが、その後陰部クラミジア症、トリコモナス症は減少し、更に又淋病様疾患も減少著しく、ただ唯一陰部ヘルペスが最も多い疾患となっている。平成6年の淋病様疾患は男女共減少している。特に男子の減少幅が大きく、前年比78%であり、最も多い平成3年の数値の34%と減少している。陰部クラミジア症では男子は減少しているが、女子は前年とほとんど差をみない。陰部ヘルペスは男子ではやや減少しているが、女子では増加しており、前年比117%となっている。尖圭コンジロームは男子が減少し、女子はほとんど差がない。トリコモナス症は男女共減少している。梅毒様疾患も同様に男女共減少している。

図 3

S T D 男女別年次推移（東京都）（定点当たり／月）



(男 性)

(定点当たり／月)

	淋病様疾患	陰部クラミジア症	陰部ヘルペス	尖圭コンジローム	トリコモナス症	梅毒様疾患
平成 2 年	4.44	2.62	0.96	1.17	0.11	—
平成 3 年	4.80	2.58	0.83	0.89	0.15	—
平成 4 年	3.08	2.17	0.95	0.92	0.09	—
平成 5 年	2.10	1.85	0.85	0.81	0.05	0.27
平成 6 年	1.65	1.56	0.75	0.62	0.02	0.15

(女 性)

	淋病様疾患	陰部クラミジア症	陰部ヘルペス	尖圭コンジローム	トリコモナス症	梅毒様疾患
平成 2 年	0.88	0.93	1.08	0.48	1.48	—
平成 3 年	1.10	1.51	1.17	0.48	1.27	—
平成 4 年	1.07	1.72	1.21	0.55	1.15	—
平成 5 年	0.88	1.12	1.25	0.37	0.91	0.10
平成 6 年	0.72	1.12	1.47	0.36	0.81	0.08

(6) 各疾患の男女比率（表 1）

平成 6 年の各疾患の男女別の報告件数と男女比率を検討した。平成 6 年の淋病様疾患は男子が69.6% (795件)、女子が30.3% (346件) であり、前年同様男子の方が多かった。陰部クラミジア症は平成 4 年から女子の占める割合が多くなっていたが、平成 6 年の女子は41.7% (539件) で男子の方が多い。陰部ヘルペスは、5 年間の推移を見ても常に女子の方が多い。平成 6 年の陰部ヘルペスは男子が34.5% (372件)、女子が65.5% (706件) で女子の方が圧倒的に多い。尖圭コンジロームは男子が63.2% (297件)、女子が36.8% (173件) で男子が多かった。トリコモナス症は男子が2.5% (10件)、女子が97.5% (388件) で圧倒的に女子の疾患である。梅毒様疾患では男子が63.0% (70件)、女子が37.0% (41件) で男子の方が多かった。

(7) STDの男女別年齢層別年次推移（表3）

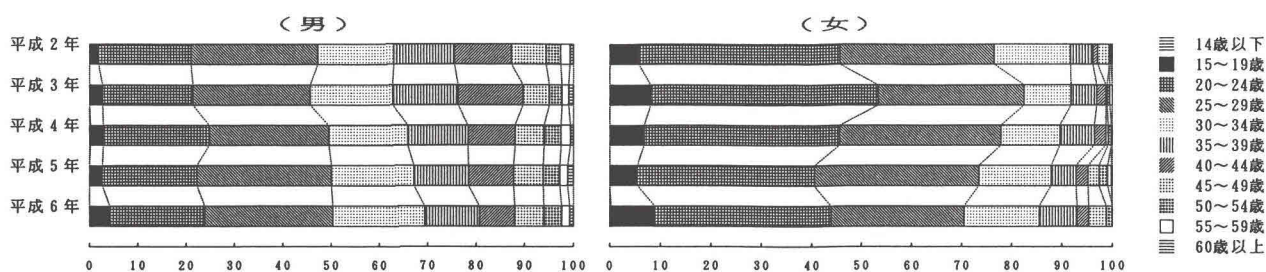
男女別年齢層別にSTD 6疾患の年齢構成及びその年次推移を検討した。

①淋病様疾患

男子の淋病様疾患は25～29歳をピークにして、30歳代を中心に占めている。平成6年の男子の淋病様疾患は減少しているが、年齢層別に見ると、前年に比べ40～44歳代が減少している。女子の淋病様疾患は例年男子よりも年齢層が低く、20～24歳代にピークがある。平成6年は25～29歳代の減少が前年に比べ著しい。

その他は35～39歳代にやや増加が認められた。

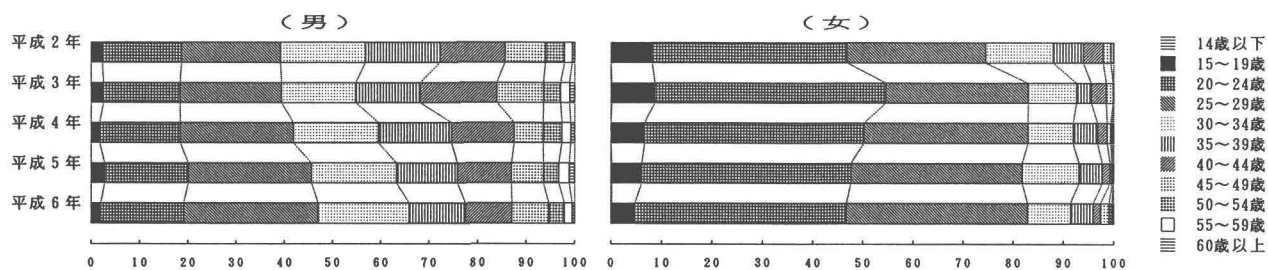
年齢推移（淋病様疾患）



②陰部クラミジア症

陰部クラミジア症の年齢構成は、淋病様疾患と同様で、男子のピークは25～29歳代で、女子のピークは20～24歳代である。平成6年の男子の特徴は、40～49歳代の中年層で減少が見られたことである。女子の特徴は、20～29歳代でほぼ全体の8割を占めていることである。

年齢推移（陰部クラミジア症）

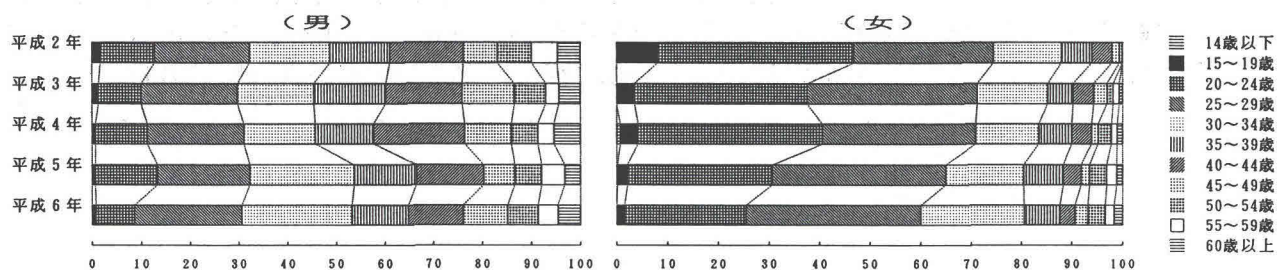


③陰部ヘルペス

男子陰部ヘルペスの年齢構成は、従来からそのピークは小さく、20歳代から40歳代までほぼ同じ報告件数があり、50歳代の患者も多い。

平成6年の男子陰部ヘルペスは僅かに減少していたが、その年齢構成にほとんど変化はなかった。女子陰部ヘルペスは淋病様疾患、陰部クラミジア症と同様に20～24歳代をピークに20歳代でほとんどを占めているが、平成6年は他のSTDに比べ、唯一件数が増加していた。平成6年の特徴は、ピークの年代は同様であるが、30～34歳代に数の増加が見られた。

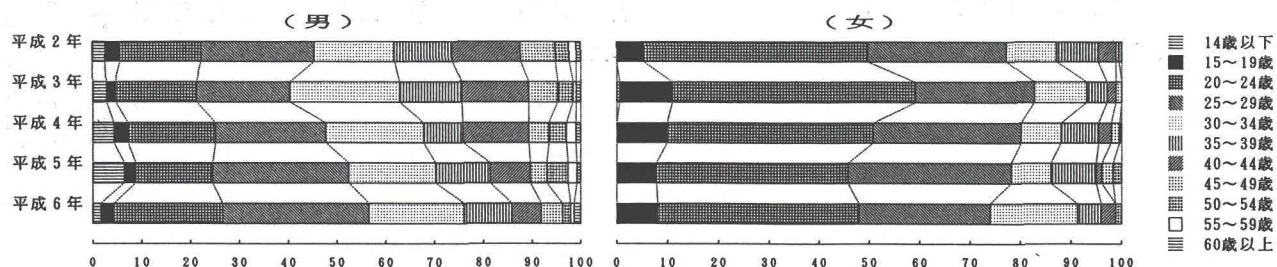
年齢推移（陰部ヘルペス）



④尖圭コンジローム

男子尖圭コンジロームの年齢構成は、20歳代から50歳代まで広がりを見せている。平成6年は25～29歳代がやや増加したが、全体として減少傾向を示している。女子尖圭コンジロームは、ヘルペスと同様の年齢構成だが、30～34歳代にやや増加が目立っている。

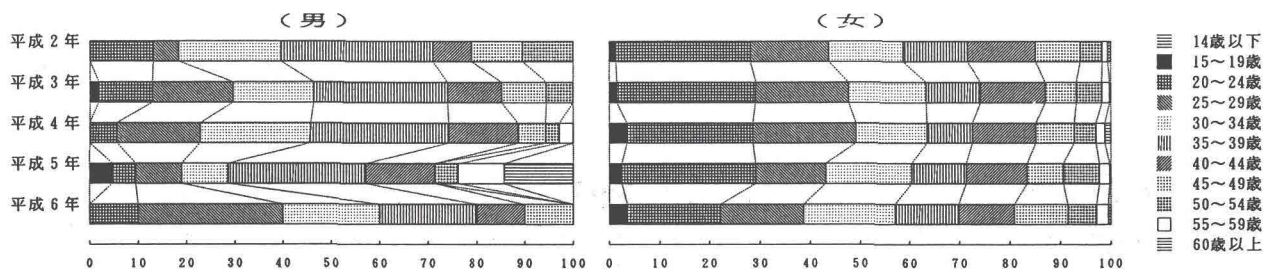
年齢推移（尖圭コンジローム）



⑤トリコモナス症

男子トリコモナス症の報告件数は少なく、平成6年も特に変化はなく経過している。女子は従来20～24歳代がピークであったが、平成6年の特徴は、20歳代から50歳代まで幅広く占めている。特に50歳代の報告件数がやや増加している。

年齢推移（トリコモナス症）



⑥梅毒様疾患

梅毒様疾患の年齢構成をみると、男子は20歳代を中心に30歳代、40歳代、50歳代の報告も見られる。梅毒様疾患のサーベイランスは平成5年7月からの開始で報告数も少なく、最近の梅毒様疾患の動きの全体像が把握されていないが、平成6年に男子の60歳代の報告が多くなっているのは、私見ではあるが、初感染ではない印象がある。女子の梅毒様疾患は20歳代から30歳代が中心で、8割は40歳代までである。

年齢推移（梅毒様疾患）

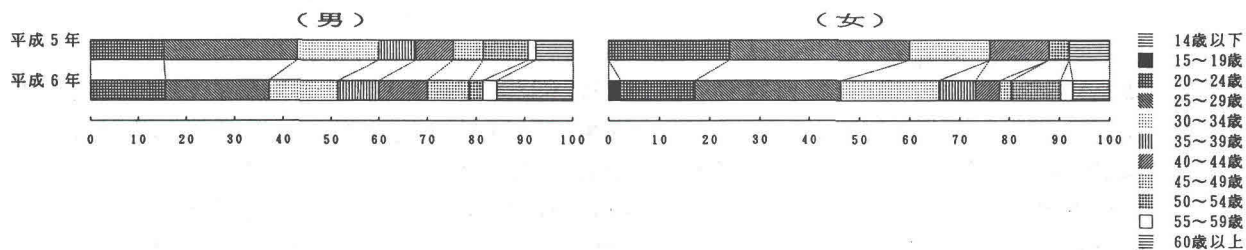


表 3 STD年齢階級別累計表 (平成 6 年 1 月 ~ 平成 6 年 12 月)
 総計 患者報告数

	梅毒様 疾患	淋病様 疾患	陰 部 クラミジア 症	陰 部 ヘルペス	尖 圭 コンジロー ム	トリコモ ス症	計
0~4 歳					4		4
5~9 歳							
10~14 歳		1	1		1		3
15~19 歳	1	64	40	14	22	14	155
20~24 歳	17	277	355	198	135	73	1055
25~29 歳	27	303	405	326	134	67	1262
30~34 歳	18	203	188	229	88	73	799
35~39 歳	9	116	111	93	37	52	418
40~44 歳	9	66	80	63	23	44	285
45~49 歳	7	59	66	52	13	42	239
50~54 歳	6	33	27	47	7	22	142
55~59 歳	3	13	13	27	2	9	67
60~ 歳	14	6	5	29	4	2	60
計	111	1141	1291	1078	470	398	4489

STD年齢階級別累計表 (平成 6 年 1 月 ~ 平成 6 年 12 月)
 男 患者報告数

	梅毒様 疾患	淋病様 疾患	陰 部 クラミジア 症	陰 部 ヘルペス	尖 圭 コンジロー ム	トリコモ ス症	計
0~4 歳					4		4
5~9 歳							
10~14 歳					1		1
15~19 歳		34	15	3	8		60
20~24 歳	11	156	129	29	66	1	392
25~29 歳	15	211	210	82	89	3	610
30~34 歳	10	151	142	84	58	2	447
35~39 歳	6	90	87	43	29	2	257
40~44 歳	7	58	72	42	18	1	198
45~49 歳	6	47	57	34	13	1	158
50~54 歳	2	29	24	23	5		83
55~59 歳	2	13	12	15	2		44
60~ 歳	11	6	4	17	4		42
計	70	795	752	372	297	10	2296

STD年齢階級別累計表 (平成 6 年 1 月 ~ 平成 6 年 12 月)
 女 患者報告数

	梅毒様 疾患	淋病様 疾患	陰 部 クラミジア 症	陰 部 ヘルペス	尖 圭 コンジロー ム	トリコモ ス症	計
0~4 歳							
5~9 歳							
10~14 歳		1	1				2
15~19 歳	1	30	25	11	14	14	95
20~24 歳	6	121	226	169	69	72	663
25~29 歳	12	92	195	244	45	64	652
30~34 歳	8	52	46	145	30	71	352
35~39 歳	3	26	24	50	8	50	161
40~44 歳	2	8	8	21	5	43	87
45~49 歳	1	12	9	18		41	81
50~54 歳	4	4	3	24	2	22	59
55~59 歳	1		1	12		9	23
60~ 歳	3		1	12		2	18
計	41	346	539	706	173	388	2193

(8) 保健所別累計表からみた東京都の地域的STDの状況(表4、表5)

東京都の地域別にSTDの報告状況を検討してみた。STD保健所別累計表によると、平成6年STD報告総件数からみて、1位浅草1043件、2位新宿1021件、3位池袋493件、以下深川386件、立川297件、渋谷206件、武蔵野164件、赤坂141件、城東134件となる。また、定点当たりの報告数からみると、1位深川386、2位浅草260、3位新宿204、以下池袋164となる。疾患別からみると、淋病様疾患では報告数順に新宿、深川、浅草、渋谷、池袋の順、陰部クラミジア症では、浅草、新宿、池袋、深川、渋谷となる。陰部ヘルペスは圧倒的に多い浅草(総報告件数の45.7%)、新宿、深川、池袋の順となる。尖圭コンジローム、トリコモナス症は省略する。梅毒様疾患はまだ報告件数は少ないが、浅草、新宿、深川、池袋の順となる。男女別の特徴は、男子の淋病様疾患は圧倒的に新宿に多く、次いで深川、立川、女子の淋病様疾患も新宿、立川、浅草となる。男子の陰部クラミジア症は新宿、池袋、深川、女子の陰部クラミジア症では圧倒的に浅草が多く、次いで新宿、池袋、男子の陰部ヘルペスは深川、新宿、池袋、女子の陰部ヘルペスは圧倒的に浅草(総数の65.7%)、次いで新宿、池袋となる。尖圭コンジローム、トリコモナス症は省略、梅毒様疾患では男子は新宿、浅草、池袋、女子は浅草、深川、池袋となる。以上のように地域的にSTDの報告数を検討すると、歓楽街の多い新宿、浅草、池袋に集中するといつてよい。

表 4

STD保健所別累計表 (平成6年1月～平成6年12月)

総計 患者報告数

	定 点 数	梅毒様 疾患	淋病様 疾患	陰部 クラミジア 症	陰部 ヘルペス	尖圭 コンジロー ム	トリスモス 症	計
麴町	0							
神田	0							
中央	1	1	4	11	10	1	1	28
日本橋	1		5	9	1	1		16
芝	0							
麻布	0							
赤坂	1	2	27	76	22	14		141
牛込	0							
四谷	0							
新宿	5	23	487	185	126	149	51	1021
小石川	1		3		4			7
本郷	0							
下谷	1	1						1
浅草	4	38	87	300	493	45	80	1043
向島	1		2	30	4	4		40
本所	0							
城東	1		18	55	24	7	30	134
深川	1	14	126	110	100	36		386
品川	1		1	9	2	3		15
荏原	0							
目黒	0							
碑文谷	0							
大森	1	1		17	7	28	39	92
雪谷	0							
蒲田	1		1					1
糞谷	1				5	1	1	7
世田谷	0							
梅丘	0							
玉川	0							
砧	0							
渋谷区	3	5	76	77	25	21	2	206
中野	0							
中野北	1		3	31	11	8	1	54
西	0							
南	0							
東	0							
池袋	3	13	48	167	100	77	88	493
長崎	0							
王子	1		11	7	5	3		26
赤羽	0							
滝野川	0							
荒川	1	1		1	3	2	8	15
板橋	1	2	14	42	26	16	2	102
赤塚	0							
志村	1	1	7	3				11
練馬	0							
石神井	0							
足立	1	2	21	41	16	10		90
千住	0							
葛飾	0							
葛飾北	0							
江戸川	0							
小岩	0							
青梅	0							
五日市	0							
八王子	3		2	20	10	2	29	63
日野	0							
町田	1			16	10	7	3	36
府中	0							
武蔵調布	0							
小金井	0							
立川	2	2	181	35	26	23	30	297
武蔵野	1	5	17	49	48	12	33	164
三鷹	0							
田無	0							
小平	0							
東村山	0							
島しょ	0							
東久留米	0							
福生	0							
多摩	0							
計	40	111	1141	1291	1078	470	398	4489
定点当たり		2.78	28.53	32.28	26.95	11.75	9.95	112.24

表 5

STD保健所別累計表 (平成6年1月～平成6年12月)
総計 定点当たり発生数

	定 点 数	梅毒様 疾患	淋病様 疾患	陰 部 クラミジア 症	陰 部 ヘルペス	尖 圭 コンジロー ム	トリコモナス 症	計
鶴町	0							
神田	0							
中央	1	1.00	4.00	11.00	10.00	1.00	1.00	28.00
日本橋	1		5.00	9.00	1.00	1.00		16.00
芝	0							
麻布	0							
赤坂	1	2.00	27.00	76.00	22.00	14.00		141.00
牛込	0							
四谷	0							
新宿	5	4.60	97.40	37.00	25.20	29.80	10.20	204.20
小石川	1		3.00		4.00			7.00
本郷	0							
下谷	1	1.00						1.00
浅草	4	9.50	21.75	75.00	123.25	11.25	20.00	260.75
向島	1		2.00	30.00	4.00	4.00		40.00
本所	0							
城東	1		18.00	55.00	24.00	7.00	30.00	134.00
深川	1	14.00	126.00	110.00	100.00	36.00		386.00
品川	1		1.00	9.00	2.00	3.00		15.00
荏原	0							
目黒	0							
碑文谷	0							
大森	1	1.00		17.00	7.00	28.00	39.00	92.00
雪谷	0							
蒲田	1		1.00					1.00
梶谷	1				5.00	1.00	1.00	7.00
世田谷	0							
梅丘	0							
玉川	0							
砧	0							
渋谷区	3	1.65	25.32	25.67	8.33	7.00	.67	68.64
中野	0							
中野北	1		3.00	31.00	11.00	8.00	1.00	54.00
西南	0							
南東	0							
池袋	3	4.31	15.98	55.66	33.33	25.65	29.33	164.26
長崎	0							
王子	1		11.00	7.00	5.00	3.00		26.00
赤羽	0							
滝野川	0							
荒川	1	1.00		1.00	3.00	2.00	8.00	15.00
板橋	1	2.00	14.00	42.00	26.00	16.00	2.00	102.00
赤塚	0							
志村	1	1.00	7.00	3.00				11.00
練馬	0							
石神井	0							
足立	1	2.00	21.00	41.00	16.00	10.00		90.00
千住	0							
葛飾	0							
葛飾北	0							
江戸川	0							
小岩	0							
青梅	0							
五日市	0							
八王子	3		.66	6.65	3.32	.66	9.66	20.95
日野	0							
町田	1			16.00	10.00	7.00	3.00	36.00
府中	0							
武蔵調布	0							
小金井	0							
立川	2	1.00	90.50	17.50	13.00	11.50	15.00	148.50
武蔵野	1	5.00	17.00	49.00	48.00	12.00	33.00	164.00
三鷹	0							
田無	0							
小平	0							
東村山	0							
島しょ	0							
東久留米	0							
福生	0							
多摩	0							
計	40	2.78	28.53	32.28	26.95	11.75	9.95	112.24

(9) 東京都届出性病及び全国届出性病（図4、図5）

東京都届出性病で最近の梅毒と淋病をみると、梅毒は昭和62年をピークにして減少傾向を示し、平成6年も前年に続いて減少している。淋病は昭和61年をピークに減少し、平成3年に再び増加、それを再ピークにして以後減少を続け、平成6年も前年に引き続いて減少している。軟性下疳、そけいリンパ肉芽腫の報告はほとんどない。全国届出性病においても、淋病は平成4年、5年、6年と急激に減少している。梅毒も同様に減少している。軟性下疳、そけいリンパ肉芽腫はごくわずかである。

図4 性病届出件数推移（東京都）

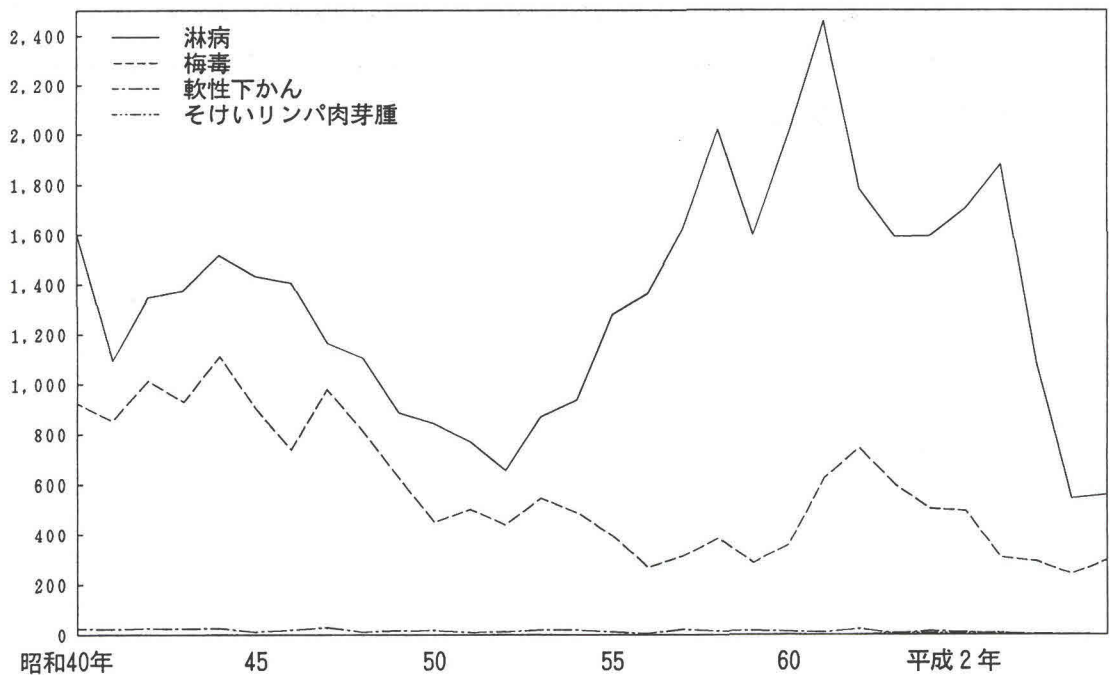
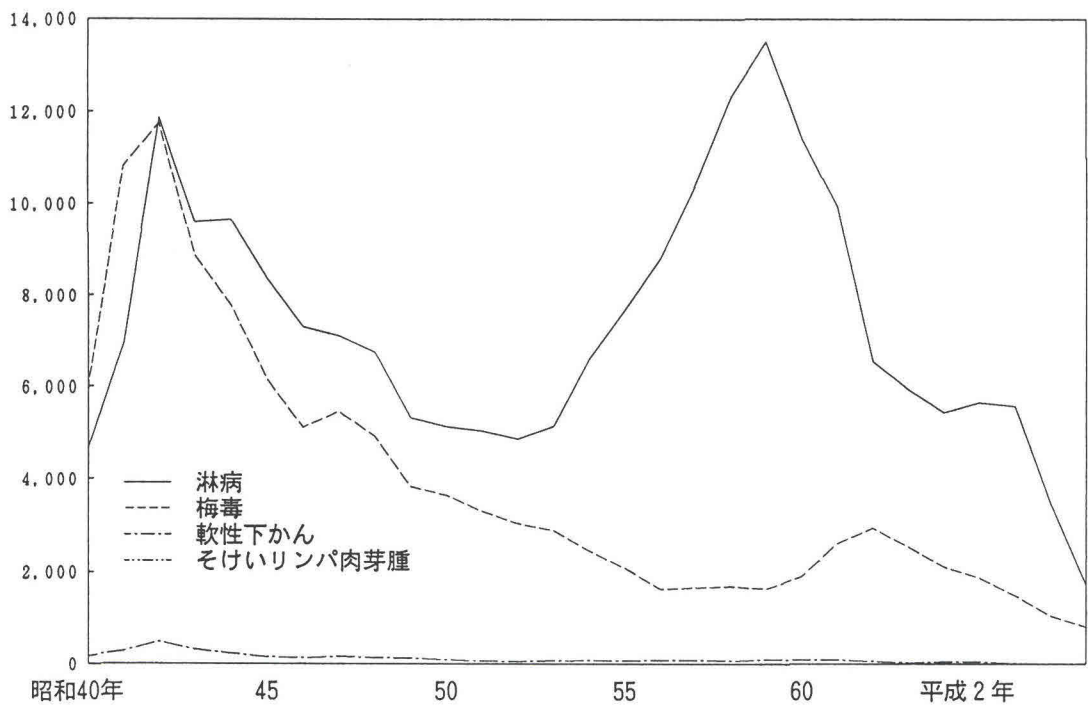


図5 性病届出件数推移（全 国）



(10) まとめ

昭和62年1月のエイズショック以来、STDは急激に減少した。その後平成2年、3年に淋病様疾患、陰部クラミジア症は一時増加傾向を示した。しかし平成4年、5年と減少傾向を示し、平成6年も引き続いて減少し、10月から12月にかけてSTDサーベイランス開始以来の最少報告数であった。HIV感染の増加が報告されたことと、それに伴うSTD感染予防キャンペーンの影響と思われる。ただ一部STD感染者が医療機関を受診せず、潜在化している懸念もぬぐえない。また、全国統計を見ると陰部クラミジア症はそれ程減少せず、最近世界的にHIV感染との関連もとりざたされている疾患であり、自覚症状も少ない疾患のため、その蔓延防止には留意しなければならない。また、STDが全般的に減少している中で、東京都、全国ともに陰部ヘルペスだけが減少傾向がみられず、東京ではむしろ増加した。ウイルス疾患で再発をくりかえす疾患なので、この傾向が見られたと思われる。今後共、陰部クラミジア症、陰部ヘルペスは嚴重注意すべき疾患と考えられる。

7 東京都感染症サーベイランス事業における病原体検索成績

(1) 小児科・内科及び病院定点の感染症サーベイランス事業（ウイルス）

平成6年の1年間に検査定点病院（都立駒込、豊島、広尾、墨東、府中病院、済生会中央、通信、聖母及び東京女子医科大学病院の9病院の各小児科）から搬入された検査材料は、147名の患者から得られた咽頭ぬぐい液100例、髄液31例、糞便46例及び尿等8例、合計185例であった。

これらについて病原ウイルスを検索した結果、22名（15.0％）の患者から表1に示したウイルスが検出された。最も多く検出されたウイルスはコクサッキーウイルスで、11名から検出された。次いでアデノウイルスとロタウイルスがそれぞれ4名から、エコーウイルスが3名から、ポリオウイルスが1名から検出された。なお、同一患者から2種類のウイルス（エコーウイルス7型とコクサッキーB群4型）が検出された例が1例であった。

これらウイルスが検出された患者の主な臨床診断名は、コクサッキーウイルスA群4型の3例及びA群5型の5例がヘルパンギーナ、アデノウイルス3型の2例が咽頭結膜熱などであった。また、ポリオウイルス1型が咽頭ぬぐい液から検出された患者は生後7か月の幼児で、診断名は突発性発疹であった。なお、この患者はワクチン摂取後1か月目であった。ロタウイルスは、1例が乳児嘔吐下痢症から、他の3例は感染性胃腸炎からであった。また、この他、先天性サイトメガロウイルス感染症と診断された生後6か月の幼児の尿を用いたPCR法による検査で本ウイルスの感染が確認されている。

表1 小児科・内科及び病院定点における感染症サーベイランス事業ウイルス検出成績
(平成6年1月～12月)

年齢区分	患者数	陽性例数 (%)	検出ウイルス								ロタ	ポリオ 1
			コクサッキー				アデノ		エコー			
			A4	A5	B4	B5	3	6	3	7		
1 歳未満	51	4 (7.8)	-	-	-	-	1*	1	-	-	1	1
1 ～ 4歳	53	17 (32.1)	4	5	1**	1	2	-	1	1**	3	-
5 ～ 9歳	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10 ～14歳	11	1 (9.1)	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
15 ～19歳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 歳以上	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	147	22 (15.0)	4	5	1	1	3	1	1	2	4	1

*:分離株数、 **: 同一患者

(2) 小児科・内科及び病院定点の感染症サーベイランス事業（腸管系病原菌）

表には示さなかったが、2か所の定点から、腸管系病原菌の検査を目的に合計30例の検査材料の搬入があった。

検査の結果、カンピロバクターが4名から、サルモネラ（血清型Enteritidis）が2名から検出された。

(3) 多摩地区の感染症サーベイランス事業

衛生研究所多摩支所では、感染症サーベイランス事業の一環として多摩地区の医療機関（9 定点）の協力を得て、平成 3 年 5 月から、乳児嘔吐下痢症及び感染性胃腸炎について、病原体検索を継続的に実施してきている。以下平成 6 年の 1 年間に得られた検査成績の概略を報告する。

定点医療機関は江崎小児クリニック（多摩市）、北野小児科（八王子市）、国立中央診療所（国立市）、桜井医院（稲城市）、野上医院（立川市）、藤田医院（武蔵村山市）、宮崎小児科医院（八王子市）、みやもと小児科（日野市）及び横田小児科医院（秋川市）である。

平成 6 年の 1 年間に定点医療機関から搬入された検体数は、乳児嘔吐下痢症 21 例及び感染性胃腸炎 215 例の合計 236 例であった。

これらについて、腸管系病原菌及びウイルス検索を行った結果を表 2 に示した。乳児嘔吐下痢症と診断された症例 21 例では、57% に当たる 12 例から既知の腸管系病原体が検出された。その内訳はウイルスのみ検出された例が 8 例、病原細菌のみ、及び両者が同時に検出された例がそれぞれ 2 例であった。

検出されたウイルスの種類は表 3 に示したようにロタウイルスが 8 例と最も多く、この他エコーウイルス 18 型及びアデノウイルス 1 型が各 1 例であった。病原菌では病原大腸菌、カンピロバクター、サルモネラが検出されている。また、両者が同時に検出された例は、ロタウイルスと病原大腸菌及びロタウイルスとカンピロバクターの組み合わせであった。

一方、感染性胃腸炎と診断された症例では、215 例中 95 例から既知の腸管系病原体が検出された。これらのうち病原菌のみ検出されたものが 76 例と最も多く、次いでウイルスのみ検出されたものが 15 例、及び両者が同時に検出された例が 4 例であった（表 2）。検出病原菌の内訳は、表 3 に示すように、病原大腸菌が 34 株（15.8%）と最も多く、次いでカンピロバクター 26 株（12.1%）、サルモネラ 17 株（7.9%）、及び腸炎ビブリオとエロモナスがそれぞれ 3 株であった。

検出された 34 株の病原大腸菌の内訳は、毒素原性大腸菌が 4 株で、残りは全て病原血清型大腸菌に該当するもので、昨年検出された腸管出血性大腸菌は検出されなかった。なお、この病原血清型大腸菌の中には、現時点では下痢原性にやや疑問の持たれる血清型も含まれている。次に、サルモネラをみると、*S. Enteritidis* の検出例が多く 9 株、次いで *S. Braenderup* 3 株、*S. Typhimurium* 及び *S. Thompson* 各 2 株など、6 種の血清型が検出された。近年 *S. Enteritidis* は集団食中毒をはじめ他の散発下痢症例などからも多く検出されている。本事業においても、分離されたサルモネラのうち最も多く検出されたことは、これらを反映しているものであろう。

ウイルスは 4 種類が検出された。その内訳はロタウイルスが 12 例（5.6%）と最も多く、次いでアデノウイルスが 3 例（1 型、2 型、6 型が各 1 型）、コクサッキーウイルス 4 型（1 例）、及びエコーウイルス 3 型（1 例）であった。なお、本年は S R S V（小型球形ウイルス）は検出されなかった。また、病原菌とウイルスが同時に検出された 4 例は、すべて病原大腸菌とロタウイルスの組み合わせであった。

患者年齢と検出病原体の関係についてみると、乳児嘔吐下痢症では、ロタウイルス検出例が病原体陽性 12 例のうち 8 例と圧倒的に多い結果であった。また、感染性胃腸炎例においては、4 歳以下の年齢層で、前者同様ロタウイルス検出例が多く認められたものの、更に 20 歳以上の年齢層からも 3 例検出されている。病原大腸菌とカンピロバクターは、いずれの年齢層からも検出されているが、サルモネラは 1 ～ 9 歳の幼児や小児層と 20 歳以上の成人層からの検出であった。

前述のように本年はSRSVは検出されなかったが、これはほとんどの検査材料が電子顕微鏡用の標本作製に不適であったためである。近年ウイルスの検査法として、PCR法なども開発されている。今後はこういった検査法を加え、より一層精度の高い結果を提供する予定である。

表2 多摩地区における感染症サーベイランス事業腸管系病原体検査成績
(平成6年1月～12月)

年齢区分	検査件数	腸管系病原体 陽性例数 (%)	陽性者内訳		
			病原菌のみ	病原菌＋ウイルス	ウイルスのみ
(乳児嘔吐下痢症)					
1 歳未満	9	6 (66.7)	2 (22.2)	1 (11.1)	3 (33.3)
1 ～ 2歳	12	6 (50.0)	-	1 (8.3)	5 (46.7)
計	21	12 (57.0)	2 (9.5)	2 (9.5)	8 (38.1)
(感染性胃腸炎)					
1 歳未満	25	7 (28.0)	2 (8.0)	-	5 (20.0)
1 ～ 4歳	54	28 (51.9)	17 (31.5)	4 (7.4)	7 (13.0)
5 ～ 9歳	20	7 (35.0)	7 (35.0)	-	-
10 ～14歳	17	8 (47.1)	8 (47.1)	-	-
15 ～19歳	12	7 (58.3)	7 (58.3)	-	-
20 歳以上	87	38 (43.7)	35 (40.2)	-	3 (3.4)
計	215	95 (44.2)	76 (35.3)	4 (1.9)	15 (7.0)

() 内は%

表3 多摩地区における感染症サーベイランス事業腸管系病原菌検査成績
(平成6年1月～12月)

年齢区分	検査件数	検出病原体								
		細菌					ウイルス			
		病原 大腸菌	カンピロ バクター	サルモ ネラ	エロモ ナス	腸炎 ビブリオ	ロタ	コク サッキー	エコー	アデノ
(乳児嘔吐下痢症)										
1歳未満	9	1*	1	1	-	-	2	-	1	1
1～2歳	12	1	-	-	-	-	6	-	-	-
計	21	2(9.5)	1(4.8)	1(4.8)	-	-	8(38.1)	-	1(4.8)	1(4.8)
(感染性胃腸炎)										
1歳未満	25	2	-	-	-	-	4	-	1	-
1～4歳	54	7	5	6	-	-	5	1	-	3
5～9歳	20	1	3	4	-	-	-	-	-	-
10～14歳	17	5	4	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	12	5	2	-	-	-	-	-	-	-
20歳以上	87	14	12	7	3	3	3	-	-	-
計	215	34(15.8)	26(12.1)	17(7.9)	3(1.4)	3(1.4)	12(5.6)	1	1	3(1.4)

*:検出数、() 内は%

第 2 章

資 料

2 東京都結核・感染症サーベイランス委員会委員名簿

○吉 川 泉	東京都衛生局医療福祉部長
木 村 三生夫	東海大学名誉教授
浦 野 隆	港区保健衛生部長
今 川 八 束	麻布大学環境保健学部教授
村 田 三紗子	東京都立墨東病院感染症科部長
南 谷 幹 夫	杏林大学客員教授
倉 科 周 介	東京都立衛生研究所長
山 下 和 予	国立予防衛生研究所感染症疫学部主任研究官
森 満洲雄	(社) 東京都医師会公衆衛生担当理事
濱 崎 陞	東京都眼科医会
影 山 公 一	港区医師会
井 手 邦 彦	世田谷区医師会
水 野 幸 治	府中市医師会
岡 崎 武二郎	東京都立台東病院泌尿器科医長
植 村 一 郎	浅草医師会
森 亨	(財) 結核予防会結核研究所副所長
杉 田 博 宣	(財) 結核予防会複十字病院副院長
北 島 和 子	東京都多摩保健所長
服 部 智	中央区環境衛生部参事

○は会長

平成6年4月1日現在：順不同

3 東京都医師会感染症予防検討委員会委員名簿

◎木 村 三生夫	東海大学名誉教授
○浦 野 隆	港区保健衛生部長
今 川 八 東	麻布大学環境保健学部教授
村 田 三紗子	東京都立墨東病院感染症科部長
南 谷 幹 夫	杏林大学客員教授
太 田 建 爾	東京都立衛生研究所微生物部参事研究員
山 下 和 予	国立予防衛生研究所感染症疫学部主任研究官
森 満洲雄	(社) 東京都医師会公衆衛生担当理事
濱 崎 陸	東京都眼科医会
影 山 公 一	港区医師会
井 手 邦 彦	世田谷区医師会
水 野 幸 治	府中市医師会
岡 崎 武二郎	東京都立台東病院泌尿器科医長
植 村 一 郎	浅草医師会
森 亨	(財) 結核予防会結核研究所副所長
杉 田 博 宣	(財) 結核予防会複十字病院副院長
北 島 和 子	東京都多摩保健所長
服 部 智	中央区環境衛生部参事
金 田 麻里子	東京都衛生局医療福祉部結核感染症課長

◎は委員長

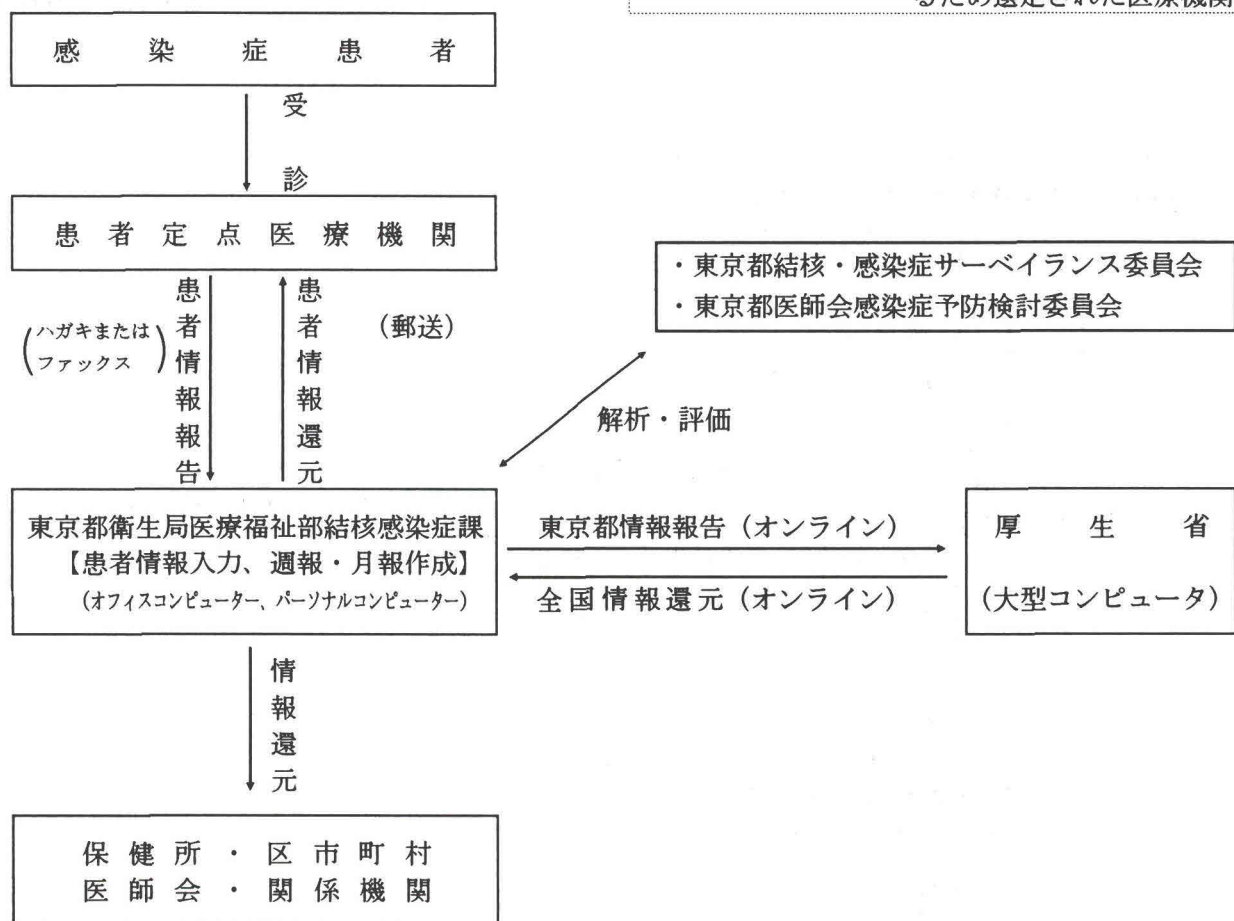
○は副委員長

平成6年4月1日現在：順不同

4 感染症サーベイランスシステムの概要

1. 患者定点医療機関からの情報

(1) 患者情報の流れ



(2) 患者情報収集・還元の日程（基本型）

※ 小児科・内科定点、眼科定点医療機関の場合

調査週	日	月	火	水	木	金	土	日曜～水曜	・ 定点医療機関から患者情報報告 ・ コンピュータに患者情報の入力
	1	2	3	4	5	6	7	○木曜	・ 東京都から厚生省に報告
								△金曜	・ 厚生省から東京都に全国情報の還元 ・ 東京都から定点医療機関その他関係機関に情報還元

翌週	日	月	火	水	木	金	土		
	8	9	10	11	⑫	△13	14		

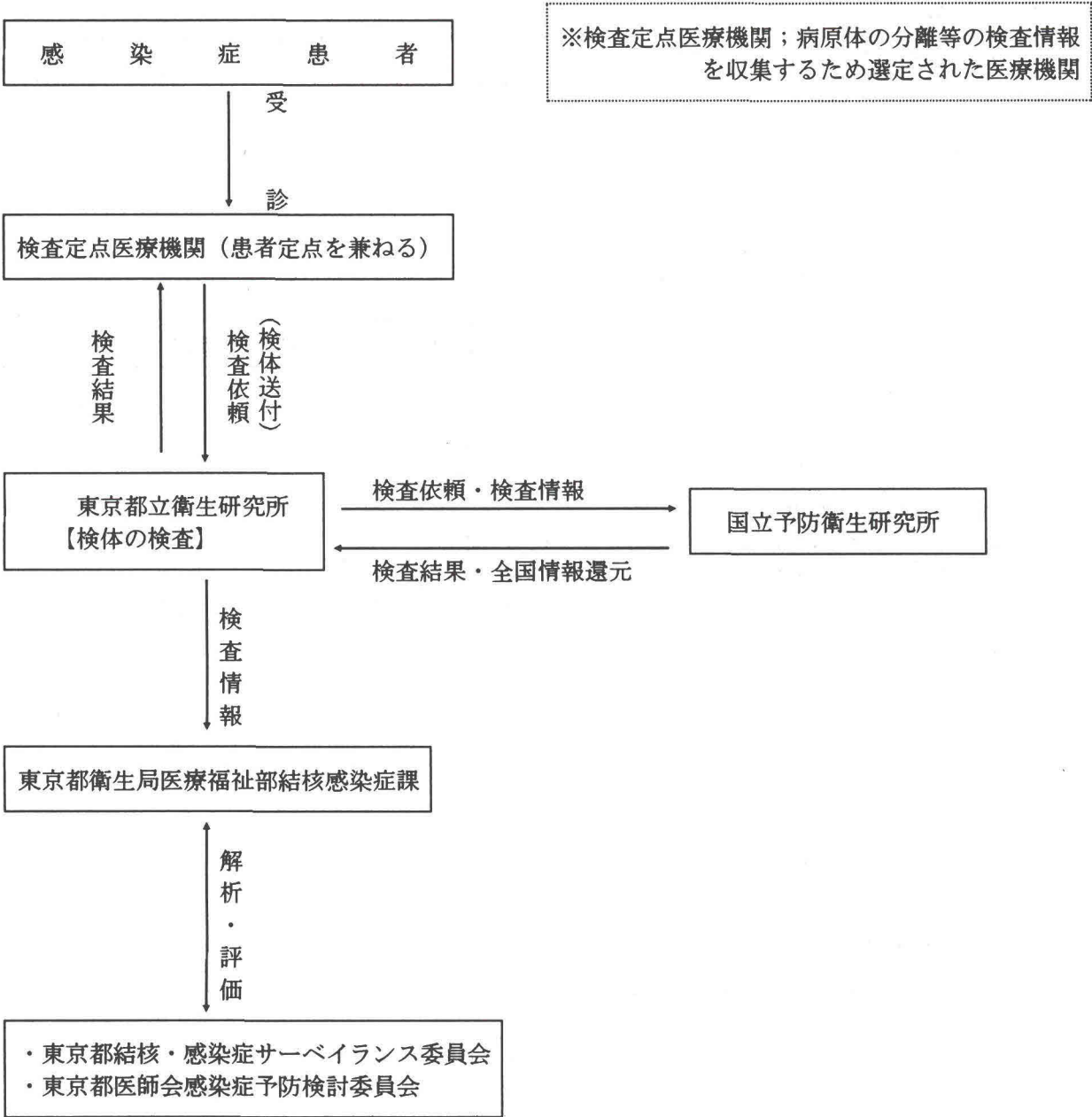
※ 病院定点・STD定点医療機関の場合

調査月								1日～5日	・ 定点医療機関から患者情報報告 ・ コンピュータに患者情報の入力
								◇6日	・ 東京都から厚生省に報告
								□7日	・ 厚生省から東京都に全国情報の還元 ・ 東京都から定点医療機関その他関係機関に情報還元

翌月	日	月	火	水	木	金	土		
					1	2	3		
	4	5	◇6	7	8	9	10		

【年間日程表は、厚生省が定め、東京都から定点その他関係機関に送付致します。】

2. 検査定点医療機関からの情報



5 東京都結核・感染症サーベイランス事業実施要綱

第1 目的

公衆衛生の向上、生活環境の変化等により、わが国における各種感染症の発生状況は著しく変化してきた。結核については、患者数等は減少しているものの、減少率の鈍化、地域的偏在、集団発生の散発等が見られ、これらに対応した保健医療体制の確保が要請されている。このため、患者発生状況、受療状況等の実態を集中的に把握し、その詳細な分析を行うことにより、効果的な予防対策を講ずるとともに、患者管理の充実を図る必要がある。

また、結核以外の感染症については、法定・指定伝染病は急速に減少してきた反面、風しん、手足口病、ウイルス肝炎、性感染症等の流行が社会的に問題となってきた。このことから各種医療機関の協力を得て、これら感染症の患者発生状況、病原体検索結果等の流行実態を早期かつ的確に把握することにより、必要な情報を速やかに地域に還元するとともに、予防接種、衛生教育等の適切な予防措置を講ずる必要がある。

このため、東京都は、国及び特別区と協力し、これら疾病に対する有効かつ的確な予防対策の確立に資することを目的として、結核その他感染症に関する情報を全国的規模で迅速に収集、解析、還元するコンピュータ・オンライン・システムを樹立し、本事業を実施するものとする。

第2 対象疾病

この事業の対象とする疾病は、別表1のとおりとする。

第3 実施体制

情報処理の総合的かつ円滑な推進を図るため、次の体制により実施する。

1 東京都結核・感染症情報センター等の設置

東京都結核・感染症情報センター（以下「都情報センター」という。）を衛生局医療福祉部結核感染症課内に、地区結核・感染症情報センター（以下「地区情報センター」という。）を各保健所内に置く。

2 定点の選定

東京都は、結核以外の対象疾病（以下「感染症」という。）について、患者情報及び病原体の分離等の検査情報を収集するため、第4の1に基づき、患者定点及び検査定点をあらかじめ選定する。

3 東京都結核・感染症サーベイランス委員会の設

東京都における事業の適切な運用を図るため、東京都結核・感染症サーベイランス委員会（以下「都サーベイランス委員会」という。）を置く。

なお、本委員会の運営については、別途要綱を定める。

第4 事業の実施

1 定点の選定

(1) 患者定点

感染症については、都内の患者の発生状況を地域的に把握するため、人口、医療機関の分布等、その地域の状況を勘案し、東京都医師会等の協力を得て、次の医療機関の中から、衛生局医療福祉部長（以下「部長」という。）が患者定点を選定するものとする。

ア 別表1中、2から17まで及び28に掲げる疾病については、小児科、内科の医療機関

イ 別表1中、17から19までに掲げる疾病については、眼科の医療機関

ウ 別表1中、16及び20から22にまでに掲げる疾病については病院

エ 別表1中、23から27まで及び29に掲げる疾病については、皮膚科、泌尿器科等の医療機関

(2) 検査定点

病原体の分離等の検査情報を収集するため、原則として、患者定点として選定された医療機関の中から、別に部長が検査定点を選定するものとする。

2 検査期間の単位

検査期間の単位は、別表1のとおりとする。

3 実施方法

(1) 患者定点

ア 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時における主として臨床的診断の結果をもって、患者発生状況の把握をする。

イ 前記1の(1)のアにより選定された小児科、内科の医療機関においては別紙様式1により、同イにより選定された眼科の医療機関においては別紙様式2により、同ウにより選定された病院においては別紙様式3により、同エにより選定された皮膚科、泌尿器科等の医療機関においては別紙様式4により、それぞれ調査単位の患者発生状況等を記載する。

ウ 別紙様式1から4までによる患者情報については、調査単位が週単位の場合は翌週の火曜日まで、月単位の場合は翌月の3日までに到着するよう都情報センターに郵送等により送付する。

(2) 検査定点

ア 検査定点として選定された医療機関は、部長が別に定める「病原体検査指針」に基づき、細菌学的及びウイルス学的検査のために検体を採取する。

イ 検査定点で採取された検体は、別紙様式5の検査依頼票を添付して、速やかに東京都立衛生研究所へ搬送する。

(3) 地区情報センター

ア 結核

(7) 地区情報センターは、結核予防法の届出等に基づく結核患者等の情報のうち別表2に掲げる事項を、コンピュータ・オンライン等により、新登録患者については、所定の情報が得られ次第、年末現在の登録者及び年間の登録除外者については翌年の1月20日までに都情報センターへ伝送又は送付する。

(イ) 地区情報センターは、都情報センターから得た患者情報を速やかに月報（年単位の場合は年報）として、地区医師会、市町村保健衛生主管部（課）及び教育委員会等の関係機関へ配布する。

イ 感染症

地区情報センターは、都情報センターから得た患者情報を速やかに週報（月単位の場合は月報）として、定点、地区医師会、市町村保健衛生主管部（課）及び教育委員会等の関係機関へ配布する。

(4) 東京都立衛生研究所

ア 東京都立衛生研究所（以下「都衛研」という。）は、前期(2)のイにより搬送された検体を検査し、その結果を地区情報センターを経由して検査定点に通知するとともに、これを検査情報として都情報センターへ報告する。

イ 都衛研は、必要に応じて国立予防衛生研究所に検査依頼する。

ウ 都衛研は、別紙様式6により、前期アの検査情報を月単位にとりまとめ、翌月の15日までに到着するよう国立予防衛生研究所に報告する。

ただし、ウイルス分離結果については、別紙様式7のマークシートによりその都度報告する。

(5) 都情報センター

ア 都情報センターは、患者定点、地区情報センターから得られた患者情報を集計し、感染症については、調査単位が週単位の場合は調査対象週の翌週の木曜日の午前中までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の5日までに、結核の新登録患者については地区情報センターからの情報の送付があり次第、結核の年末現在の登録者及び年間の登録除外者については翌年の1月末日までにコンピュータ・オンライン等により、国の中央結核・感染症情報センター（以下「中央情報センター」という。）へ伝送又は送付する。

また、対象疾病についての集団発生、その他特記すべき情報についても、中央情報センターへ報告する。別紙様式3及び別紙様式4による調査票のうち原因病原体の記載のあるものについては、その写しを送付する。

イ 都情報センターは、患者定点、地区情報センターから得られた患者情報の集計結果、都衛研からの検査情報及び中央情報センターの全国情報を解析評価し、その結果を速やかに地区情報センター、東京都医師会等の関係機関へ還元する。

第5 個人情報の保護

結核予防法の届出等に基づく結核患者等の情報のコンピュータ処理に当たっては、個人情報（特定の個人を識別できる情報）の保護の観点から、次の事項に留意するものとする。

- 1 個人情報のコンピュータ処理に当たっては、常に、情報の正確性を確保するとともに、適正な管理に努める。
- 2 本事業に従事し、又は従事していた者は、本事業により知り得た個人情報を漏らしてはならない。
- 3 収集された個人情報は、本事業の目的以外に使用してはならない。
- 4 地区情報センターは、特定の個人が識別されない方法により、都情報センターに情報を送付する。

第6 特別区との連携

都は、本事業を円滑に実施するため特別区と協議し、連携を図るものとする。

付 則

この要綱は昭和62年1月1日から施行する。

この要綱は平成2年8月1日から施行する。

この要綱は平成5年7月1日から施行する。

別表 1

対 象 疾 病 及 び 報 告 区 分

対 象 疾 病	報 告 源		調 査 単 位
1 結 核	保健所の 結核登録票 (医療機関)	新 登 録 患 者 年 末 現 在 登 録 者 登 録 除 外 者	月 年 年
2 麻疹様疾患 3 風疹 4 水痘 5 流行性耳下腺炎 6 百日咳様疾患 7 溶連菌感染症 8 異型肺炎 9 感染性胃腸炎 10 乳児嘔吐下痢症 11 手足口病 12 伝染性紅斑 13 突発性発疹 14 ヘルパンギーナ 15 インフルエンザ様疾患 16 * M C L S (川崎病) 17 * * 咽頭結膜熱 28 * * * 不明発疹症	小児科・内科定点		週
17 * * 咽頭結膜熱 18 流行性角結膜炎 19 急性出血性結膜炎	眼 科 定 点		週
16 * M C L S (川崎病) 20 感染性髄膜炎 (a 細菌性・b 無菌性) 21 脳・脊髄炎 (a 脳炎・b 脳症・c ライ 症候群・d 脊髄炎) 22 ウィルス肝炎 (a A 型肝炎・b B 型肝 炎・c C 型肝炎・d その他のウィルス肝 炎)	病 院 定 点		月
23 淋病様疾患 24 陰部クラミジア感染症 25 陰部ヘルペス 26 尖圭コンジローム 27 トリコモナス症 29 * * * 梅毒様疾患	S T, D 定 点		月

* 16 M C L S (川崎病) については、週及び月単位で調査する。
* * 17 咽頭結膜熱については、小児科・内科及び眼科定点で調査する。
* * * 28 不明発疹症、22 c C 型肝炎及び29梅毒様疾患は都単調査。

結 核 患 者 情 報 項 目

1 新登録患者
(1) 患者の生年月、性別及び住所（区市町村）
(2) 登録までの状況
(3) 病状及び治療状況
2 登 録 者
(1) 登録者の生年月、性別及び住所（区市町村）
(2) 登録当時の状況
(3) 現在の病状及び治療状況
(4) 病状等の経過
3 登録除外者
(1) 登録除外者の生年月、性別及び住所（区市町村）
(2) 登録時以降の概要
(3) 除外年月日及び除外理由

結核・感染症サーベイランス調査票（小児科・内科用）

平成 年 第 週 HCコード 定点コード

調査期間 平成 年 月 日～ 月 日

年 齢		0 歳	1	2	3	4	5～9	10～14	15～	合 計	予 防 接 種 者 数
病 名											
麻 疹 様 疾 患											
風 し ん											
水 痘											
流 行 性 耳 下 腺 炎											
百 日 せ き 様 疾 患											
溶 連 菌	発 疹 (+)										×
感 染 症	発 疹 (-)										×
異 型 肺 炎											×
感 染 性 胃 腸 炎											×
乳 児 嘔 吐 下 痢 症						×	×	×	×		×
手 足 口 病											×
伝 染 性 紅 斑											×
突 発 性 発 疹							×	×	×		×
ヘ ル パ ン ギ ー ナ											×

年 齢		0 歳	1	2	3	4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～	合 計	予 防 接 種 者 数
病 名													
インフルエンザ様疾患													

年 齢		0 歳	1	2	3	4	5～9	10～14	15～	合 計
病 名										
M C L S										
咽 頭 結 膜 熱										
不 明 発 疹 症										

結核・感染症サーベイランス調査票（眼科用）

平成年 第 週 HCコード 定点コード

調査期間 平成 年 月 日～ 月 日

年齢	0歳	1	2	3	4	5 ～ 9	10 ～ 14	15 ～	合 計
病名									
咽頭結膜熱									

年齢	0	1	2	3	4	5 ～ 9	10 ～ 14	15 ～ 19	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60 ～	合計
病名																		
流行性角結膜炎																		
急性出血性 結膜炎																		

結核・感染症サーベイランス調査票（病院用）

平成年 第 月 HCコード 定点コード

調査期間 平成年 月 日～ 月 末日

診療科（1. 小児科、2. 内科、3. その他）○を記入

年 齢 病 名	0 歳	1	2	3	4	5～9	10～14	15～	合 計
	M C L S								

年 齢 病 名	0 歳	1	2	3	4	5 ～ 9	10 ～ 14	15 ～ 19	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60 ～	合 計	予防接 種(+)	輸血後 のもの
A 型肝炎	男																			
	女																			
B 型肝炎	男																			
	女																			
C 型肝炎	男																			
	女																			
その他の ウイルス 肝炎	男																			
	女																			

ID 番号	性	年・月 齢	病 名	検査試料	採取病日	検 査 結 果
			1 2 3 4 5 6			
			1 2 3 4 5 6			
			1 2 3 4 5 6			
			1 2 3 4 5 6			
			1 2 3 4 5 6			
			1 2 3 4 5 6			

- 1：感染性髄膜炎（細菌性髄膜炎）
2：感染性髄膜炎（無菌性髄膜炎）
3：脳・脊髄炎（脳炎）
- 4：脳・脊髄炎（脳症）
5：脳・脊髄炎（ライ症候群）
6：脳・脊髄炎（脊髄炎）

（注）結核感染症課への返送は、FAXをご利用下さい。 FAX番号 03-5388-1432

結核・感染症サーベイランス調査票（STD診療科用）

平成年 第 月 HCコード 定点コード

調査期間 平成 年 月 日～ 月 末日

年 齢		0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55		
		～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	60～	合 計
病 名		4歳	9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59		
梅 毒	男														
	女														
様疾患	男														
	女														
淋 病	男														
	女														
様疾患	男														
	女														
陰部クラ ミジア 感染症	男														
	女														
陰 部	男														
	女														
ヘルペス	男														
	女														
尖圭コン	男														
	女														
ジローム	男														
	女														
トリコモ	男														
	女														
ナス症	男														
	女														

(地研・保健所集計)

コード番号

報告内容 定期 ☐ 追加 ☐ 変更 ☐

○変更の報告書作成の際には元の数字と変更した数字とを両方書いてください。 例 4→5 (4を5に変更する場合)

EHEC/VTEC 情報 ≪

※※ Vero 毒素産生性を確認した例について検出数を記入してください。また、下記の EHEC/VTEC 情報記入欄に現時点でわかる範囲の情報を記入してください。

[illegible]

（毎月15日／切）

Vibrio cholerae O139 情報

発 生 地	検体採取 年 月 日	C T 産生性	毒 素 検 出 方 法	集 発 / 散 発	年 齢	性 別	臨 床 症 状	海 外 渡 航 歴 (国名・期間)	備 考

流行・集団発生に関する情報 *同一人からの同一菌種（同一血清型、生物型）の複数株分離は1株として報告して下さい

No	発生期間	原因施設	摂取場所	推 定 さ れ る		摂 食 者 数	患者数	原 因 菌 (菌株数)*	技 験 者 数	菌陽性 者 数
				原 因 食 品	発 生 原 因					
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
備 考										

食品検査情報 *流行・集団発生関連の食品からの検出例は上記「流行・集団発生に関する情報」の備考欄に記載して下さい

No	材 料	検 体 数	検 出 病 原 菌 種 (菌株数)	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				

輸入食品の場合、原産国名（不明の場合は輸出国名）などが分かっている場合には備考欄に記入して下さい

環境汚染調査（定点観測など）情報

No	場 所（河川水など）	検査箇所数	検 出 病 原 菌 種 (菌株数)	備 考
1				
2				
3				

重要と思われる症例、またはまれな症例等に関する情報

No	検体採取年月日	検 体 の 種 類	検 出 病 原 菌 種 ・ 菌 型	年 齢 ・ 月 齢	性 別	臨 床 診 断 名 ・ 症 状	基礎疾患等

劇症型A群溶連菌感染症、希少感染症等、情報として重要と思われるものを記入して下さい
「基礎疾患等」の欄は、発症との関連性が考えられる基礎疾患がある場合に記入して下さい

その他の情報

検出病原体	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 60%;">報告内容</th> <th style="width: 10%;">初回報告</th> <th style="width: 10%;">追加</th> <th style="width: 10%;">変更</th> <th style="width: 10%;">その他</th> </tr> <tr> <td style="height: 150px; vertical-align: top;"> 臨床診断名 臨床 症 状 ☐ 不詳 ☐ 無症状 ☐ 発熱 ☐ 水疱 ☐ 発疹 ☐ 口内炎 ☐ ヘルパンギーナ ☐ 手足口病症状 ☐ 関節痛・筋肉痛 ☐ 上気道炎 ☐ 下気道炎(肺炎を含む) ☐ 胃腸炎 ☐ 肝炎 ☐ 腎炎 ☐ 循環器障害 ☐ 角膜炎・結膜炎 ☐ 髄膜炎 ☐ 脳炎 ☐ 麻疹 ☐ 泌尿生殖器疾患 ☐ リンパ節腫脹 ☐ 唾液腺腫脹 ☐ 出血傾向 ☐ 先天性疾患 ☐ その他 </td> <td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	報告内容	初回報告	追加	変更	その他	臨床診断名 臨床 症 状 ☐ 不詳 ☐ 無症状 ☐ 発熱 ☐ 水疱 ☐ 発疹 ☐ 口内炎 ☐ ヘルパンギーナ ☐ 手足口病症状 ☐ 関節痛・筋肉痛 ☐ 上気道炎 ☐ 下気道炎(肺炎を含む) ☐ 胃腸炎 ☐ 肝炎 ☐ 腎炎 ☐ 循環器障害 ☐ 角膜炎・結膜炎 ☐ 髄膜炎 ☐ 脳炎 ☐ 麻疹 ☐ 泌尿生殖器疾患 ☐ リンパ節腫脹 ☐ 唾液腺腫脹 ☐ 出血傾向 ☐ 先天性疾患 ☐ その他			
報告内容	初回報告	追加	変更	その他							
臨床診断名 臨床 症 状 ☐ 不詳 ☐ 無症状 ☐ 発熱 ☐ 水疱 ☐ 発疹 ☐ 口内炎 ☐ ヘルパンギーナ ☐ 手足口病症状 ☐ 関節痛・筋肉痛 ☐ 上気道炎 ☐ 下気道炎(肺炎を含む) ☐ 胃腸炎 ☐ 肝炎 ☐ 腎炎 ☐ 循環器障害 ☐ 角膜炎・結膜炎 ☐ 髄膜炎 ☐ 脳炎 ☐ 麻疹 ☐ 泌尿生殖器疾患 ☐ リンパ節腫脹 ☐ 唾液腺腫脹 ☐ 出血傾向 ☐ 先天性疾患 ☐ その他											
報告機関名	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9										
検体番号	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9										
採取機関名	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 都道府県 機関名 国立 都道府県立 市区町村立 その他 研究所 保健所 病院 大学 検査機関 その他										
検体提供者（場所） 現住所	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 都道府県 市区町村 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9										
採取理由	散发 流行 厚生省監視または厚生省サーベ 集団発生 流行予備事業 特定研究 イラシス定点 輸入 その他										
採取年月日	19 年 91 92 93 94 95 87 88 89 90 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">発熱最高</td> <td style="width: 70%;"> 3 4 7 8 9 0 1 2 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 </td> </tr> </table>	発熱最高	3 4 7 8 9 0 1 2 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9							
発熱最高	3 4 7 8 9 0 1 2 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9										
検体源	ヒト ブタ トリ サル カ ウマ ウシ その他の動物 環境 その他										
性別	男 女 性別不明	年齢不明									
年齢	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	歳									
(0歳の場合は必ず記入) 月齢	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	月齢不明									
検体の由来	便 鼻いんこう 眼ぬぐい液 髄液 皮膚病果 尿 血液 脳 肝 肺・気管支全臓器 河川水 上水 下水 食品 その他										
検出方法	培養 (動物 健育 培養 人工 その他) 光顕 電顕 蛍光 ELISA R-PHA その他										
記入しないこと	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9										

発熱最高	3 4 7 8 9 0 1 2 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
------	--

ポリオウイルス検出 本人のポリオワクチン接種歴	無 不明 1回 2回 有回数不詳 最近の接種 年 月 日 当該地区における最近の生ポリオワクチン接種 年 月 日
----------------------------	---

検出の場合 本人の今期のインフルエンザワクチン接種歴	無 不明 有 報告機関における株名 () 提出ウイルスHA価 () 使用細胞名・継代数 () 抗原 患者 H I 価 急性期 回復期
-------------------------------	--

備考欄	(マークした上で本欄に記入すること→) 特別記載事項
-----	--

6 東京都結核・感染症サーベイランス委員会運営要綱

（設 置）

- 第1 東京都結核・感染症サーベイランス事業（以下「事業」という。）の適切な運用を図るため、東京都衛生局に東京都結核・感染症サーベイランス委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（所掌事務）

- 第2 委員会は、次の事項について協議し、その結果を衛生局長に報告する。
- (1) 事業の基本的あり方に関すること。
 - (2) 結核・感染症情報の年間の総合的解析評価に関すること。
 - (3) その他事業に関すること。

（組 織）

- 第3 委員会は、20人以内で組織する。
- 2 委員は、学識経験者、医師会、都立病院等職員及び関係行政機関のうちから、衛生局長が委嘱し、又は任命する。

（任 期）

- 第4 委員の任期は2年以内とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

（会 長）

- 第5 会長は東京都衛生局医療福祉部長をもってあてる。
- 2 会長は委員を代表し、会務を総理する。
 - 3 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理する。

（関係者の出席）

- 第6 会長が必要なときは、委員会に関係者の出席を求めることができる。

（招 集）

- 第7 委員会は衛生局長が招集する。

（会議の公開）

- 第8 会議及び会議に係る資料、会議録等（以下「会議録等」という。）は公開する。
- ただし、委員の発議により出席委員の過半数で議決したときは、会議及び会議録等を公開しないことができる。

（庶 務）

- 第9 委員会の庶務は、衛生局医療福祉部結核感染症課において処理する。

附 則

この要綱は、昭和62年1月1日から施行する。

感染症サーベイランス事業報告書（平成6年）

平成7年3月

平成6年度

印刷物規格表第2類

印刷番号(6)1107

編集・発行 衛生局医療福祉部結核感染症課

〒163-01 東京都新宿区西新宿2-8-1

電話 (03) 5320-4482

印刷所 東京コロニー大田福祉工場

〒143 東京都大田区大森西二丁目22番26号

電話 (03) 3762-7611